

2016 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2017 年6月
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート	1
1. 調査の概要	1
【調査結果の見方】	1
2. 調査結果	2
〔1〕回答者について	2
〔2〕現在の仕事について	3
〔3〕転職の状況について	12
〔4〕未就業の状況について	16
〔5〕仕事についての感想（自由意見）	19
〔6〕大学・短期大学部で受けた教育について	24
①達成度と必要性（全体）	24
②達成度と必要性（学科別）	26
③能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）	30
④仕事をする上で重要だと思う事	36
〔7〕大学時代で有意義だった授業	38
〔8〕大学の講義以外で希望する支援・経験	42
〔9〕大学に対する意見・要望（自由意見）	46
3. 調査結果のまとめ	49
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート	52
1. 調査の概要	52
2. 調査の概要	53
〔1〕回答者について	53
〔2〕仕事に必要な能力	54
①必要性和達成度（全体）	54
②必要性和達成度（学科別）	56
③採用の際に重要視する能力	60
〔3〕事業所の概要	62
〔4〕学生に希望する資格や検定	65
〔5〕大学生の人間形成に必要な支援	67
〔6〕採用について	69
〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）	75
3. 調査結果のまとめ	80
第3章 調査票	82

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調 査 対 象 者	2014 年 3 月卒業生
調 査 方 法	郵送配布・回収
回 収 数	135 人
調 査 時 期	2016 年 12 月 1 日～2017 年 1 月 6 日 ※2017 年 1 月 31 日までに大学到着分まで集計に含む
回 収 率	下表の通り

2014年3月卒業生対象					
	依頼卒業生数	回答人数	回 収 率		
看 護 学 科	97	31	32.0%	(	20.0%)
福 祉 学 科	104	20	19.2%	(	20.0%)
栄 養 学 科	106	31	29.2%	(	30.2%)
英 語 学 科	50	13	26.0%	(	20.8%)
観光文化学科	78	10	12.8%	(	19.0%)
助 産 別 科	11	3	27.3%	(	－)
全 体	446	108	24.2%	(	22.6%)
			()内は前年度回収率		
	依頼卒業生数	回答人数	回 収 率		
生活創造学科	47	13	27.7%	(	10.2%)
保 育 科	85	14	16.5%	(	26.1%)
全 体	132	27	20.5%	(	21.3%)
			()内は前年度回収率		

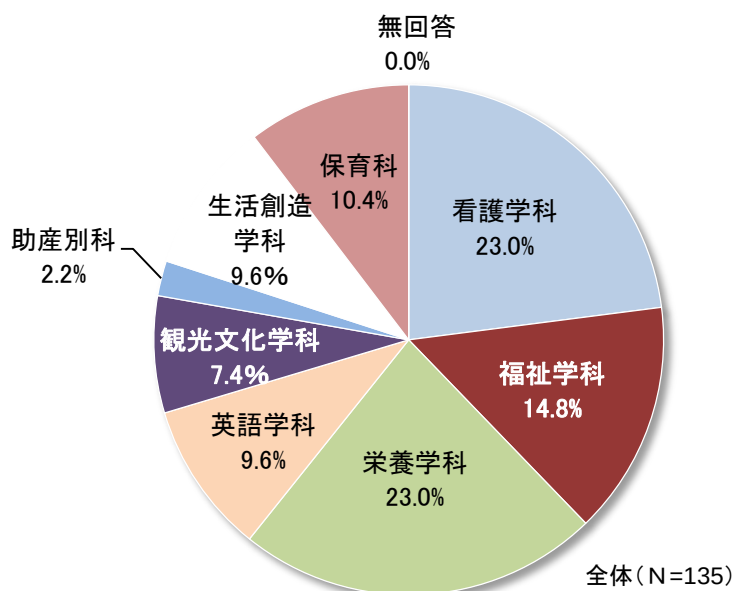
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

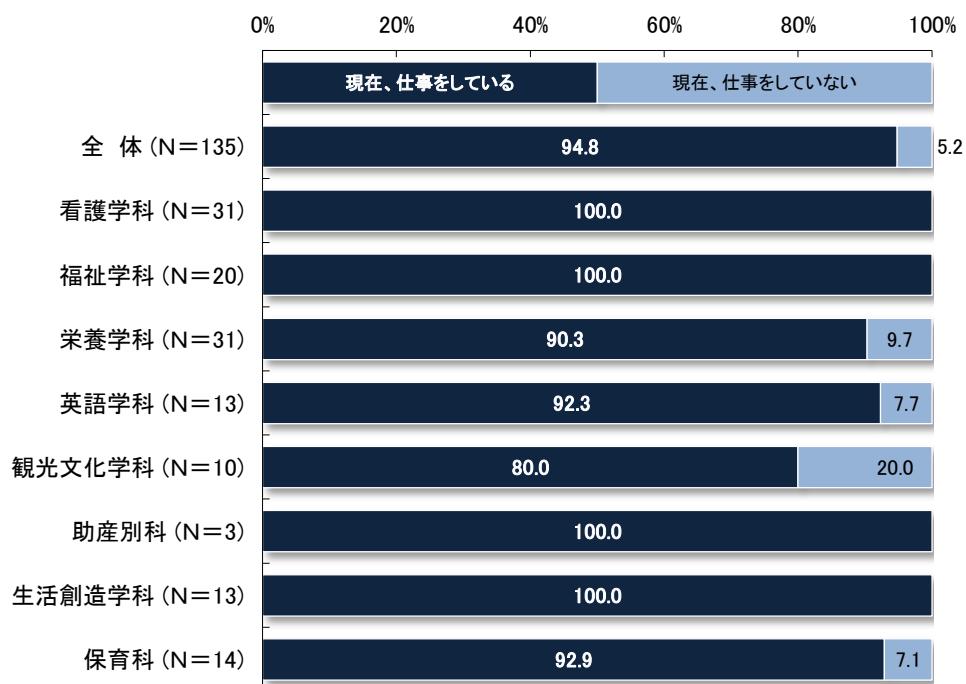
2. 調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



【現在の状況】

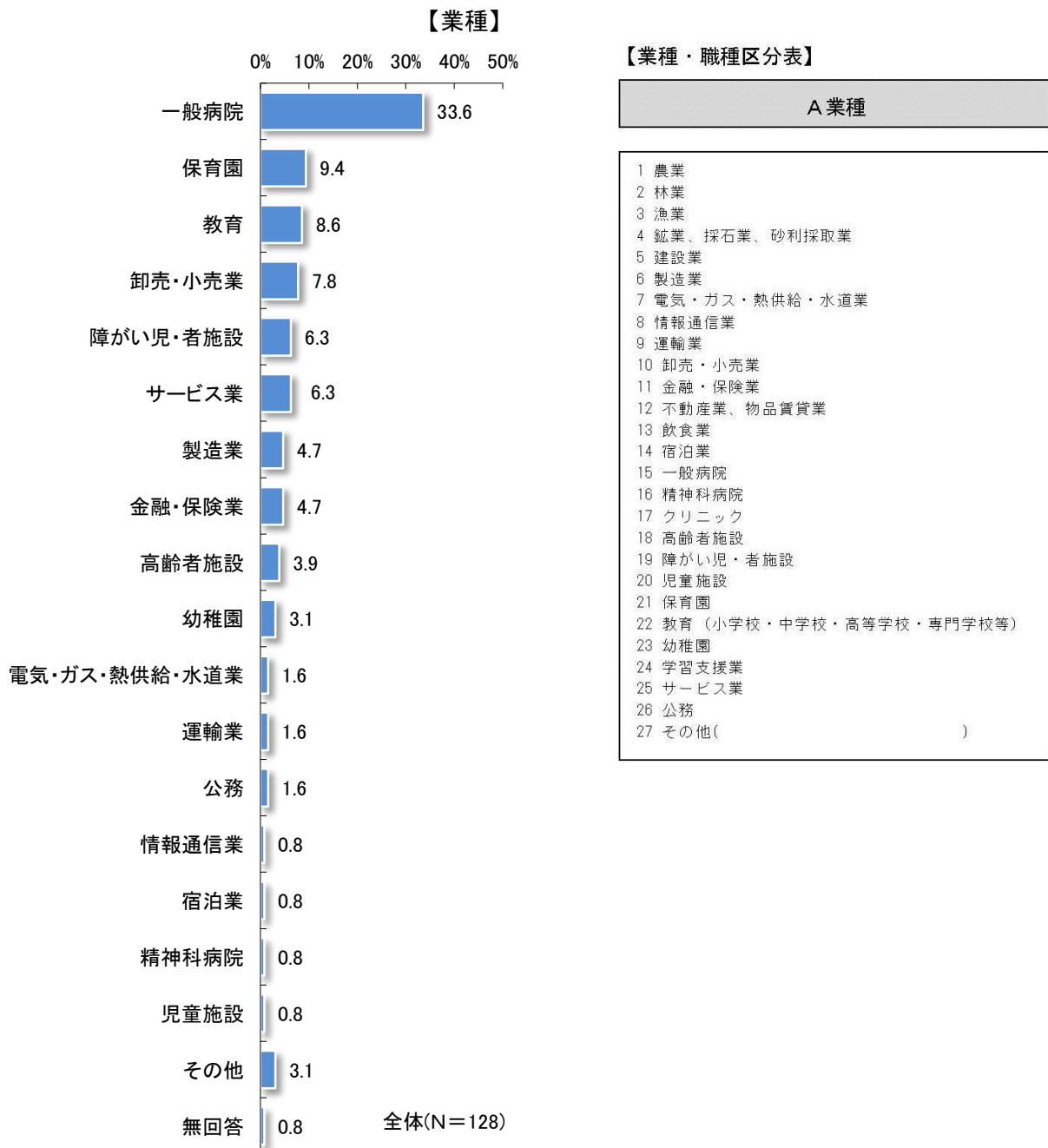


〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(33.6%)の割合が3割を超えて最も高く、次いで「保育園」(9.4%)、「教育」(8.6%)となっている。

学科別にみると、看護学科は「一般病院」(90.3%)、福祉学科は「障がい児・者施設」(35.0%)、保育科は「保育園」(53.8%)の割合が大学全体に比べて高くなり、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。



※その他に農業・林業・漁業・鉱業、採石業、砂利採取業・建設業・不動産業、物品賃貸業・飲食業・クリニック・学習支援業を含む

第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種（1/2）】（%）

	全体（人）	一般病院	保育園	教育	卸売・小売業	障がい児・者施設	サービス業	製造業	金融・保険業	高齢者施設
全体	128	33.6	9.4	8.6	7.8	6.3	6.3	4.7	4.7	3.9
看護学科	31	90.3	-	6.5	-	-	-	-	-	-
福祉学科	20	20.0	5.0	25.0	-	35.0	-	-	5.0	-
栄養学科	28	28.6	14.3	7.1	-	3.6	3.6	7.1	-	17.9
英語学科	12	-	-	16.7	16.7	-	25.0	-	25.0	-
観光文化学科	8	-	-	-	37.5	-	37.5	-	12.5	-
助産別科	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	13	-	-	-	38.5	-	7.7	30.8	7.7	-
保育科	13	-	53.8	-	-	-	-	-	-	-

【学科別 業種（2/2）】（%）

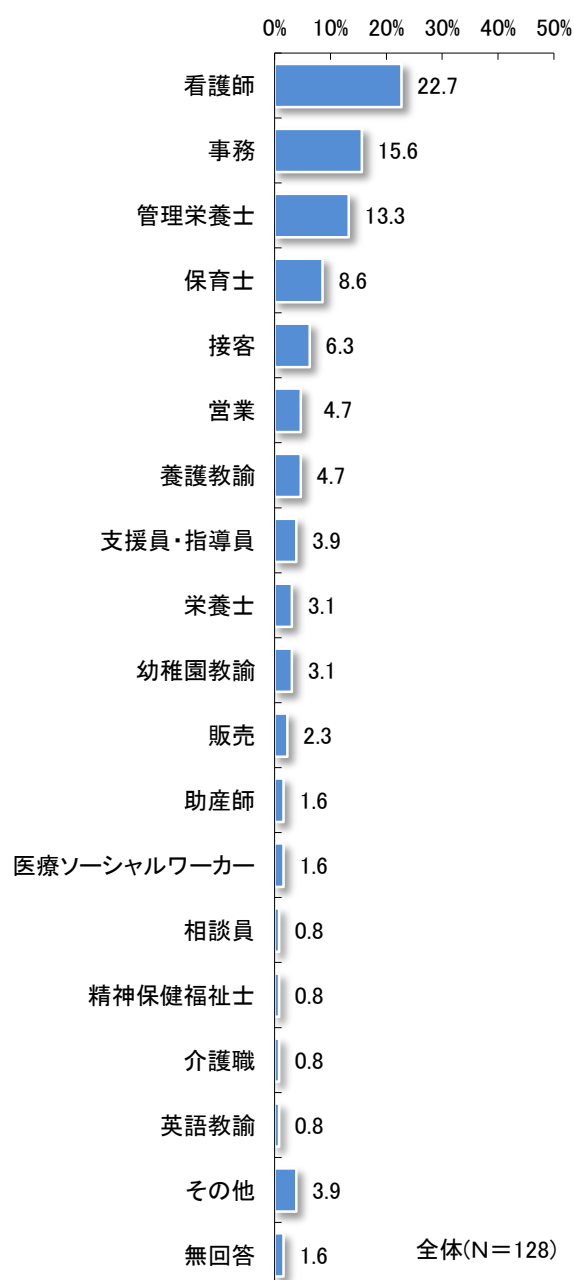
	全体（人）	幼稚園	電気・ガス・水道業	運輸業	公務	情報通信業	宿泊業	精神科病院	児童施設	その他	無回答
全体	128	3.1	1.6	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	3.1	0.8
看護学科	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2
福祉学科	20	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-
栄養学科	28	-	-	-	3.6	3.6	-	3.6	-	7.1	-
英語学科	12	-	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	-
観光文化学科	8	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-
助産別科	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	13	-	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-
保育科	13	30.8	-	-	7.7	-	-	-	7.7	-	-

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「看護師」(22.7%)の割合が2割強で最も高く、次いで「事務」(15.6%)、「管理栄養士」(13.3%)となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」(90.3%)、福祉学科は「支援員・指導員」(25.0%)、栄養学科は「管理栄養士」(60.7%)、英語学科は「接客」(41.7%)、観光文化学科は「事務」(50.0%)、生活創造学科は「事務」(61.5%)、保育科は「保育士」(69.2%)の割合が大学全体に比べて高くなり、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。

【職種】



B 職種	
1	事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2	販売
3	営業
4	接客
5	看護師
6	保健師
7	助産師
8	医療ソーシャルワーカー
9	相談員
10	精神保健福祉士
11	支援員・指導員
12	介護職
13	保育士
14	管理栄養士
15	栄養士
16	幼稚園教諭
17	養護教諭
18	英語教諭
19	公務員
20	その他（ ）

※その他に保健師・公務員を含む

第1章 卒業生アンケート

【学科別 職種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	看護師	事務	管理栄養士	保育士	接客	営業	養護教諭	支援員・指導員	栄養士
全体	128	22.7	15.6	13.3	8.6	6.3	4.7	4.7	3.9	3.1
看護学科	31	90.3	-	-	-	-	-	6.5	-	-
福祉学科	20	-	15.0	-	10.0	-	-	20.0	25.0	-
栄養学科	28	-	14.3	60.7	-	-	-	-	-	14.3
英語学科	12	-	8.3	-	-	41.7	16.7	-	-	-
観光文化学科	8	-	50.0	-	-	12.5	37.5	-	-	-
助産別科	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	13	-	61.5	-	-	15.4	7.7	-	-	-
保育科	13	-	-	-	69.2	-	-	-	-	-

【学科別 職種 (2/2)】 (%)

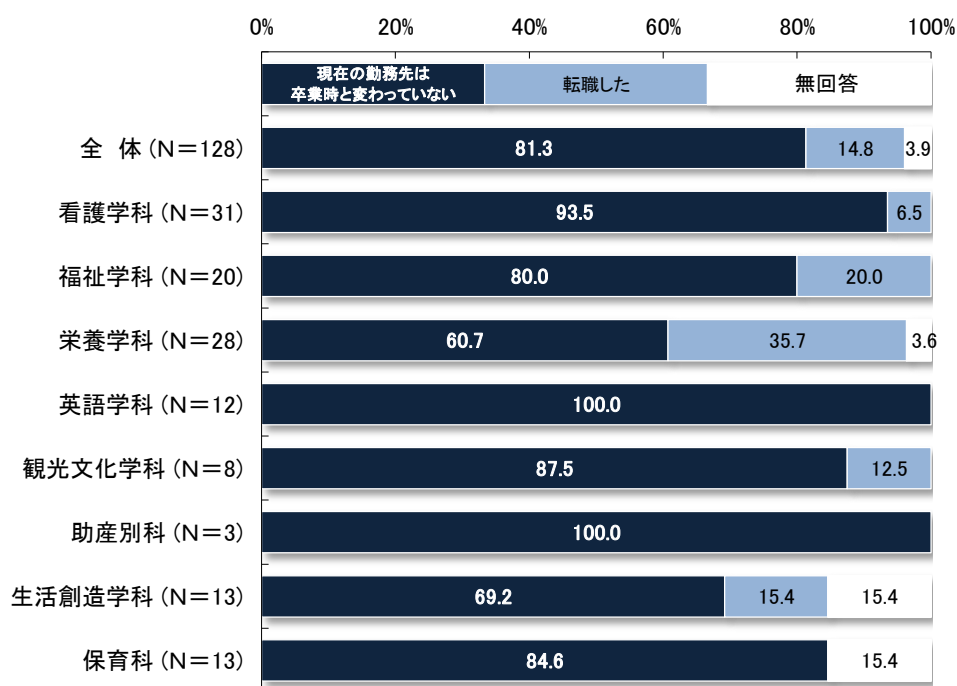
	全体 (人)	幼稚園教諭	販売	助産師	医療ソーシャルワーカー	相談員	精神保健福祉士	介護職	英語教諭	その他	無回答
全体	128	3.1	2.3	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	3.9	1.6
看護学科	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2
福祉学科	20	-	-	-	10.0	5.0	5.0	5.0	-	5.0	-
栄養学科	28	-	3.6	-	-	-	-	-	-	7.1	-
英語学科	12	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3	8.3	8.3
観光文化学科	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
助産別科	3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	13	-	7.7	-	-	-	-	-	-	7.7	-
保育科	13	30.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が81.3%を占め、「転職した」とする人は14.8%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、栄養学科では「転職した」(35.7%)の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。

【現在の勤務先】



第1章 卒業生アンケート

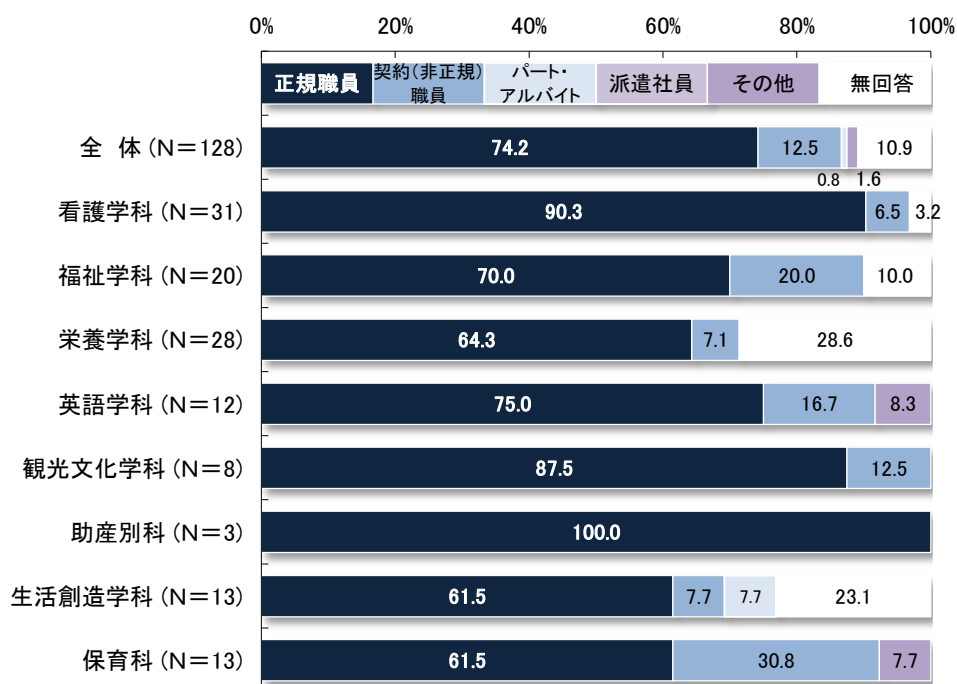
問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が74.2%を占め、次いで「契約（非正規）職員」の割合が12.5%となっている。

学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、看護学科や観光文化学科、助産別科で高いのに対し、栄養学科や生活創造学科、保育科で比較的低い傾向がある。

【卒業時の雇用形態】

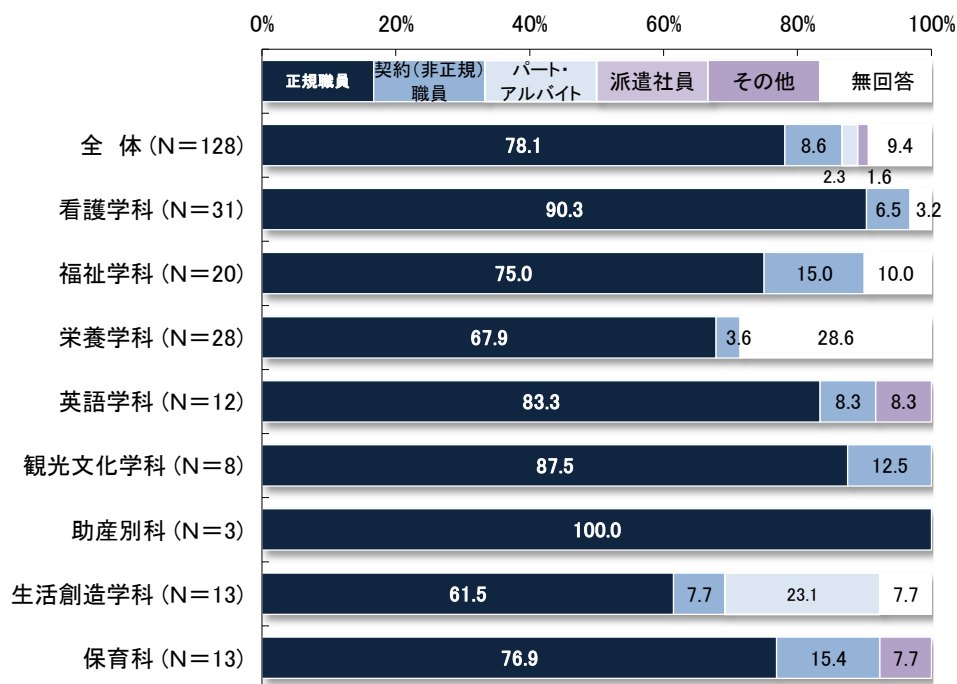


②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が78.1%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約(非正規)職員」(8.6%)などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、福祉学科や栄養学科、英語学科、観光文化学科、保育科では「正規職員」の割合が卒業時から高くなっているが、生活創造学科では「正規職員」の割合に変化はないものの、卒業時よりも現在は「パート・アルバイト」の割合が高まっている。

【現在の雇用形態】



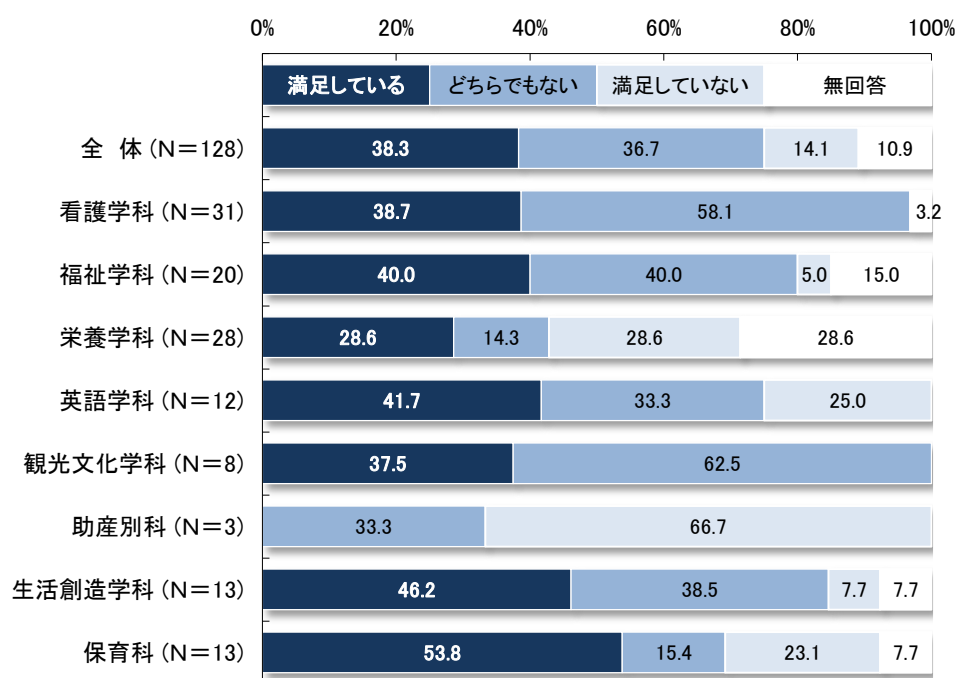
第1章 卒業生アンケート

問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(38.3%)と「どちらでもない」(36.7%)が拮抗する結果となっている。

学科別の現在の勤務先の満足度をみると、保育科は「満足している」(53.8%)の割合が他の学科に比べ高くなっているが、総じて、「満足している」学生よりも「どちらでもない」「満足していない」学生が多い傾向にある。

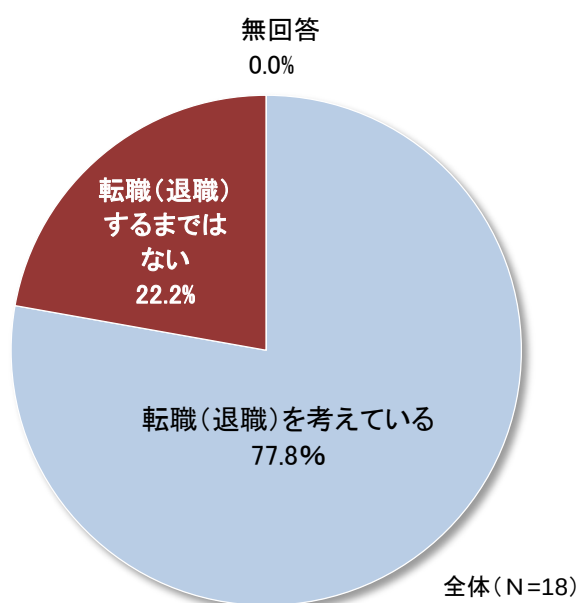
【現在の勤務先の満足度】



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体では「転職（退職）を考えている」の割合が77.8%、「転職（退職）するまではない」が22.2%となっており、現在の勤務先の満足度について「満足していない」と回答した人の8割弱が転職（退職）を考えている結果となった。

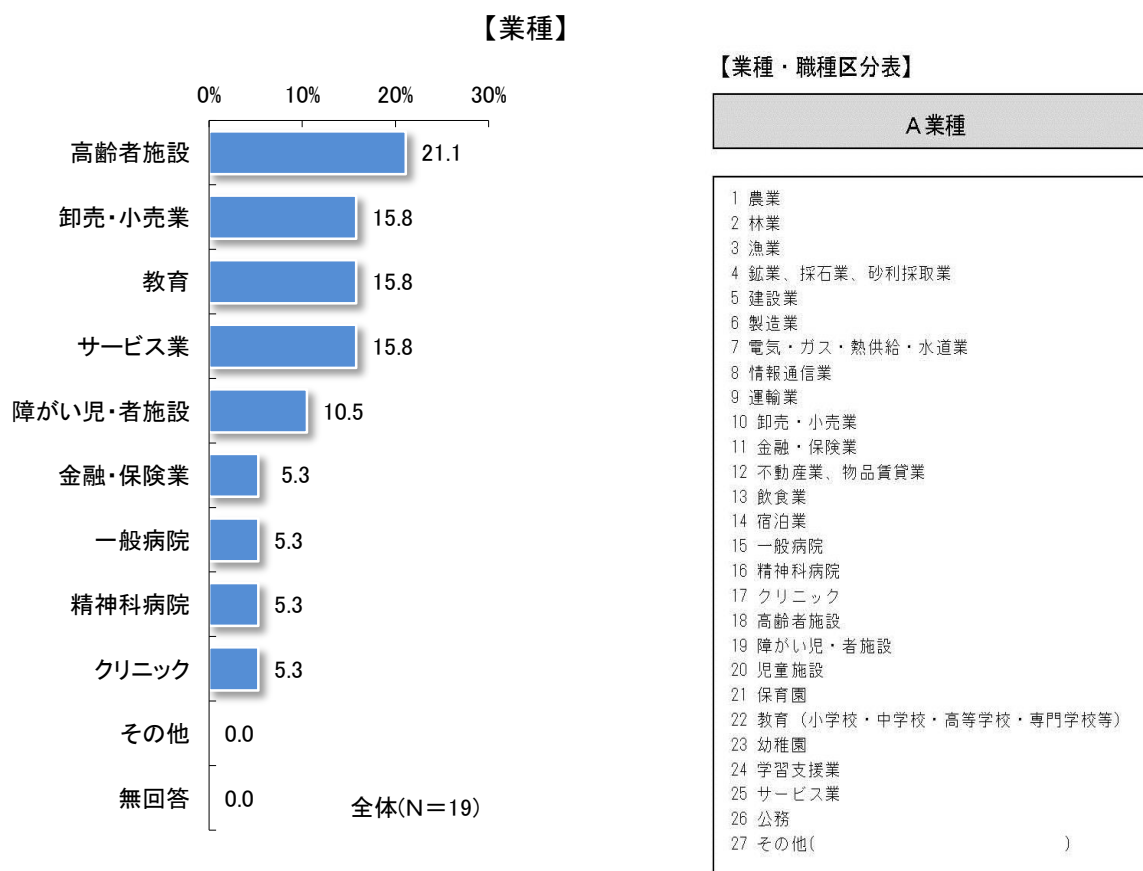
【転職希望】



〔3〕 転職の状況について

問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

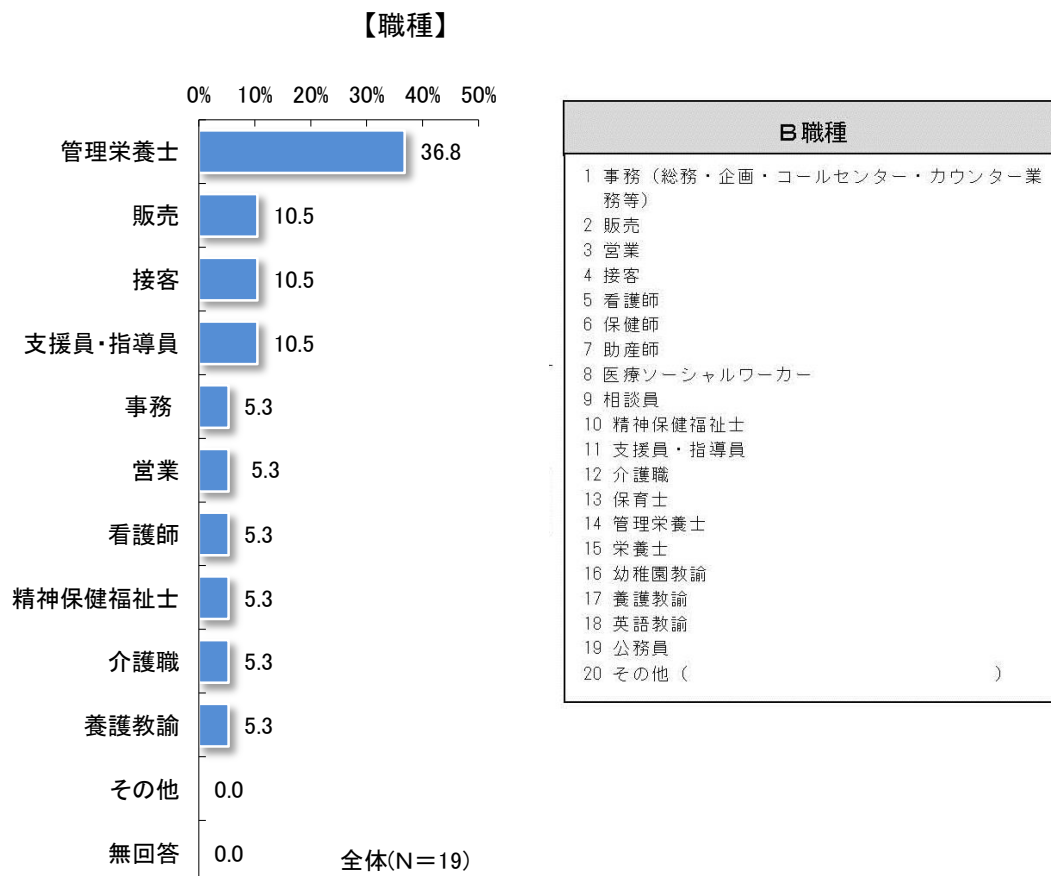
転職した人の卒業時の勤務先の主たる業種は、大学全体では「高齢者施設」(21.1%)の割合が2割台で最も高く、次いで「卸売・小売業」「教育」「サービス業」(15.8%)、「障がい児・者施設」(10.5%)が1割を超えて高くなっている。



※その他に農業・林業・漁業・鉱業、採石業、砂利採取業・建設業・製造業・電気・ガス・熱供給・水道業・情報通信業・運輸業・不動産業、物品賃貸業・飲食業・宿泊業・児童施設・保育園・幼稚園・学習支援業・公務を含む

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「管理栄養士」（36.8%）の割合が4割弱で最も高く、次いで「販売」「接客」「支援員・指導員」（10.5%）の割合が1割を超えて高くなっている。

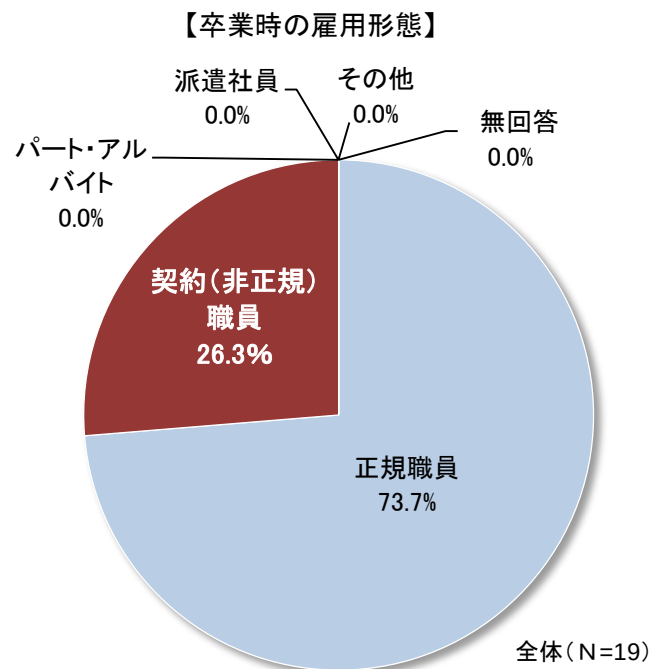


※その他に保健師・助産師・医療ソーシャルワーカー・相談員・保育士・栄養士・幼稚園教諭・英語教諭・公務員を含む

問 雇用形態について教えてください。

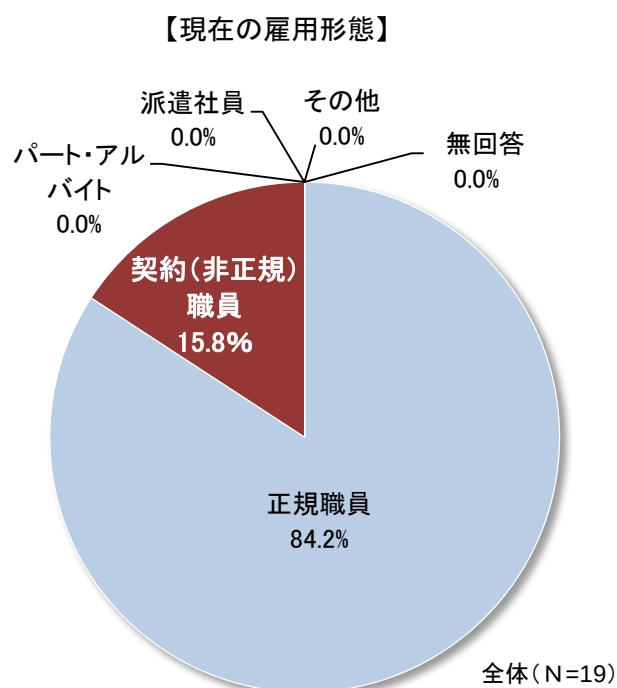
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(73.7%)、「契約(非正規)職員」(26.3%)となっている。



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

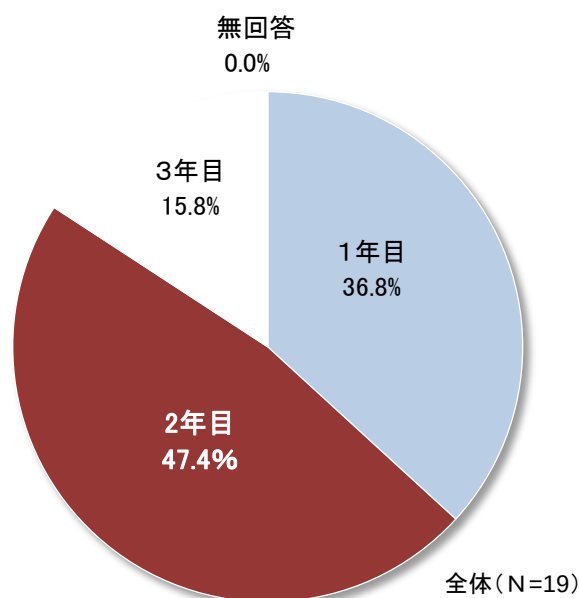
転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(84.2%)、「契約(非正規)職員」(15.8%)となっており、卒業時よりも「正規職員」の割合が増え、「契約(非正規)職員」の割合は減っている。



問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「2年目」(47.4%)の割合が最も高く、次いで「1年目」(36.8%)、「3年目」(15.8%)となっている。

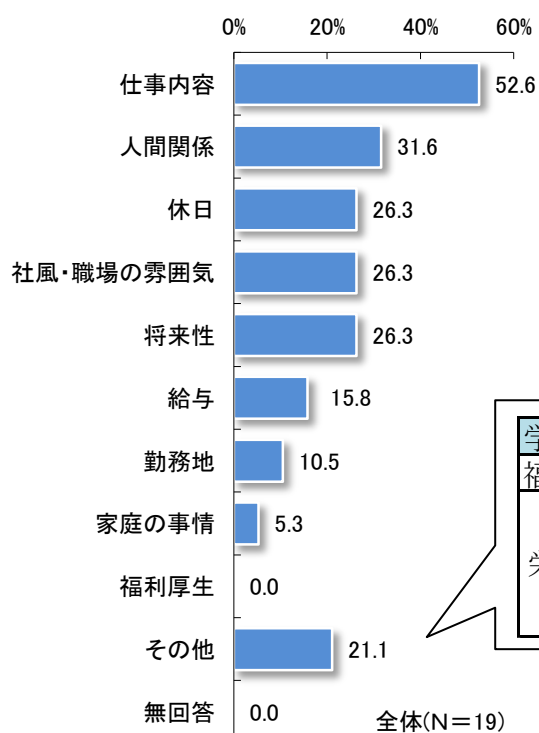
【転職した時期】



問 転職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

転職理由は、「仕事内容」(52.6%)の割合が最も高く、次いで「人間関係」(31.6%)、「休日」「社風・職場の雰囲気」「将来性」(26.3%)となっている。

【転職理由】

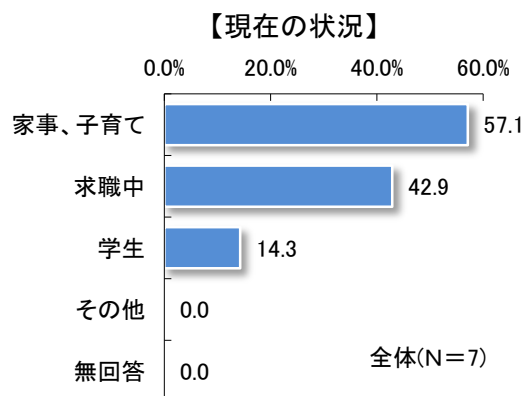


学科	「その他」の内容
福祉学科	採用試験合格。
栄養学科	同じ法人内で新しく老人ホームが建ち、そちらに勤めることになりました。 転居の為。

〔4〕未就業の状況について

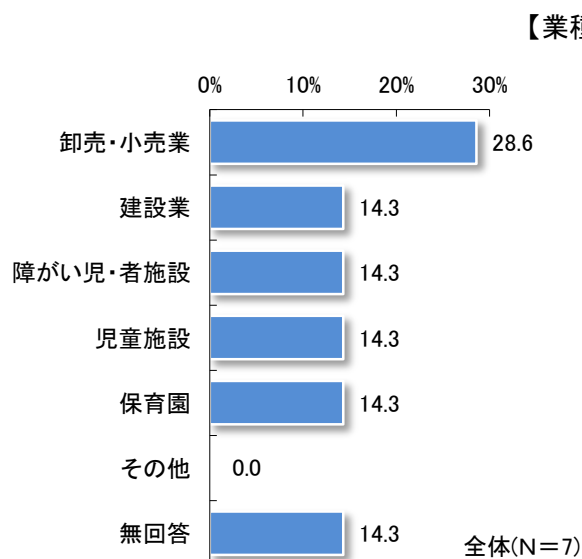
問 現在の状況に○をつけてください。(複数選択可)

仕事をしていない人の現在の状況は、「家事・子育て」(57.1%)の割合が最も高く、次いで「休職中」(42.9%)、「学生」(14.3%)となっている。



問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先の主たる業種は、「卸売・小売業」(28.6%)の割合が最も高く、次いで「建設業」「障がい児・者施設」「児童施設」「保育園」(14.3%)となっている。



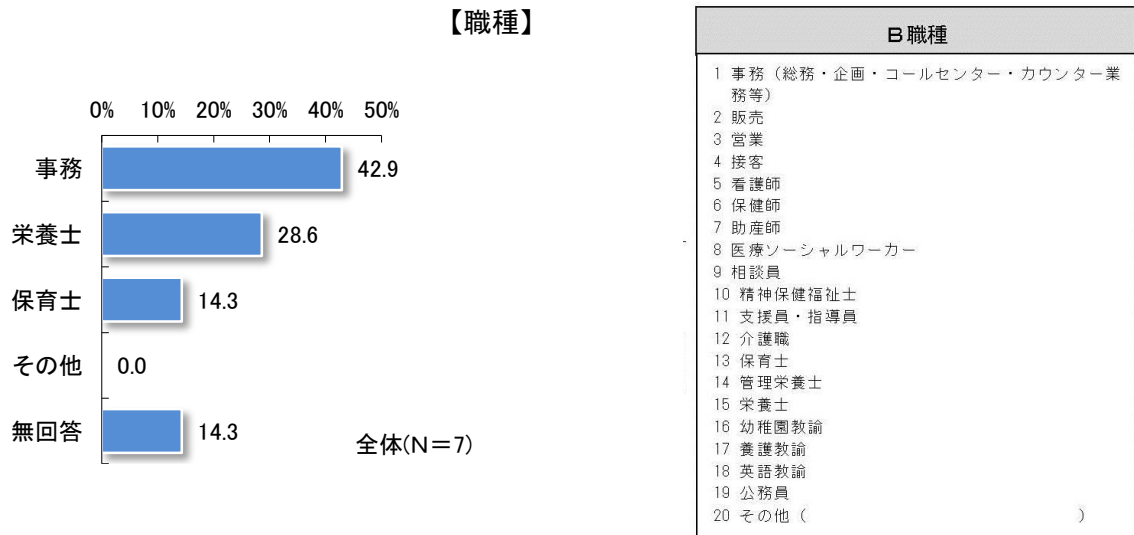
【業種・職種区分表】

A業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業・採石業・砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育園
22	教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他（ ）

※その他に農業・林業・漁業・鉱業・採石業・砂利採取業・製造業・電気・ガス・熱供給・水道業・情報通信業・運輸業・金融・保険業・不動産、物品賃貸業・飲食業・宿泊業・一般病院・精神科病院・クリニック・高齢者施設・教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）・幼稚園・学習支援業・サービス業・公務を含む

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

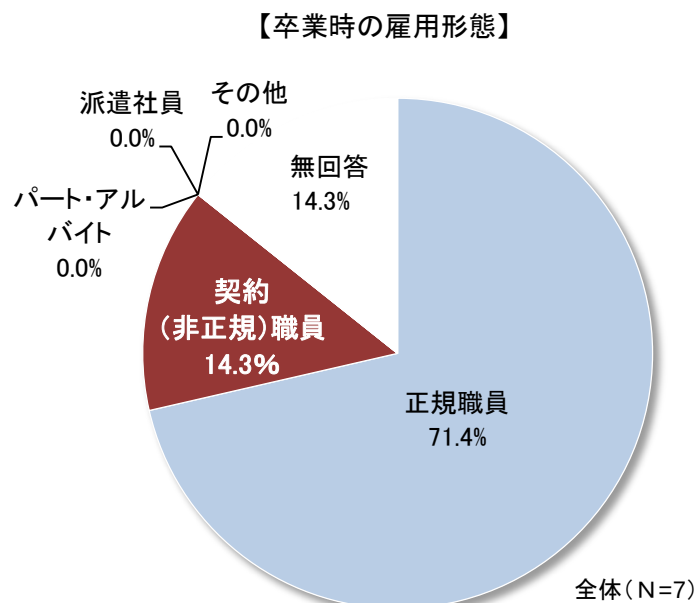
現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「事務」（42.9％）の割合が最も高く、次いで「栄養士」（28.6％）、「保育士」（14.3％）となっている。



※その他に販売・営業・接客・看護師・保健師・助産師・医療ソーシャルワーカー・相談員・精神保健福祉士・支援員・指導員・介護職・管理栄養士・幼稚園教諭・養護教諭・英語教諭・公務員を含む

問 卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

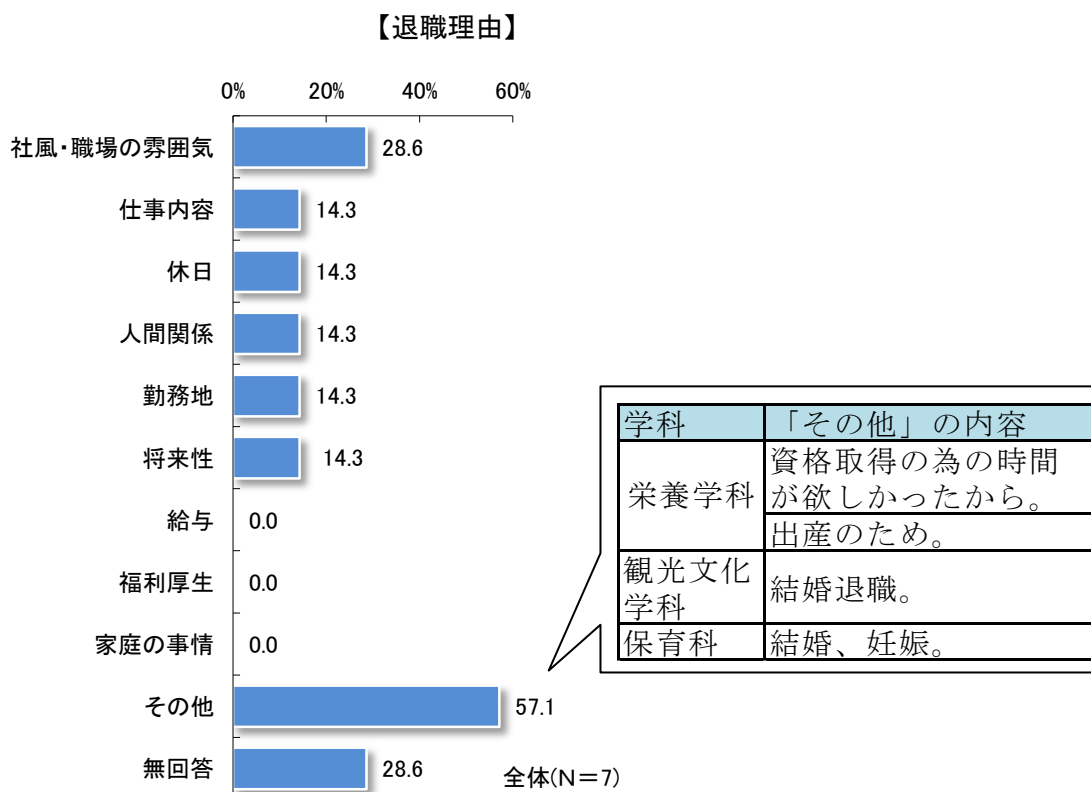
現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」（71.4％）の割合が最も高く、次いで「契約（非正規）職員」となっている。



問 退職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「社風・職場の雰囲気」（28.6％）の割合が最も高く、次いで「仕事内容」「休日」「人間関係」「勤務地」「将来性」（14.3％）となっている。

また、「その他」として、現在の状況で最も多かった「家事・子育て」に類する結婚や妊娠を機に退職している人も多くなっている。



〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

（回答者数：99/135人[73.3%]）

【成長したことについて】

学科	内容
看護学科	一人で出来ることが増えた（1人立ちしたこと）。
	学生時よりスタッフ同士でのコミュニケーション・報告・相談などできるようになった。
	体調管理もしっかりできるようになりました。
福祉学科	個別支援計画が大変であり、成長したと感じた。
	忍耐力がついた。
	知識が深まった。
	成長したこと…利用者とのコミュニケーション。事務手続き（年金や雇用保険）について。
栄養学科	経理事務や接客などのTEL対応を通して自分自身が成長できた。
	責任感が増した。
	常に人と関わって仕事をしていきますので（子どもから大人まで）、コミュニケーション能力の面で成長できたと思います。
英語学科	大学在学中も百貨店でアルバイトをしていたので、接客は得意なつもりでしたが、仕事をはじめ、より高い接客力が求められるため、接客能力は成長したと思います。
	グランドスタッフをしておりませんが後輩の世話役担当を経験させていただいたり、やりがいを感じています。
	やりがいを感じている。
	三年間仕事を続ければ、自分の仕事に対する自信もつき、周りからの信頼も少しずつ得られるようになるのだと感じた。
観光文化学科	営業職なので、たくさんの方に会う事も多いですし、考え方、普段の何気ない話でもいろいろと考えさせられる機会も多く、人として少しは成長できた…はずです。
	PCスキルは確実にUPした。
	教わる立場から教える立場へ変わった時、やりがいと成長を感じました。
生活創造学科	何も分からない状態で社会に出て、職場の人間関係、業務内容、職場環境など、何かと壁にぶつかるとは思いますが、ひたすら懸命に続けてみることに意味があると思います。自分自身、忍耐力やスキルアップと共に少しずつではありますが、人間として成長したと感じております。経験することで考え方も広がり、自己の成長につながりました。
	まだまだ知らない事も多く、日々学ぶ事があるので、その分大変な事や失敗することもあるので、どんな経験も無駄にならないと思いながら頑張って成長しています。
保育科	先輩先生方からいろいろ教えてもらえたり、任されることが増えてきたので、この2年間で成長できていると思う。
	成長したことは、一つ一つのことにに関して、何事にも丁寧に行うようになった。

第1章 卒業生アンケート

【嬉しかったこと・楽しかったことについて】

学科	内容
看護学科	先輩NSからほめられたこと。
	現在手術室看護師として勤務しています。初めてつくOPなどとてもDrにしかられました。しかし、勉強して先輩にアドバイスを頂いて数をこなしていく中で、色々学習しました。Drや先輩Nsから「よく勉強してるね」「よかったよ。成長したね」と言われ、少しずつ自分の糧になっていることがとてもうれしかったです。
	大変な事ばかりだが、仕事ができた時は達成感が大きい。
英語学科	色々大変（接客）だけど、給料や成績の数字で頑張ったんだと分かるので、うれしいこともある。
観光文化学科	大学生の時のアルバイトとはまったく違い、やる事も覚える事も多く、人間関係も上下関係をきちんとしなければいけなかったけれど、皆親切で楽しいこともたくさんあった。
保育科	どこの年齢を担任しても、その学年での責任が大きいですが、自分が教えたこと、伝えたことをきちんと守り、行動としてこたえてくれた時にやりがいを感じる（お遊戯会など）。
	とてもやりがいがあり、保育士になれてよかった。
	人間関係も良く、日々他の先生方にいろんなことを教えてもらいながら楽しく仕事しています。

【仕事に必要なこと・大切なことについて】

学科	内容
看護学科	先輩とのコミュニケーションのとり方、社会人基礎力。
	責任の重たさを感じた。学生の時の知識が必要だと思った。
	日々勉強。
	先生たちとの情報交換や日々のコミュニケーションが大切だと感じている。
福祉学科	実際にやってみないと分からないことばかりなので、経験を積むことが大切だと思いました。
	皆で協力することの大切さやコミュニケーションの向上、相手（利用者）のプラス面を見つけること。
	学生時代に勉強した専門知識が非常に役に立つので、改めて必要性を感じています。
	自分から進んで行動することも大切であると同時に、先輩と積極的にコミュニケーションをとり、相談することが大切だと感じました。
栄養学科	他職種と連携しながら業務をしていくこと。それにはコミュニケーション能力やある程度の知識が必要であるので、常に勉強は必要だと思っています。
	大学で学んだ知識などはとても大切だが、仕事をする中で、やはりコミュニケーション能力、自分の考えを述べる発信力、表現力はすごく大切だなと感じている。
	常に最新の情報をもつ必要があり、医師へ上申するため、医師レベルの知識取得が必要。
	あいさつ、敬語は大切だと実感している。
	知識・能力と同等またはそれ以上に、コミュニケーション能力が仕事をしていく上で重要だと感じました。
	報・連・相の重要さや、何事にも（仕事を一緒にしている上司や同期や後輩、他の部署、お客様）相手の立場になって物事を考え、耳を傾けて行動する事の大切さを学びました。
英語学科	より英語を深く学ぶべきだと感じました。職場でTOEFLや英検などの資格が求められています。

観光文化学科	忍耐力。チームワーク。お客様から愛される店作り。機転を利かせること。
	良くも悪くも様々な人がいる中で流されることなくいること。
	様々な人と仕事を進めていく対応力。忍耐力。
	営業職をする中で、企業の役員の方々とお話しさせて頂く機会が多く、時事ニュースや一般的な経済・政治の用語等、普段から身に付けておくべきだったと思いました。また、どんな職場でも一番大切なことはコミュニケーションであると実感しています。
生活創造学科	多くのスタッフの中心となるので、人間関係をよくするのも、大切な仕事の1つと感じております。
	自分の思いや意見を言うことは、大切なことだと感じるようになりました。

【苦勞したことについて】

学科	内容
看護学科	看護実習と現場との差。
	業務を覚えること、疾患を理解し、看護を行うことが大変。業務形態の変更に慣れることに苦勞した。
	学生の時より、責任を持って仕事に取り組むことは大変です。実習でもっと多くの処置や技術を経験しておきたかったです。
	知人がおらず苦勞を分かち合えない。
	人間関係。
	新人の時（入社1年目）は学ぶ事が多いことや職場環境に慣れる事が大変だった。2、3年目は任される仕事量が増えて大変。
	仕事（業務・環境に慣れるまで）が大変に感じた。最初の1～2年間は特に。
	習ったことに加えて、その病院でのマニュアルなどがあり、それを覚えるのに苦勞した。
	生活リズムがばらばらなので、慣れるまで大変でしたが、半年くらいで慣れました。
福祉学科	一般教諭とはまた別の職種のため、保健室に対する理解が難しい。特に「若いからわからないだろうけど…」など言われることもあり、職務と先生たちの理解の差をうめることに悩むことはある。
	大学では学べなかったことが多く、学校内でも聞ける人がいない時は苦勞しました。
	クレーム対応。
	苦勞することは、社会人としての常識など、日々学んでおり、無意識で行動した後、「こうすれば良かったのか…」「今は、こうするべきだったのか…」と反省しています。
	苦勞したこと…勤務時間がバラバラのため、体調管理が難しい。スケジュール調整。
	養護教諭の専門科目（看護）が少なかったので、応急処置などの実践に困った。
	年上の部下や利用者等、年代、性格、障害等色々な人と接する仕事なので人との関わり方が難しい。
	学生と違って、社会的な責任を感じる。初任の時は勉強したことが全く通用せず実務で覚えることに苦勞した。
	学生とのかかわり方に悩んだ時期があった。

第1章 卒業生アンケート

栄養学科	子どもたちへ声かけの仕方。職場の人間関係。
	ほとんど毎日残業し、休日出勤し休みが無く、自分の時間がとれず苦労した。
	給与が良くても人間関係が悪いと続かない。
	授業をする際に、授業の組み立て方や魅力ある授業内容にすることが大変でした。栄養教諭もとおけば良かったなあと今さらながらに思っています。
	職場に、同じ業種の人がないこと。新卒時から1人で仕事を行わなければならなかったこと。辛かったですが、今はたくましくなりました。
	仕事内容のギャップ。上下関係の難しさ。
	学業での知識と、現場での実践にはかなりの差がある。管理栄養士の必要性を、他職種に分かってもらえない。
	・管理栄養士の地位の低さ(コメディカルスタッフの中で)。人員不足(199病床あたり、管理栄養士2名、委託会社栄養士2名)。 ・入職当時は新卒で経験がないため、医師からはなかなか聞く耳を持っていただけませんでしたが、勉強会、経営栄養士の資格、交渉方法、コメディカルスタッフとのつながりなどを通して、やっと1人の管理栄養士として見ていただけるようになりました。今後は、自分の身体にも気をつかい、ぼちぼち頑張っていきたいと思います。
	英語力不足。
	人間関係。
英語学科	人間関係と仕事の両立が大変。
	ノルマがある仕事なので、ノルマの達成に苦労しています。
	賃金が安い。
観光文化学科	お客様とうまくコミュニケーションをとること。
	社会人として責任が増えた。好き嫌いや合う合わないで仕事はできない。自分の責任でなかったとしても理不尽でも謝らないといけない時はある。
	日々の業務をこなしながらも営業実績をつくっていかねばならなかったことが大変でした。
	上司やお客様との人間関係。決められた時間の中で、接客や事務的处理等多くの仕事をこなさなければならないこと。
助産別科	全く違う分野の業種に勤め、何の知識もない0からのスタートで苦だったとしても、仕事をするうちに意外に興味が出て、この業種で良かったと思えた。
	ジレンマが多い。会社の方針がわからない(上司と考えが合わないなど)。
	助産師としての評価がない。HP全体でマンパワーが不足している。
生活創造学科	助産師免許を取得したのに、分娩件数40件/年と少ない病院へ就職したため、助産の仕事ができない。看護業務ばかりをしている。成長できない。
	その場に応じて言葉を考え伝えるのはとても大変だった。
	アルバイトから働きはじめていたので、もう5年も経つと、私より年上でも年数は下の人が入ってくるので、仕事を教えるのが難しかった。
	アルバイトとは違い、1つ1つの仕事の責任感が大きくなったと思います。
	残業時間が多くて平日に自分の時間がとれない。
	最初は店舗のスタッフとして販売しておりましたが、半年経ち、責任者(店長)となり、販売計画や育成など、お店を運営するための裏方の仕事が大変でもあり、やりがいもあります
	いつも笑顔でいることのつらさ。
	学校とは違って働く期間が決まっている訳ではないので自ら行動したり、思いをきちんと伝えないとずっとこのままなのかなと悩むことになりました。
	日々ノルマや数字を意識して働かなければならない事に苦労しています。

保育科	一人ひとりの子どもに合った保育を集団の中で行う難しさがある。
	責任のおもさだったり、行動前の大変さなどとても感じた。
	人間関係の難しさ、職員との連携、ストレスの解消法に苦労した。
	・人間関係が大変。 ・苦手部分がたくさんみつかった。 ・お給料が少ない。 ・プライベートと仕事の境目がない（毎日、家でも仕事）。
	人間関係。
	保育士の人数の少なさ、給料の少なさ。
	人間関係がめんどくさい。でもそれが仕事の1つかな…と。

【学べたことについて】

学科	内容
看護学科	先輩とのコミュニケーションのとり方、社会人基礎力。
	常識や社会人として人間性等たくさん学べた。
福祉学科	学生で実習に行ったときには、「自分と患者さんの関わりや看護について」ばかりを考えて、時間をすごしていたが、実際に仕事になると、もっと多くの人との関わりがあって、仕事はチームで協力して働くことの重要性を学んだ。
	仕事をする（お金をもらう）大変さ。
	他職種と連携すること、協力し合うことで、一つのことを成し遂げることの大切さ。
	礼儀など大学時代には学べない事を仕事をしながら教えて頂いてます。
栄養学科	他の先生の授業を観ることによって、学ぶことが多くあった。
	2年程度で献立作成から月末業務まで（現場も）経験でき、多くの事を学ぶことが出来良かった。
	リーダーシップ。
助産別科	栄養士としての実務経験を積むことの大切さを学びました。
助産別科	1年目から、リスクの高い患者を受けもつため勉強になることは多い。
生活創造学科	ちょっとした一言で喜んでもらえたりクレームになったりと、伝えることの大切さを感じることができた。
保育科	乳児院での勤務をすることにより、母子との関係や関わり大切さ。
	実習や学校での勉強では理解できなかった子どもの成長や援助のしかたなど、経験をする中で、又、先輩に尋ねたり、見習ったりすることで理解が深まっていったと感じた。
	人間関係。人との関わり方を改めて学びました。

【その他】

学科	内容
看護学科	別にやりたいことがあるため、このままでいいのかと考えたことがある。
福祉学科	学生生活でもっと楽しみ、時間がある間にいろんな経験をしておけば良かったと思います。
	資格を働きながら取得したので、学生の時に国試対策をもっとしてほしかった。
栄養学科	求人票には、日・祝休みと書いてあったが、仕事があるときも多々あり、会社カレンダーが全く機能していない。有給休暇がとれる体制が全くない。男性社員は勤務年数が短くてもすぐ昇給する。
	焦らずに就活すべきだと思った。

〔6〕大学・短期大学部で受けた教育について

①達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。
その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部で得た力やスキルが『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「18. チームで働く力（チームワーク）」(91.2%)の割合が最も高くなっている。また、これに次いで「5. 責任感」(86.6%)、「15. コミュニケーション能力」「9. 倫理観」(85.2%)、「8. 自己管理能力」(84.4%)が8割を超えて高くなっている。

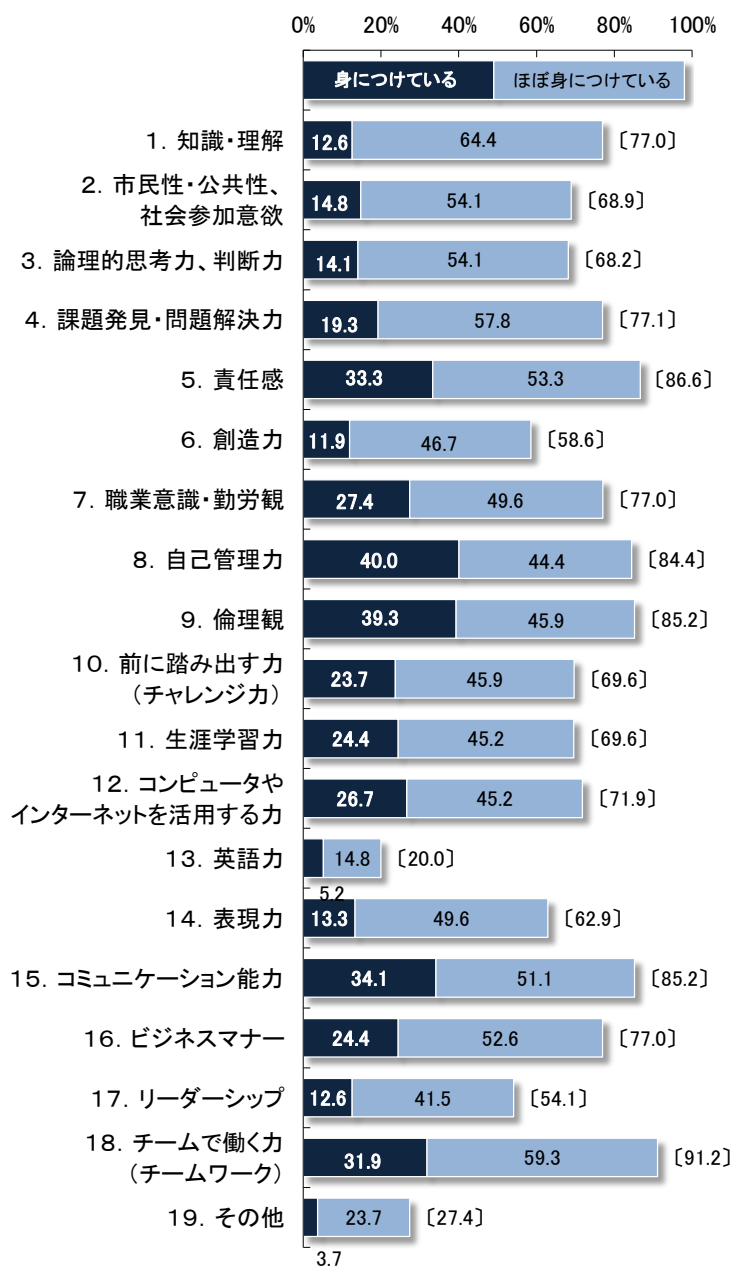
現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ＋やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「5. 責任感」(93.3%)の割合が最も高くなっている。また、これに次いで「16. ビジネスマナー」、「7. 職業意識・勤労観」(98.7%)、「4. 課題発見・問題解決力」「15. コミュニケーション能力」「18. チームで働く力（チームワーク）」(89.6%)が8割を超えて高くなっている。

総じて、達成度よりも必要とされるスキルの方が高い傾向にあるが、特に「16. ビジネスマナー」や「7. 職業意識・勤労観」、「4. 課題発見・問題解決力」、「3. 論理的思考力、判断力」等でその差が大きい。

【達成度と必要性】

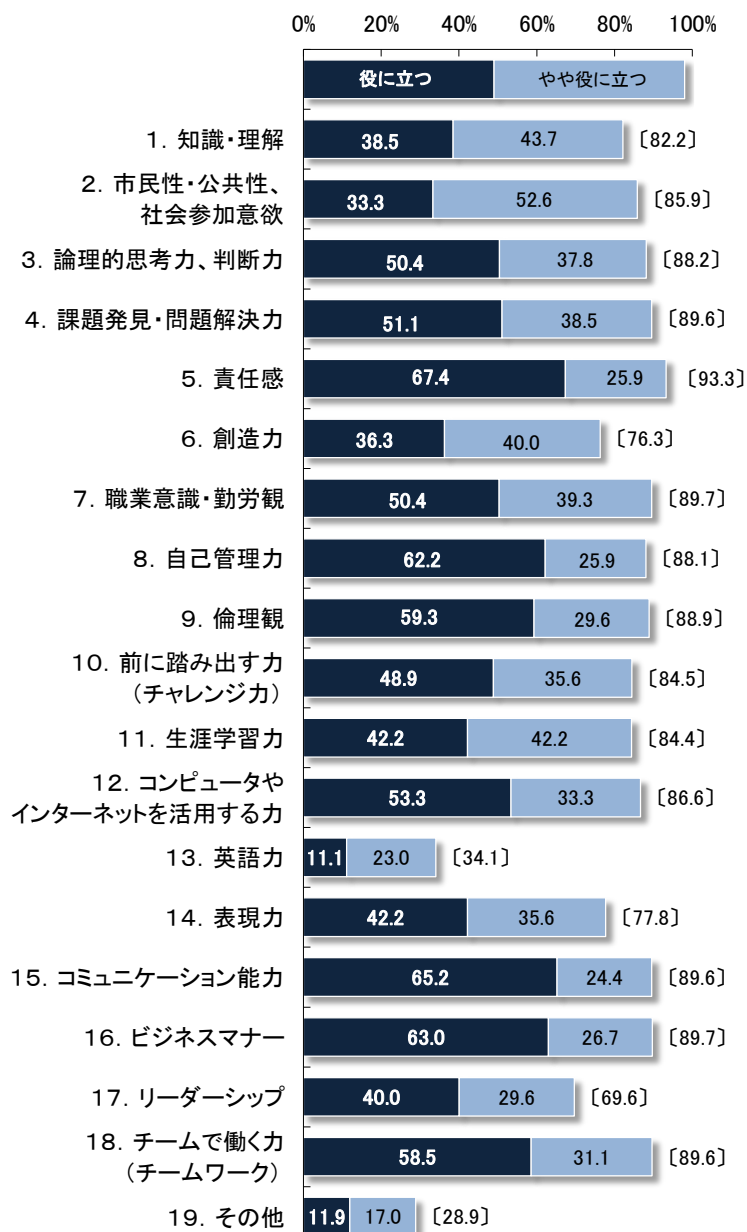
達成度

西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部で
得た力やスキル
(各項目ともN=135)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=135)



注1) 達成度の選択肢は「身につけている」「ほぼ身につけている」「あまり身につけていない」「身につけていない」の4段階

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

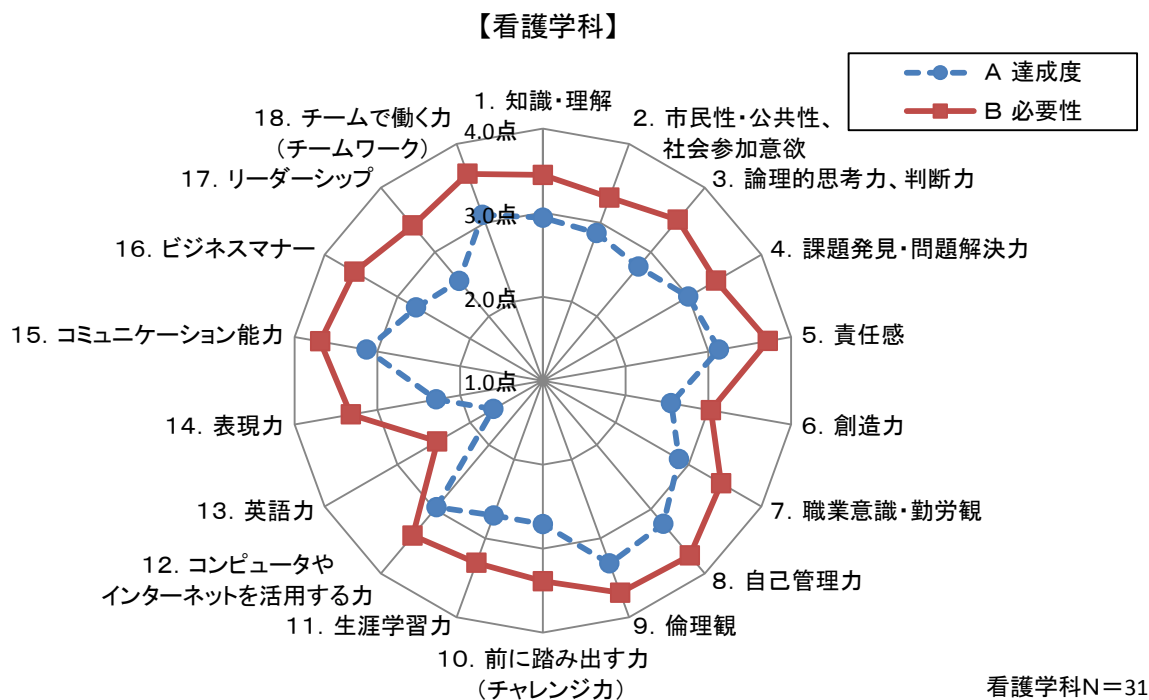
注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」「やや役に立つ」「あまり役に立たない」「役に立たない」の4段階

注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある

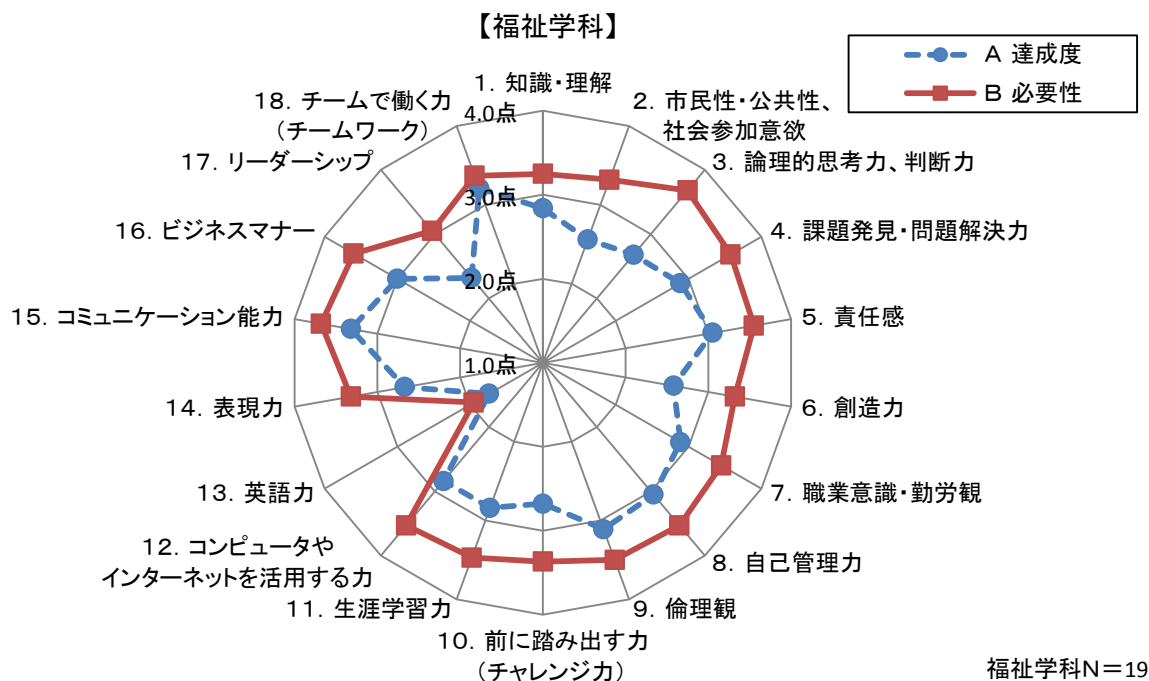
②達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。

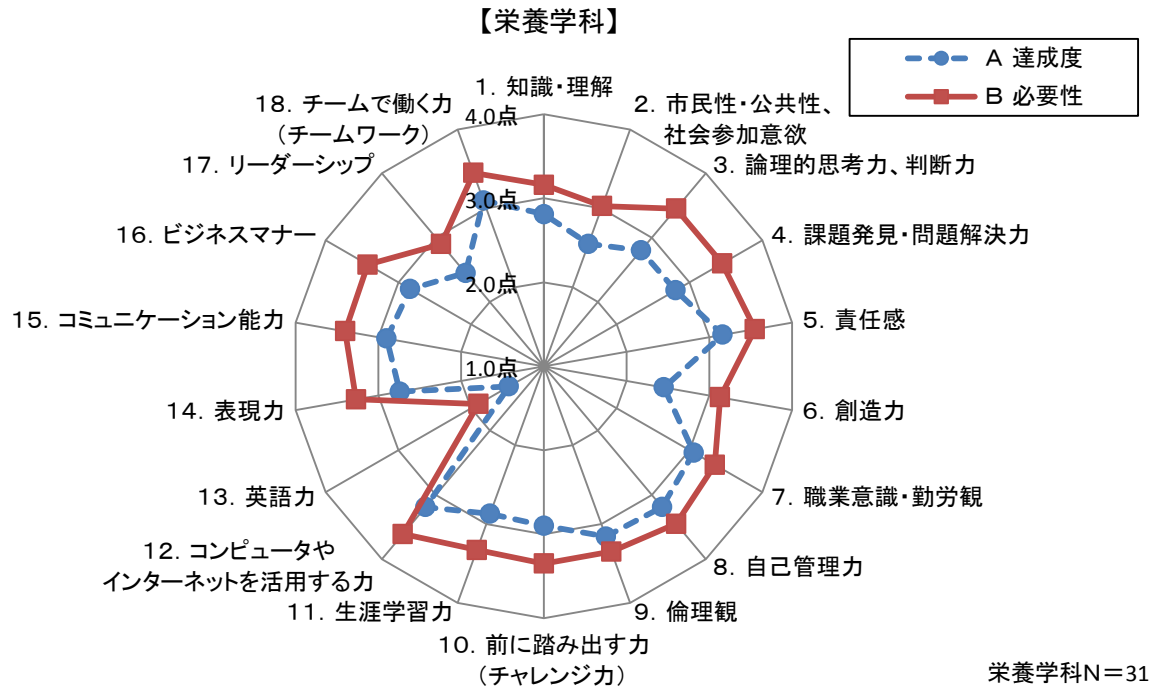
看護学科では、「9. 倫理観」や「8. 自己管理能力」の達成度が高い。また、「4. 課題発見・問題解決力」や「9. 倫理観」では必要性と達成度のギャップが比較的小さい。



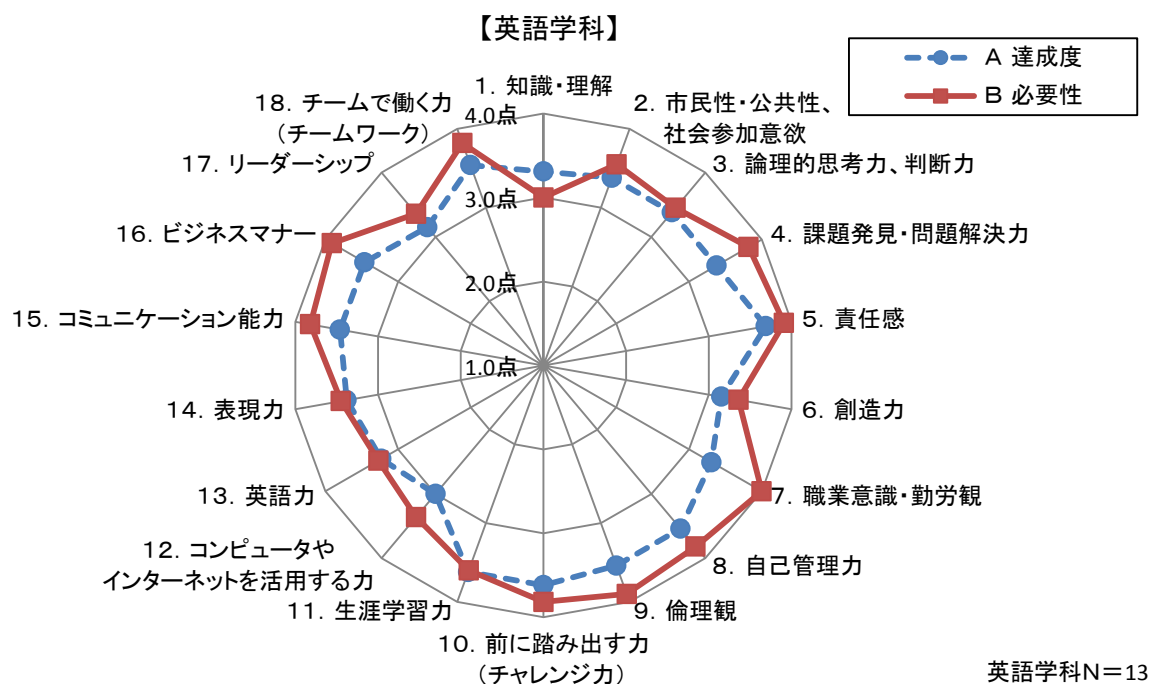
福祉学科では、「15. コミュニケーション能力」や「18. チームで働く力（チームワーク）」の達成度が高いと同時に、必要性と達成度のギャップが比較的小さい。



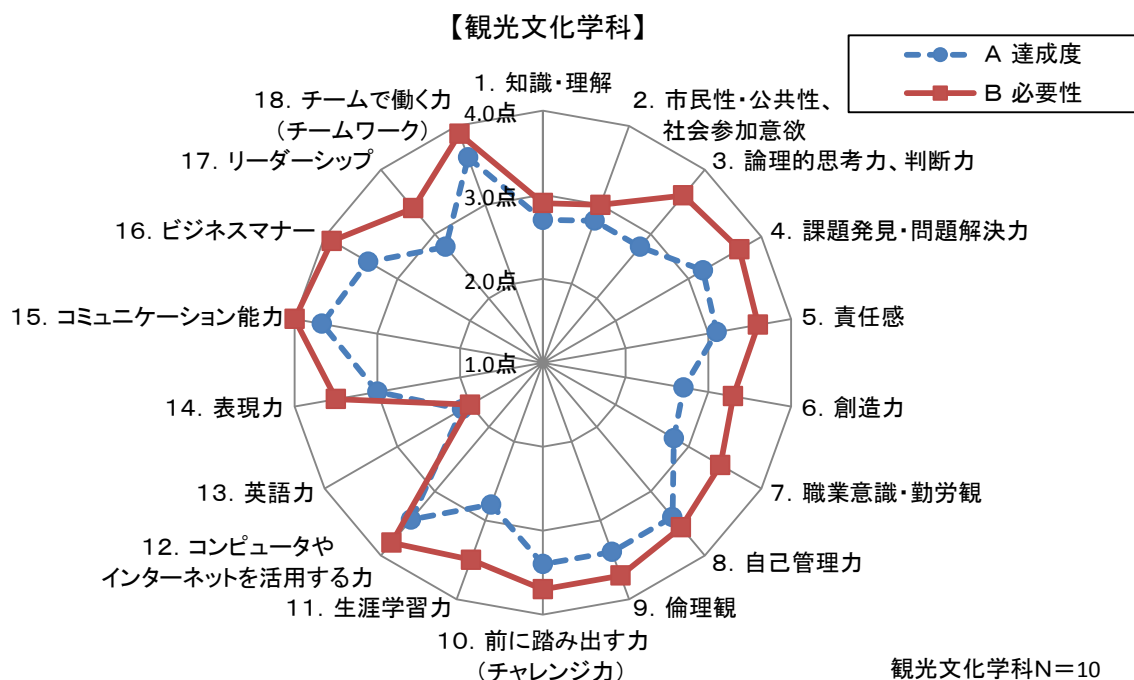
栄養学科では、「8. 自己管理能力」や「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の達成度が高い。また、「8. 自己管理能力」や「9. 倫理観」では必要性和達成度のギャップが比較的小さい。



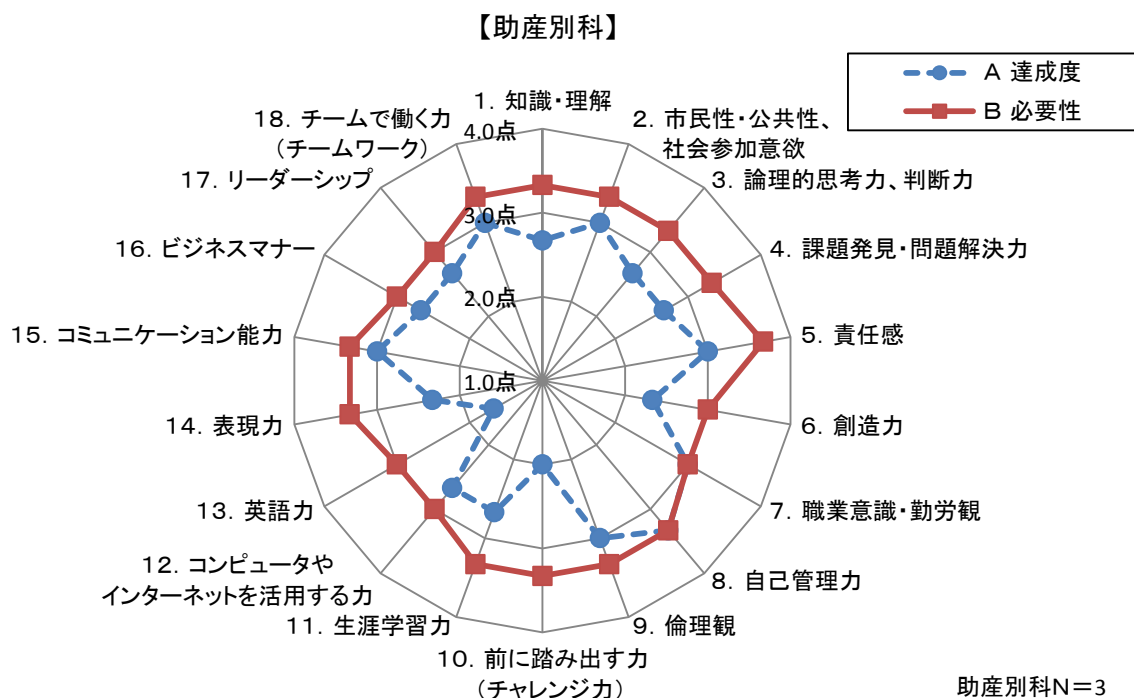
英語学科では、他の学科に比べ必要性和達成度のギャップが小さく、「1. 知識・理解」や「3. 論理的思考力、判断力」、「11. 生涯学習力」、「13. 英語力」、「14. 表現力」については求められる能力をほぼ達成していると考えられる人が多い。



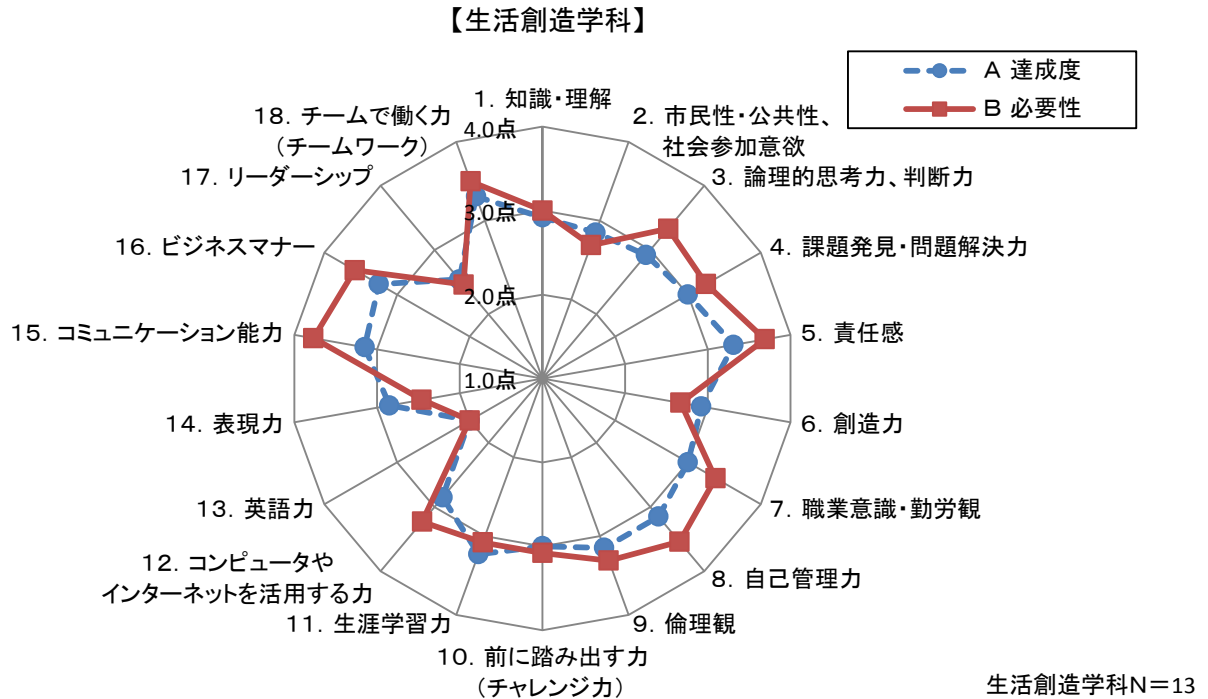
観光文化学科では、「15. コミュニケーション能力」や「18. チームで働く力(チームワーク)」の達成度が高い。また、「8. 自己管理能力」や「13. 英語力」では必要性と達成度のギャップが比較的小さい。



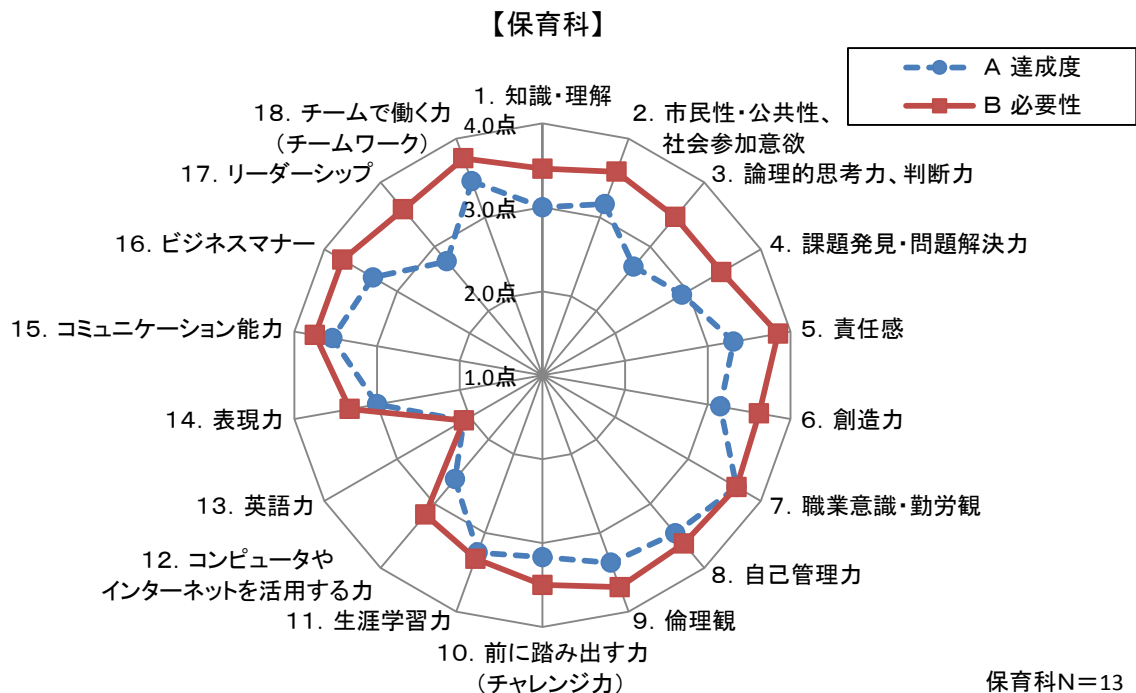
助産別科では、「7. 職業意識・勤労観」や「8. 自己管理能力」の達成度が高いと同時に、必要性和達成度が一致しており、これらについては求められる能力をほぼ達成していると考えられる人が多い。



生活創造学科では、「5. 責任感」や「チームで働く力（チームワーク）」の達成度が高い。また、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「6. 創造力」、「11. 生涯学習力」、「14. 表現力」、「17. リーダーシップ」については必要性が達成度が上回っており、これらの項目については求められる能力を達成していると考えられる人が多い。



保育科では、「7. 職業意識・勤労観」や「15. コミュニケーション能力」の達成度が高い。また、「7. 職業意識・勤労観」、「11. 生涯学習力」、「13. 英語力」では必要性と達成度のギャップが比較的小さい。



③能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「15. コミュニケーション能力」については「研究室、ゼミ活動」や「アルバイト」が役に立ったと回答した人が多い。また「5. 責任感」や「7. 職業意識・勤労観」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」については「実習、インターンシップ」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（%）

	全体 (人)	大学での 講義	研究 室、ゼミ 活動	キャリア 教育	実習、 インター ンシップ	留学	先 輩・サ ークル、 友人との 交流	アル バイト	独 学、専 門学校	地 域貢 献活 動	ボ ラン ティア、 勤 務先 での 研 修	無 回 答
1. 知識・理解	135	80.7	36.3	2.2	49.6	5.9	9.6	17.0	3.7	8.1	28.1	5.2
2. 市民性・公共性、 社会参加意欲	135	27.4	37.8	2.2	28.1	1.5	25.9	37.8	-	23.7	11.9	9.6
3. 論理的思考力、判断力	135	49.6	37.0	3.7	32.6	-	11.9	25.9	0.7	7.4	23.7	10.4
4. 課題発見・問題解決力	135	57.8	41.5	1.5	38.5	0.7	9.6	20.7	3.0	6.7	23.7	8.9
5. 責任感	135	40.0	43.0	3.0	45.9	0.7	22.2	43.7	0.7	12.6	24.4	5.9
6. 創造力	135	42.2	40.7	2.2	30.4	3.0	26.7	15.6	2.2	10.4	17.0	11.9
7. 職業意識・勤労観	135	39.3	25.9	7.4	40.7	-	7.4	35.6	2.2	11.1	30.4	8.1
8. 自己管理能力	135	37.8	20.7	2.2	31.1	0.7	17.0	34.8	5.2	5.2	19.3	10.4
9. 倫理観	135	39.3	23.7	5.9	34.8	-	20.7	40.7	5.2	13.3	25.2	8.9
10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	135	35.6	38.5	3.0	38.5	3.7	24.4	28.1	3.0	12.6	25.2	11.1
11. 生涯学習力	135	51.1	31.9	4.4	25.2	0.7	11.9	11.1	5.9	5.9	33.3	8.9
12. コンピュータや インターネットを活用する力	135	76.3	30.4	1.5	13.3	-	2.2	3.0	12.6	1.5	12.6	7.4
13. 英語力	135	63.0	10.4	1.5	2.2	5.9	0.7	1.5	5.9	-	3.7	26.7
14. 表現力	135	65.2	51.1	5.2	30.4	3.0	11.1	8.1	3.7	2.2	18.5	9.6
15. コミュニケーション能力	135	40.7	48.9	3.0	47.4	3.7	41.5	52.6	3.7	17.0	25.2	6.7
16. ビジネスマナー	135	42.2	21.5	14.1	31.1	-	18.5	45.9	8.1	6.7	37.0	7.4
17. リーダーシップ	135	29.6	35.6	3.7	30.4	-	25.2	28.9	3.7	5.2	17.8	13.3
18. チームで働く力 (チームワーク)	135	40.0	51.1	3.0	43.0	3.0	33.3	43.0	5.2	12.6	27.4	5.9
19. その他	135	24.4	11.1	3.0	6.7	-	4.4	10.4	3.0	3.7	5.9	68.1

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１～４）】（％）

	全体 (人)	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全 体	135	80.7	36.3	2.2	49.6	5.9	9.6	17.0	3.7	8.1	28.1	5.2
看護学科	31	93.5	25.8	-	67.7	-	3.2	6.5	-	-	29.0	3.2
福祉学科	20	85.0	40.0	-	75.0	-	5.0	30.0	-	30.0	55.0	-
栄養学科	31	74.2	38.7	-	48.4	-	9.7	9.7	6.5	6.5	25.8	3.2
英語学科	13	76.9	38.5	7.7	7.7	38.5	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7
観光文化学科	10	70.0	60.0	10.0	30.0	30.0	30.0	60.0	-	20.0	-	-
助産別科	3	66.7	33.3	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
生活創造学科	13	76.9	38.5	-	7.7	-	30.8	15.4	15.4	-	7.7	7.7
保育科	14	78.6	28.6	7.1	57.1	-	-	7.1	-	-	35.7	21.4
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全 体	135	27.4	37.8	2.2	28.1	1.5	25.9	37.8	-	23.7	11.9	9.6
看護学科	31	22.6	48.4	-	45.2	-	29.0	45.2	-	19.4	12.9	3.2
福祉学科	20	15.0	30.0	-	35.0	-	15.0	35.0	-	45.0	10.0	10.0
栄養学科	31	22.6	29.0	3.2	25.8	-	32.3	41.9	-	19.4	12.9	9.7
英語学科	13	23.1	30.8	-	7.7	7.7	15.4	46.2	-	38.5	7.7	23.1
観光文化学科	10	30.0	40.0	-	20.0	10.0	10.0	30.0	-	30.0	10.0	10.0
助産別科	3	-	-	-	66.7	-	66.7	33.3	-	-	33.3	-
生活創造学科	13	53.8	46.2	-	7.7	-	38.5	15.4	-	23.1	-	7.7
保育科	14	50.0	50.0	14.3	21.4	-	21.4	35.7	-	-	21.4	14.3
3. 論理的思考力、判断力												
全 体	135	49.6	37.0	3.7	32.6	-	11.9	25.9	0.7	7.4	23.7	10.4
看護学科	31	54.8	41.9	6.5	54.8	-	9.7	16.1	-	-	32.3	3.2
福祉学科	20	55.0	40.0	5.0	55.0	-	5.0	45.0	-	25.0	30.0	5.0
栄養学科	31	61.3	38.7	-	32.3	-	9.7	25.8	-	6.5	19.4	9.7
英語学科	13	46.2	38.5	-	7.7	-	23.1	23.1	-	15.4	-	23.1
観光文化学科	10	30.0	70.0	10.0	20.0	-	-	50.0	-	10.0	10.0	10.0
助産別科	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
生活創造学科	13	30.8	30.8	-	-	-	38.5	15.4	7.7	-	23.1	15.4
保育科	14	35.7	-	7.1	14.3	-	7.1	21.4	-	-	35.7	21.4
4. 課題発見・問題解決力												
全 体	135	57.8	41.5	1.5	38.5	0.7	9.6	20.7	3.0	6.7	23.7	8.9
看護学科	31	58.1	45.2	-	71.0	-	3.2	6.5	-	-	22.6	3.2
福祉学科	20	55.0	45.0	5.0	45.0	-	5.0	40.0	-	25.0	45.0	10.0
栄養学科	31	74.2	38.7	3.2	35.5	-	12.9	22.6	6.5	3.2	16.1	3.2
英語学科	13	53.8	38.5	-	15.4	-	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	15.4
観光文化学科	10	60.0	90.0	-	20.0	10.0	20.0	40.0	-	20.0	-	10.0
助産別科	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	66.7	-
生活創造学科	13	61.5	38.5	-	7.7	-	23.1	23.1	7.7	-	15.4	15.4
保育科	14	28.6	14.3	-	21.4	-	7.1	7.1	-	-	42.9	21.4

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（５～８）】（％）

		全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感													
全 体	135	40.0	43.0	3.0	45.9	0.7	22.2	43.7	0.7	12.6	24.4	5.9	
看護学科	31	35.5	45.2	-	74.2	-	16.1	22.6	-	6.5	29.0	3.2	
福祉学科	20	25.0	45.0	-	70.0	-	25.0	75.0	-	45.0	35.0	-	
栄養学科	31	48.4	38.7	-	51.6	-	25.8	51.6	-	3.2	19.4	6.5	
英語学科	13	69.2	38.5	7.7	15.4	7.7	15.4	53.8	-	7.7	-	7.7	
観光文化学科	10	30.0	80.0	10.0	10.0	-	30.0	70.0	-	30.0	-	-	
助産別科	3	33.3	66.7	-	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	
生活創造学科	13	30.8	38.5	-	7.7	-	38.5	30.8	7.7	7.7	46.2	7.7	
保育科	14	42.9	21.4	14.3	21.4	-	7.1	21.4	-	-	28.6	21.4	
6. 創造力													
全 体	135	42.2	40.7	2.2	30.4	3.0	26.7	15.6	2.2	10.4	17.0	11.9	
看護学科	31	35.5	41.9	-	45.2	-	22.6	9.7	-	9.7	16.1	6.5	
福祉学科	20	40.0	55.0	5.0	35.0	-	25.0	25.0	5.0	25.0	35.0	5.0	
栄養学科	31	35.5	38.7	3.2	41.9	-	35.5	25.8	3.2	9.7	12.9	9.7	
英語学科	13	53.8	30.8	7.7	7.7	7.7	15.4	15.4	-	-	-	23.1	
観光文化学科	10	60.0	60.0	-	10.0	30.0	30.0	30.0	-	20.0	-	10.0	
助産別科	3	-	-	-	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7	-	
生活創造学科	13	38.5	46.2	-	7.7	-	38.5	-	7.7	7.7	7.7	23.1	
保育科	14	64.3	21.4	-	14.3	-	14.3	-	-	-	28.6	21.4	
7. 職業意識・勤労観													
全 体	135	39.3	25.9	7.4	40.7	-	7.4	35.6	2.2	11.1	30.4	8.1	
看護学科	31	29.0	29.0	-	61.3	-	6.5	32.3	-	3.2	32.3	3.2	
福祉学科	20	50.0	30.0	5.0	40.0	-	5.0	35.0	5.0	35.0	55.0	-	
栄養学科	31	48.4	29.0	6.5	41.9	-	12.9	45.2	-	6.5	25.8	6.5	
英語学科	13	38.5	23.1	23.1	7.7	-	-	46.2	7.7	7.7	-	15.4	
観光文化学科	10	60.0	40.0	20.0	80.0	-	10.0	60.0	-	20.0	10.0	-	
助産別科	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-	
生活創造学科	13	7.7	15.4	7.7	7.7	-	7.7	15.4	7.7	15.4	30.8	23.1	
保育科	14	50.0	14.3	7.1	35.7	-	7.1	14.3	-	-	35.7	21.4	
8. 自己管理力													
全 体	135	37.8	20.7	2.2	31.1	0.7	17.0	34.8	5.2	5.2	19.3	10.4	
看護学科	31	35.5	22.6	-	54.8	-	12.9	22.6	-	3.2	32.3	6.5	
福祉学科	20	30.0	15.0	-	40.0	-	10.0	55.0	5.0	25.0	20.0	5.0	
栄養学科	31	51.6	22.6	-	29.0	-	29.0	41.9	6.5	3.2	9.7	6.5	
英語学科	13	38.5	15.4	7.7	7.7	-	-	30.8	-	-	7.7	23.1	
観光文化学科	10	40.0	30.0	10.0	-	10.0	20.0	50.0	10.0	-	10.0	10.0	
助産別科	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	66.7	-	
生活創造学科	13	38.5	38.5	-	15.4	-	30.8	23.1	7.7	-	15.4	15.4	
保育科	14	21.4	7.1	7.1	21.4	-	14.3	28.6	14.3	-	21.4	21.4	

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（%）

		全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観													
全体	135	39.3	23.7	5.9	34.8	-	20.7	40.7	5.2	13.3	25.2	8.9	
看護学科	31	32.3	19.4	3.2	64.5	-	19.4	35.5	-	9.7	25.8	3.2	
福祉学科	20	40.0	35.0	-	40.0	-	10.0	60.0	-	45.0	45.0	-	
栄養学科	31	45.2	29.0	6.5	29.0	-	32.3	48.4	9.7	6.5	16.1	9.7	
英語学科	13	46.2	23.1	7.7	7.7	-	7.7	38.5	-	7.7	7.7	15.4	
観光文化学科	10	50.0	30.0	10.0	10.0	-	30.0	50.0	10.0	20.0	10.0	10.0	
助産別科	3	33.3	33.3	-	66.7	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	
生活創造学科	13	38.5	15.4	7.7	7.7	-	30.8	15.4	7.7	7.7	38.5	15.4	
保育科	14	28.6	7.1	14.3	35.7	-	7.1	21.4	14.3	-	28.6	21.4	
10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)													
全体	135	35.6	38.5	3.0	38.5	3.7	24.4	28.1	3.0	12.6	25.2	11.1	
看護学科	31	29.0	48.4	-	54.8	-	22.6	19.4	-	12.9	32.3	6.5	
福祉学科	20	35.0	35.0	10.0	65.0	-	5.0	50.0	-	25.0	30.0	10.0	
栄養学科	31	32.3	41.9	-	38.7	-	38.7	32.3	-	12.9	22.6	9.7	
英語学科	13	46.2	30.8	-	-	23.1	15.4	23.1	15.4	15.4	15.4	15.4	
観光文化学科	10	30.0	40.0	-	30.0	20.0	40.0	60.0	-	10.0	20.0	10.0	
助産別科	3	-	-	-	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7	-	
生活創造学科	13	38.5	23.1	7.7	7.7	-	38.5	-	7.7	7.7	15.4	15.4	
保育科	14	57.1	28.6	7.1	28.6	-	7.1	21.4	7.1	-	21.4	21.4	
11. 生涯学習力													
全体	135	51.1	31.9	4.4	25.2	0.7	11.9	11.1	5.9	5.9	33.3	8.9	
看護学科	31	58.1	35.5	-	35.5	-	3.2	6.5	3.2	-	38.7	3.2	
福祉学科	20	30.0	35.0	5.0	40.0	-	5.0	30.0	5.0	30.0	50.0	10.0	
栄養学科	31	67.7	35.5	3.2	25.8	-	16.1	6.5	9.7	3.2	25.8	6.5	
英語学科	13	53.8	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	23.1	
観光文化学科	10	40.0	40.0	10.0	10.0	-	30.0	30.0	10.0	-	10.0	-	
助産別科	3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	100.0	-	
生活創造学科	13	38.5	15.4	7.7	-	-	23.1	-	7.7	-	38.5	7.7	
保育科	14	57.1	21.4	7.1	28.6	-	14.3	7.1	-	-	28.6	21.4	
12. コンピュータやインターネットを活用する力													
全体	135	76.3	30.4	1.5	13.3	-	2.2	3.0	12.6	1.5	12.6	7.4	
看護学科	31	87.1	48.4	3.2	19.4	-	-	-	3.2	-	16.1	-	
福祉学科	20	65.0	25.0	-	10.0	-	-	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	
栄養学科	31	90.3	38.7	3.2	25.8	-	6.5	-	6.5	-	6.5	6.5	
英語学科	13	69.2	30.8	-	-	-	-	7.7	15.4	-	15.4	15.4	
観光文化学科	10	80.0	20.0	-	-	-	-	10.0	10.0	-	10.0	10.0	
助産別科	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	
生活創造学科	13	61.5	23.1	-	7.7	-	-	-	38.5	-	15.4	7.7	
保育科	14	64.3	-	-	-	-	7.1	-	14.3	-	14.3	21.4	

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

		全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力													
全体	135	63.0	10.4	1.5	2.2	5.9	0.7	1.5	5.9	-	3.7	26.7	
看護学科	31	71.0	6.5	-	-	-	-	3.2	-	-	3.2	22.6	
福祉学科	20	60.0	5.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	30.0	
栄養学科	31	54.8	3.2	-	3.2	-	3.2	-	6.5	-	-	35.5	
英語学科	13	84.6	53.8	-	-	30.8	-	-	15.4	-	15.4	7.7	
観光文化学科	10	90.0	30.0	10.0	10.0	40.0	-	10.0	-	-	-	-	
助産別科	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	
生活創造学科	13	61.5	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	30.8	
保育科	14	35.7	-	7.1	-	-	-	-	14.3	-	7.1	42.9	
14. 表現力													
全体	135	65.2	51.1	5.2	30.4	3.0	11.1	8.1	3.7	2.2	18.5	9.6	
看護学科	31	71.0	71.0	6.5	38.7	-	16.1	9.7	-	3.2	29.0	3.2	
福祉学科	20	70.0	40.0	5.0	45.0	-	10.0	5.0	5.0	10.0	35.0	5.0	
栄養学科	31	67.7	48.4	-	45.2	-	9.7	3.2	-	-	9.7	9.7	
英語学科	13	61.5	46.2	7.7	-	15.4	7.7	7.7	-	-	7.7	15.4	
観光文化学科	10	70.0	80.0	10.0	-	20.0	-	30.0	-	-	10.0	-	
助産別科	3	-	66.7	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	
生活創造学科	13	61.5	23.1	-	7.7	-	15.4	7.7	15.4	-	-	23.1	
保育科	14	57.1	35.7	14.3	28.6	-	7.1	7.1	14.3	-	21.4	21.4	
15. コミュニケーション能力													
全体	135	40.7	48.9	3.0	47.4	3.7	41.5	52.6	3.7	17.0	25.2	6.7	
看護学科	31	48.4	67.7	6.5	61.3	-	38.7	41.9	-	12.9	29.0	3.2	
福祉学科	20	60.0	45.0	-	50.0	5.0	35.0	65.0	-	35.0	35.0	-	
栄養学科	31	35.5	45.2	6.5	61.3	-	38.7	51.6	-	12.9	22.6	6.5	
英語学科	13	30.8	38.5	-	-	23.1	30.8	53.8	7.7	23.1	7.7	7.7	
観光文化学科	10	40.0	80.0	-	50.0	10.0	70.0	80.0	-	30.0	-	10.0	
助産別科	3	33.3	33.3	-	66.7	-	66.7	66.7	-	-	33.3	-	
生活創造学科	13	30.8	30.8	-	15.4	-	53.8	38.5	15.4	15.4	30.8	15.4	
保育科	14	28.6	28.6	-	50.0	-	35.7	50.0	14.3	-	35.7	14.3	
16. ビジスマナー													
全体	135	42.2	21.5	14.1	31.1	-	18.5	45.9	8.1	6.7	37.0	7.4	
看護学科	31	38.7	16.1	9.7	51.6	-	19.4	38.7	-	3.2	48.4	6.5	
福祉学科	20	40.0	15.0	5.0	30.0	-	20.0	65.0	5.0	10.0	55.0	-	
栄養学科	31	29.0	25.8	9.7	32.3	-	16.1	51.6	6.5	12.9	22.6	6.5	
英語学科	13	61.5	23.1	30.8	-	-	23.1	38.5	15.4	-	30.8	23.1	
観光文化学科	10	70.0	50.0	40.0	20.0	-	20.0	70.0	-	-	20.0	-	
助産別科	3	-	-	-	66.7	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	
生活創造学科	13	84.6	23.1	15.4	7.7	-	23.1	23.1	23.1	15.4	38.5	7.7	
保育科	14	14.3	14.3	14.3	35.7	-	7.1	28.6	21.4	-	35.7	14.3	

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（17～19）】（%）

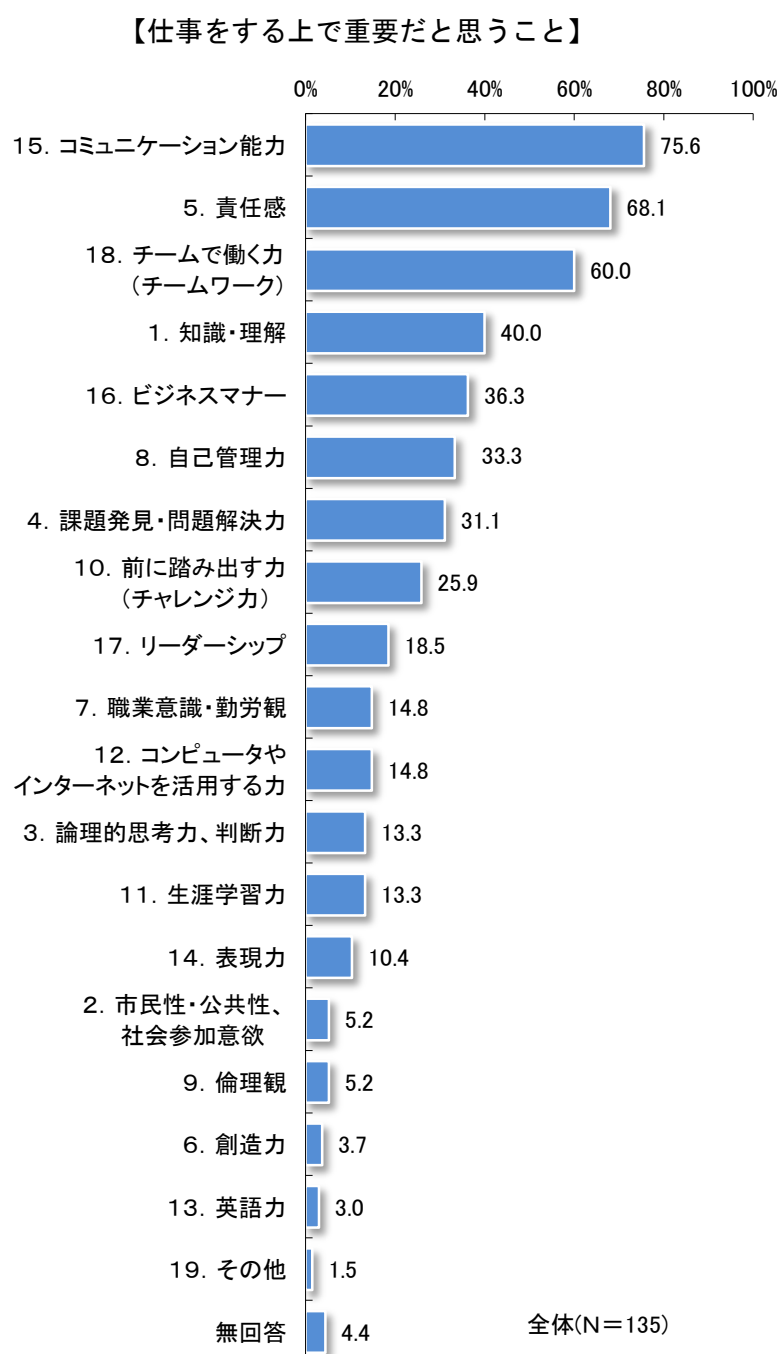
	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全 体	135	29.6	35.6	3.7	30.4	-	25.2	28.9	3.7	5.2	17.8	13.3
看護学科	31	25.8	38.1	-	61.3	-	16.1	19.4	-	6.5	29.0	3.2
福祉学科	20	55.0	30.0	5.0	30.0	-	20.0	40.0	-	5.0	30.0	15.0
栄養学科	31	32.3	32.3	6.5	35.5	-	35.5	29.0	3.2	6.5	6.5	9.7
英語学科	13	30.8	30.8	7.7	-	-	15.4	38.5	-	7.7	7.7	23.1
観光文化学科	10	-	0.0	-	10.0	-	30.0	50.0	10.0	-	-	10.0
助産別科	3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-
生活創造学科	13	15.4	-	-	-	-	46.2	23.1	7.7	7.7	7.7	30.8
保育科	14	28.6	21.4	7.1	21.4	-	14.3	21.4	14.3	-	28.6	21.4
18. チームで働く力(チームワーク)												
全 体	135	40.0	51.1	3.0	43.0	3.0	33.3	43.0	5.2	12.6	27.4	5.9
看護学科	31	48.4	74.2	3.2	67.7	-	29.0	32.3	-	9.7	32.3	3.2
福祉学科	20	55.0	60.0	5.0	55.0	-	30.0	60.0	5.0	35.0	40.0	-
栄養学科	31	41.9	38.7	6.5	41.9	-	35.5	45.2	6.5	9.7	16.1	6.5
英語学科	13	61.5	38.5	-	-	7.7	30.8	46.2	-	15.4	15.4	15.4
観光文化学科	10	-	90.0	-	30.0	20.0	50.0	80.0	-	10.0	10.0	-
助産別科	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	66.7	-
生活創造学科	13	30.8	38.5	-	7.7	7.7	61.5	23.1	15.4	7.7	30.8	7.7
保育科	14	21.4	21.4	-	42.9	-	14.3	35.7	14.3	-	35.7	14.3
19. その他												
全 体	135	24.4	11.1	3.0	6.7	-	4.4	10.4	3.0	3.7	5.9	68.1
看護学科	31	12.9	9.7	-	6.5	-	-	3.2	-	-	3.2	80.6
福祉学科	20	30.0	15.0	5.0	15.0	-	5.0	20.0	-	20.0	10.0	65.0
栄養学科	31	22.6	12.9	3.2	9.7	-	12.9	19.4	3.2	3.2	12.9	61.3
英語学科	13	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84.6
観光文化学科	10	30.0	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	70.0
助産別科	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
生活創造学科	13	46.2	23.1	-	-	-	7.7	7.7	7.7	-	7.7	53.8
保育科	14	35.7	7.1	7.1	-	-	-	7.1	14.3	-	-	50.0

④仕事をする上で重要だと思う事

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思うものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」の割合が75.6%で最も高く、次いで「5. 責任感」(68.1%)、「18. チームで働く力 (チームワーク)」(60.0%)となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「1. 知識・理解」、福祉学科と生活創造学科では「8. 自己管理能力」を重要視する人が他学科に比べ多くなっている。



【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. (チームで働く力)	1. 知識・理解	16. ビジネスマナー	8. 自己管理能力	4. 課題発見・問題解決力	10. (前に踏み出す力)	17. リーダーシップ	7. 職業意識・勤労観
全体	135	75.6	68.1	60.0	40.0	36.3	33.3	31.1	25.9	18.5	14.8
看護学科	31	83.9	67.7	61.3	67.7	22.6	25.8	32.3	19.4	35.5	16.1
福祉学科	20	90.0	75.0	55.0	50.0	30.0	60.0	30.0	15.0	-	10.0
栄養学科	31	71.0	58.1	61.3	35.5	45.2	22.6	29.0	22.6	25.8	22.6
英語学科	13	61.5	69.2	30.8	15.4	38.5	38.5	23.1	38.5	15.4	7.7
観光文化学科	10	70.0	70.0	60.0	10.0	50.0	20.0	20.0	60.0	10.0	10.0
助産別科	3	66.7	33.3	100.0	66.7	-	-	100.0	33.3	-	-
生活創造学科	13	69.2	61.5	53.8	7.7	53.8	61.5	38.5	30.8	15.4	15.4
保育科	14	71.4	92.9	85.7	42.9	35.7	21.4	28.6	21.4	7.1	14.3

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (2/2)】 (%)

	全体 (人)	12. ネットを 活用する 力	3. 論理的 思考力、 判断力	11. 生涯 学習力	14. 表現 力	2. 市民性・ 社会参加 意欲、 公共性	9. 倫理 観	6. 創造 力	13. 英語 力	19. その 他	無 回 答
全体	135	14.8	13.3	13.3	10.4	5.2	5.2	3.7	3.0	1.5	4.4
看護学科	31	-	19.4	12.9	3.2	3.2	9.7	3.2	-	-	3.2
福祉学科	20	30.0	20.0	20.0	5.0	-	-	10.0	-	-	-
栄養学科	31	22.6	9.7	12.9	6.5	9.7	6.5	-	3.2	6.5	3.2
英語学科	13	15.4	-	7.7	15.4	15.4	-	-	23.1	-	15.4
観光文化学科	10	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	10.0
助産別科	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	13	23.1	7.7	7.7	-	-	15.4	-	-	-	7.7
保育科	14	-	7.1	-	50.0	7.1	-	14.3	-	-	-

〔7〕大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数：81/135人[60.0%])

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】

学科	内容
看護学科	ゼミや実習で学んだ事は今とても役に立っていると思います。
	実習。今の職場が実習先だったので雰囲気分かって働きやすいから。
	病院実習。
	看護実習や保健師実習先での経験が、今の私を支えてくれています。多くの方々との関わりや先生方のサポートに感謝しています。ありがとうございました。
	一番きつかったですが実習が一番有意義だったと思います。課題は多いし眠る時間もないし、その中で患者のケアプランを立てるなんて出来ないと思いましたが、メンバーに相談したり、先生にアドバイスを頂いたりして自分の受け持つ患者にあったプランを立て実践することが出来ました。患者は1人1人違うし、メンバー・先生と一緒に乗り越えて達成したので、一番有意義で身に付くものだったと思います。
	実習での学びが一番有意義だった。また、大学の講義の中で技術テストがあり、それも有意義だと感じる。(理由：職場でも必要な事を多く学んだ)。
	全ての授業が有意義だったと思いました。特に実習を通して社会性や協調性を少しでも身に付けたと思います。
福祉学科	看護の演習。
	基礎実習。
	実習の授業では、実際に現場に携わることができて良いと思った。
	実習などの実践系の授業。
栄養学科	臨地実習。実習先で経験した事や学んだこと、とても役に立っている。
	講義や実習を通してのレポート作成が大変だったが有意義だったと思う。決められた枚数内に実験の目的から結論まで自分の考えをまとめるという事ですごく自分の問題解決力や表現力が身についたと思う。
	食品学実習。
	調理実習。現在、調理をする立場のため知識が役に立っています。
	臨地実習。実際に現場で働くという経験をする事で講義で聞くだけより理解しやすかったため。
	給食系や栄養に関する実習は社会に出た際に実践的で役に立った。
	実習(調理)。
観光文化学科	インターンシップの授業、実際に仕事を体験することができるのは貴重な経験になると思う。
助産別科	実習全般。
生活創造学科	ゼミで毎日のようにロールケーキを焼いたり、お菓子の家を作った時間も今では中々できない事なので、とても良かったと思います。
	調理実習。
保育科	模擬保育…今の職場で一番現実に近いと思う(実際に働いてみて)。友人がしていた保育の内容も思い出し、実際保育で行ったりするから。
	実習日誌は今でもよく見返している。絵本100冊もとても役に立っている。
	模擬授業。人前に立って実際に行ってみることが大切だと思います。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	内容
看護学科	グループワークでの発表は、上の12、15、17、18が学べて良かったです。
	情報の授業。パソコンのレポートやプレゼンが多いから。
	グループワーク。チームで働く中でチーム力が必要だから。
	グループワーク。
	外部講師からのマナー講座。
	情報→パソコンを使うので。
福祉学科	グループワーク、グループでの発表。→メンバーで協力して、物事を進めたり、考えて課題や目標をクリアすることの訓練ができた。
	授業名は記憶にないですが、みんなで話しあうグループワークの授業は有意義だったと思います。友人をつくる機会にもなりましたし、現在も、いろいろな人とコミュニケーションをとっていく必要性を感じるからです。
栄養学科	パソコン→業務をする上でなくてはならないから。
	K先生の授業（実験）…レポート作成するのに、P Cの基本操作やエクセルを学ぶことができ、仕事で役立っている。
	パソコンで文章を作成したり表やグラフを作成したりするのも苦手だったが、4年間を通して技術を身につけることが出来て、今はとても役に立っている。
	パソコンの授業、レポート提出があった全ての授業。→パソコン技術が身に付いた。レポートは手元に残るので、見直せて、知識を確認できる。
	パソコンスキル、資料をまとめる力は大学時代に身に付けていた為、とても役に立ちました。
	エクセル、ワードを用いた講義。現在、エクセル、ワード、パワーポイントが使えなければできない仕事が多く、知識も多い程役に立つため。
英語学科	全ての授業。とくにグループワークが多かったので、さまざまな人との付き合い方、協力性を養うことができました。
	パワーポイント。
観光文化学科	エクセル、ワード等パソコンの使い方の習得。
	コンピュータの授業はたいへん役立っております。資料やお客様へちょっとしたハガキを作る時等役立ちました。プレゼン等も会議の中で司会をすることもありますので恥ずかしがらず堂々と前で話せます。役立ちました。
	パソコン系の授業。ビジネスマナー。ゼミ。
	「パソコンの授業」・・・授業のおかげでパソコンの苦手意識はなくなり、今の仕事にもつながっていると思うため。
	マナーに関する講義。
生活創造学科	ワード、エクセルを扱う授業は仕事に必要なスキルなので役に立ちました。
	社会人マナー講習、パソコンの授業。
	日々、学ぶことが多かったです。強いて言うなれば、秘書検定の勉強やマナーの勉強は、今でも為になる事が多いです。
	ビジネスマナー・パソコンの講義は、社会に出ると必ず必要な知識なので受けられて良かったです。仕事で日常的に使うので、とても役に立ちます。

第1章 卒業生アンケート

【資格、語学、留学について】

学科	内容
栄養学科	国試においては、ほぼ全ての講義が役に立ったと思います（特に国試対策講座とT先生のゼミ活動）。
英語学科	ゼミ活動は、とても有意義だったと感じます。英語の学習はもちろん、ゼミを通じて、ボランティア活動をすることができたり、様々な経験をすることができました。
	3ヶ月の留学。異文化とのふれ合いで刺激を受けた。
	英語科の英語の授業全部。
	時事英語。
	英語の多読とライティングの授業。 ・長文を読むことへの抵抗が減り、英語力の向上につながったから。 ・普通の文章、手紙、レシピなど生活で役立つ文章の書き方、英語特有の文章構成を知ることが出来たから。
観光文化学科	中国語、韓国語の習得。→仕事で活かせるからです。
	・海外研修の授業。 社会人になってからは海外に行く事も難しく、ホームステイも大学生だからこそできる事だと思うから。本場の英語に3週間みっちりふれられる事はとても貴重な体験だった。
生活創造学科	カラーコーディネーターやフードスペシャリストになる為の授業は私が好きで興味があるものだったので、とても良かったです。色々な業種の方の話を聞く事が出来た授業も今思えばとても貴重な時間でした。
	ハングル、簿記。

【専門的な授業について】

学科	内容
看護学科	解剖生理、疾患に関するもの。直接業務に関わるので。
	解剖生理、病理、薬理→必要だから。
	看護形態機能学：体の構造を理解していたことによって、現在工作中で活かすことができていますから。
	疾病治療：今でも見返す時がある。
	統計：看護研究に使える。
	専門のある授業、看護技術。
	養護教諭の専門的な授業はもちろん、現在の仕事に必要な知識を得るものだった。また、心理学など、中学校に勤務している私にはとても有意義な講義だった。来室する生徒の多くは、何らかの悩みや不安をかかえているため、今の仕事に活かせていると思う。
福祉学科	相談援助。現在とても助かっています。
	基礎看護、ゼミは特に仕事をしていく上でも役立っている。その他の授業も一生懸命に取り組めばムダだと思うものはなかった。よく考える講義は思考力が広がるのに役立った。
栄養学科	加工食品機能論。
	給食経営管理。A先生、U先生の授業は、仕事をする上で役に立っています。
	教育論実習：栄養指導や料理教室など前に立って講習することが多いので。
	栄養学/臨床/調理実習/カウンセリング論/公衆栄養 理由⇒現在専門学校に勤めています。調理実習や実験の助手に入る際に役に立っています。また、学生の話聞く際にカウンセリング論が役立っています。授業をする際も、いつも大学の先生方を思い出して、真似しながらしています。
	栄養教育論や給食経営。今の職業に直結する学びだったと思います。どの授業も少しずつ今の仕事につながるものですので、どの授業も有意義だったと思います。

英語学科	北九州文化論。英語で北九州について学び、英語で学んだことについてプレゼンすることで英語力だけでなく、総合力がついた。
観光文化学科	「ビジネス・ファイナンス」…経済の授業で少し世の中のことを知ることができ、知識がついたため。 「地域総合研究」…卒業生や社会人から、仕事についての苦労や楽しさなど知ることができたため。 他、「ホテル研究」や「国内旅行業務取扱管理者対策の授業」など、有意義な授業が多かったです。
生活創造学科	子育て論の授業が良かったです、この授業を受けていなければ、知識が足りないまま、結婚・出産・子育てをする事になっていたはずなので、少しでも知識を付けておく事が学生のうちに出来て、良かったと思います。
保育科	心理学、発達、保健、表現一すぐ実践でき、日々必要な事柄だから。
	子どもの遊びもたくさん知っていた方が良いが、事例やクラス運営方法、保護者支援などの授業が役に立っている。もっと学生のうちに深く学びたかった。
	児童養護に関する授業。
	乳児保育やパネルシアターやペープサートを作る授業。働きだしてすぐに使えたので、良かったです。
	乳児保育。乳児の保育をする時、新卒で入った他の保育士より知識を持っていた。

【その他について】

学科	内容
看護学科	基礎知識を身に付けることで、根拠を考えることができる。
福祉学科	社会保障一今の仕事で役立ったから。
	あまり記憶にありませんが、学んだ事はムダではなかったと思っています。ゼミが大変だった。
栄養学科	どの授業も有意義だと思いますが、外来の講師の授業はどの先生も斬新に感じられて良かったです。
観光文化学科	「夢実現プログラム」では、自分が将来何をしたいか、どんな人になりたいかを発見するための活動を積極的に行うことができました。同時に様々な人やコトと出会い、そこからまた自分の考えを広げることができました。
生活創造学科	先生方の話を、それぞれの講義で聞かせてもらうのが、勉強にもなり、印象強く残っていることでもあります。
保育科	基本的に授業で習ったことは有意義だったと感じる。

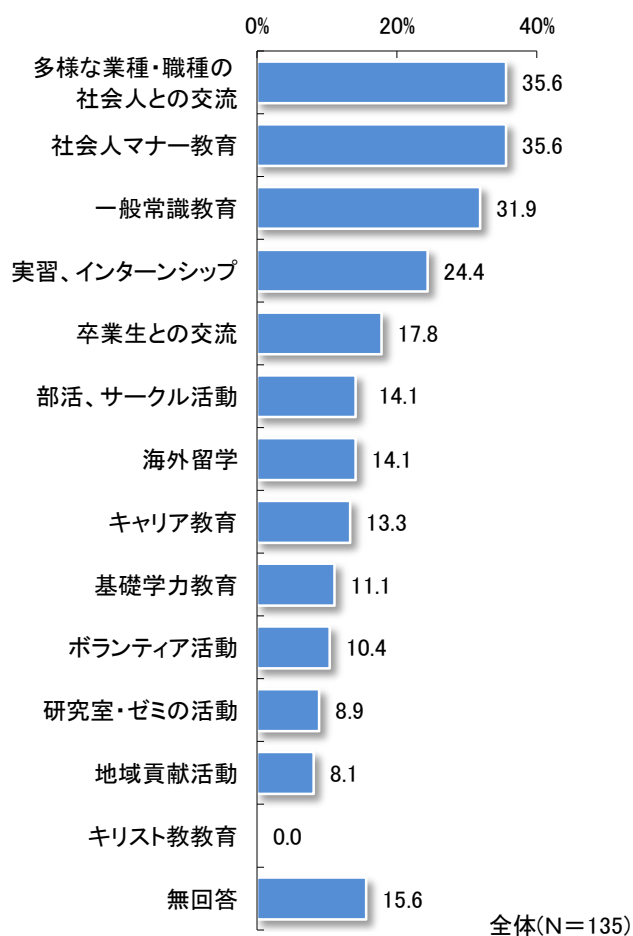
〔8〕大学の講義以外で希望する支援・経験

問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「多様な業種・職種の社会人との交流」「社会人マナー教育」の割合が35.6%で最も高く、次いで「一般常識教育」（31.9%）、「実習、インターンシップ」（24.4%）となっている。

学科別にみると、看護学科では「卒業生との交流」、福祉学科や栄養学科では「社会人マナー教育」「一般常識教育」、英語学科や観光文化学科では「多様な業種・職種の社会人との交流」を希望する人がそれぞれ他学科に比べ多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	多様な業種・職種の 社会人との交流	社会人マナー教育	一般常識教育	実習、 インターンシップ	卒業生との交流	部活、 サークル活動	海外留学
全体	135	35.6	35.6	31.9	24.4	17.8	14.1	14.1
看護学科	31	29.0	29.0	25.8	22.6	35.5	22.6	9.7
福祉学科	20	45.0	50.0	60.0	25.0	5.0	5.0	10.0
栄養学科	31	32.3	48.4	41.9	25.8	9.7	22.6	16.1
英語学科	13	46.2	23.1	15.4	30.8	7.7	15.4	30.8
観光文化学科	10	60.0	40.0	30.0	20.0	40.0	-	10.0
助産別科	3	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-
生活創造学科	13	30.8	46.2	23.1	30.8	15.4	7.7	23.1
保育科	14	21.4	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	キャリア教育	基礎学力教育	ボランティア活動	研究室・ゼミの活動	地域貢献活動	キリスト教教育	無回答
全体	135	13.3	11.1	10.4	8.9	8.1	-	15.6
看護学科	31	3.2	12.9	16.1	9.7	3.2	-	9.7
福祉学科	20	15.0	20.0	20.0	-	15.0	-	15.0
栄養学科	31	12.9	16.1	9.7	9.7	16.1	-	9.7
英語学科	13	30.8	-	7.7	15.4	7.7	-	15.4
観光文化学科	10	40.0	-	10.0	-	10.0	-	10.0
助産別科	3	-	-	-	33.3	-	-	-
生活創造学科	13	15.4	15.4	-	7.7	-	-	15.4
保育科	14	-	-	-	14.3	-	-	50.0

第1章 卒業生アンケート

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数：32/135人[23.7%])

学科	内容
看護学科	他の職種、病院の情報がもっと知りたかったです。
	卒業生から、仕事をしている中で必要なことを聞きたい。
	卒業後の進路について、具体的に話を聴けたら視野が広がると思う。
	実習等でいそがしい学科はアルバイトなど社会経験が減るため、社会人マナーなどの講義があると良いと思う。
	技術練習（採血、ルート）。
	専門職に就くと、他職種のことや一般常識を学ぶ機会が少ないように感じます。大学時代にもっと他の職や常識も学べたら良かったです。実習では、もっと学生にも様々な技術を経験できるようにして欲しいです（点滴づくりなど）。過保護すぎても就職してから大変だと思いました。
	サークル活動をしていなかったため、サークル活動をしてコミュニケーション力やリーダーシップ力を身につければよかった。
	8：実際にその機会を先生が講義の中でつくってくれたので良かったです。そんな機会が増えると学生のモチベーションもあがるのでは？と思う。
福祉学科	社会人としてのマナー・一般常識をもっと知りたかったと思うことが多々あります（こんな時どうするのが常識ある行動なのか？と思うことがある）。
	ビジネスマナー（手紙の書き方やビジネスマンとしての作法等）。
	社会に出て、何が“常識”なのか分からないままでしたので…。
	実習ではなく、アルバイト等で体験しておけば良かったと思う。
栄養学科	もっと社会に出て役に立つことを知りたかった。専門的すぎた。
	・他大学と交流できるサークルがもっとあると良いと思った。
	・社会に出てから、社会人としてのマナーを知らないと恥である。学校生活は勉強が忙しく、マナーを学ぶ機会がなかったので、もっとそのような機会（希望者のみ）でも行うべき。
	大学時代にもっと多くの社会人の方と関わる機会があれば、色々な情報を得る事が出来て、コミュニケーション能力ももっと身についたと思う。
	7←独学で勉強し海外からのボランティアの方と出かけているので、尚、上達したかった。
	飯塚病院を第1希望の実習先にしており、B型肝炎ウイルスのワクチン接種が必須とのことで、実習に行けなかった。金銭面の配慮とは思いますが、事前連絡が欲しかった（別日に自費でワクチン接種し、自主実習に行ったため、問題はなかったですが…）。
英語学科	早い段階から社会に出ることが大切だと思うので、学外実習&現場の人が講師となって学内実習等。
	英語科は授業内でインターンシップなどがないのであった方が良い。
	サークルが少なかった。
	インターンシップや実習（就活関連）。
	単位をもっと交換できるようにしてほしい。
	インターンシップの会社の枠をもっとふやしてほしい。
	・ゼミの活動場所の設備があまりにも古かった（壊れた物が多々あり、時代に合ったものではなかった）。
	・留学やインターンシップの情報がもっと分かり易い場所にあり、気軽に相談出来る場があると良いと思います。

観光文化学科	もっとたくさんの仕事があると知りたかったです。幅も広がったかも（就職の）。
	就活する上で、様々な職種の人に直接話す機会が増えるとありがたい。
	企業訪問・見学ツアーの実施、グループワーク。→有名大学でも行われているような恋愛心理学や生活の知恵、女性の働き方などといった、生きていくために参考となるような講義やセミナーの実施。
	女性としての振る舞いや社会や日常で実践できるスキルの講座等（茶道や華道）。
助産別科	色んな病院の特徴を知りたい。
生活創造学科	学生のうち（時間に余裕があるとき）にしか経験できない事だと思うので。
保育科	選択肢が広がったり、改めて、今なりたい仕事への意欲がわく。
	保育士、幼教免許を持っている人が、保育施設以外の、どのような場で働いているか（病院など…）、また、他にどのような職種があるか、情報があると良かった。選択の幅が広がったと思う。
	現場で働いている人の話をもっと聞けたら良かったと思うから。

〔9〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

（回答者数：33/135人[24.4%]）

【大学への感謝について】

学科	内容
看護学科	4年間大変お世話になりました。おかげ様で頑張っています。 西南女学院大学で多くの事を学ぶことができました。貴校を卒業できて良かったと思いました。
栄養学科	在学中は大変お世話になりました。より一層のご発展をお祈り致します。 大学時代の友人との意見交換が今とても重要で、多くの友人が出来た事に感謝しています。 教員になって、大学のために学んだことがとても役に立っていることを実感しています。勤務上、調理技術を問われることがあります。お料理についての知識が少ないので、再勉強中です…。今とても充実した日々が送れているのも、大学で学べたからこそだと思っています。 北九州と熊本…なかなか遠いですが、新幹線では1時間半くらいです。意外に近いですよ！今後とも宜しくお願い致します。西南女学院大学で4年間学ばせていただいたことに感謝し、これからもぼちぼち頑張っていきます。
英語学科	いつも西南女学院で学べてよかったと家族で話しています。ありがとうございました。 大変お世話になりました。
生活創造学科	同世代の仲間同士で過ごした学生時代はとても良い思い出が多く、今でも戻りたくなります。生活創造学科がなくなると聞いてとてもさみしくなりましたが、また素敵な学科が出来ると願っています。 今を楽しめているのも、西女での2年間があったからです。これからも、成長するために、もっと人として育つことができる様に、仕事も子育ても笑顔で頑張ります。 生活創造学科はパソコン・料理・被服と3つの分野について学べてとても楽しかったです。
保育科	多くの事を学び、経験でき、保育士になれました。ありがとうございました。 西女で学んだことを活かしていけるようにこれからも頑張ります。ありがとうございました。

【先生への感謝について】

学科	内容
看護学科	試験(採用)前の休日等も、面接練習等、手厚くサポートしてもらい、とてもありがたかったです。私は看護師、保健師の免許もとりましたが、国家試験前の看護科の先生方のサポートも充実していたように思います。 学生の自主性を尊重していただける、穏やかな校風が好きでした。先生方も熱心に指導してくださり、学生目線の授業や悩みを真摯に受け止めてくださったおかげで、楽しい学生生活を送れました。「自分で考え答えを出す」その答えに先生方が「応えてくれる」という教育を受けられたおかげで、今の仕事が楽しく、重要な病棟や病態を任せられている気がします。ありがとうございました。
栄養学科	在学中は大変お世話になり、ありがとうございました。就職に関しては、S先生に非常にお世話になりました。

福祉学科	ご指導いただき、ありがとうございました。
英語学科	英語科の先生たちがとてもよかったです。一人一人をよく見ていただきました。
観光文化学科	たくさんの事を学ばせて頂きました。就職課のSさんには就活でも大変お世話になりましたし、ゼミのY先生にも本当に感謝しています。転職してしまいましたが…何か私でも、学生の力になれることがある際はいつでもご連絡くださいね。
生活創造学科	西女に在学中は、多くの先生方に助けられ、励まされ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今は、仕事も楽しく、子育ても楽しいです。 講義内容も社会に出て役に立つものを取り入れてもらえていたなと思います。就職活動の際は、求人の案内や履歴書の指導をしてもらったり、サポートがあって、すごく良かったです。
保育科	先生方が熱心に指導してくださったおかげで今、充実した毎日が送れていると思います。

【アンケートについて】

学科	内容
福祉学科	アンケート用紙はA4の方が記入しやすく、見やすいので検討してみてもいいですか？
栄養学科	アンケートの提出が期限を過ぎてしまい、ご迷惑をおかけしました。
	返信遅くなりまして申し訳ございません。
	今回このアンケートは自分の職場に郵送されました。公立学校に勤務しておりますので、今後、異動、退職等で職場が変わる場合がございます。また、個人的なもの（仕事とはあまり関係のないもの）が職場に送られてくるということに少し違和感を感じます。可能な限りアンケート等に協力させていただきたいとは思いますが、できましたら今後職場に送付されることは控えていただきたいと思います。

【在学生（実習生）へ】

学科	内容
看護学科	実習の時に、もう少し質問をしてもらったり、学習を深めてほしい。どこが分かっているのかが分からない。指導でついた時、あいさつがないことがあり、いつ帰ったか、午後のバイタルはどうするか分からずに困った。
	実習生のロッカーでの私語・態度が気になります（大きな声で話している、荷物を広げている）。→実習でのことだったり、私用のことだったり…。
福祉学科	学生時代にしか学べないことが沢山あるのだと、卒業後に感じました。学生さんに様々な経験をし、社会に出てもらいたいです。

第1章 卒業生アンケート

【大学への要望】

学科	内容
福祉学科	介護福祉士を取得できるコースがあればよかったと思います。
栄養学科	・レポート提出が多く、テストが難しいことで、勉強ばかりしてしまった。もう少し学科全体として1、2年目にアルバイトやサークル活動をすすめるようにして、コミュニケーション能力や社会人マナーを学べる場があると良いと思った。私は食品会社に勤めていますが、もっと企業で働きたい！と思う人が増えると嬉しいです！うちの会社であれば、会社の人事と上手くすれば、優先的に採用してもらえそうです…。栄養士としてだけではなく、色々な職業があることを学生に伝えてほしい。先輩を呼んで、仕事の話を聞く機会があれば良いと思った。 キリスト系大学なので、もう少し国際的な交流が増えればと思う。海外へ就職や留学のチャンスが増えれば色々と幅広い活動ができると思う。（ex 青年海外協力隊等）。
観光文化学科	食堂をもう少し増やす（席を多くする）ようにしてもらえればありがたかった。混んでいる時間などは席が足りず、よくご飯を食べる場所がなくて、大変だったので…。

【その他】

学科	内容
看護学科	特にありません。 今後も卒業生として意識を高く「要」を大切に仕事に励んでいきます。
観光文化学科	卒業後も様々な形で貴学に携わることができ、大変光栄です。これからも女性が輝ける毎日をサポートしてくださる貴学であり続けてください。遠くからではありますが、貴学のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。
生活創造学科	生活創造学科はなくなってしまうとのことですが、短大生活とっても楽しかったです！
保育科	大分県にも西南女学院・短大を広めてください！地元の短大よりも絶対良いです！学んだことも、地元の短大と比べても内容は濃いいし、役に立つことばかりです！

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、平成27年度に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

<就業状況、業種>

2014年3月卒業生の2016年12月時点の在職状況は、94.8%が就労中、未就労は5.2%にとどまる。未就労の理由としては「家事・子育て」（57.1%）が最も多い。

勤務先の主たる業種としては、全体では「一般病院」（33.6%）が最も多いが、学科別に見ると、看護学科は「看護師」（90.3%）、福祉学科は「支援員・指導員」（25.0%）、栄養学科は「管理栄養士」（60.7%）、保育科は「保育士」（69.2%）などが最多となっており、各学科の専門領域への就職が目立つ。現在の勤務先は卒業時と変わっていない人が全体の8割を占めるが、栄養学科では6割にとどまっており、転職した人が35.7%と他学科に比べて高い傾向にある。

なお、前回調査と比較しても就業状況及び業種に大きな差はみられない。

<雇用形態、勤務先の満足度>

関連して、卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で74.2%であるのに対し、栄養学科では64.3%にとどまっている。英語学科や保育科では卒業時に非正規職員であったのが、現在までに正規職員となっている人が増えるのに対し、栄養学科では卒業時から現在まで雇用形態の変化がないという特徴もみられる。

現在の勤務先の満足度をみると、満足している人は全体の4割、満足していない人（14.1%）を上回っている。生活創造学科や保育科の満足度が5割前後と高い一方で、栄養学科では満足している人、満足していない人がともに28.6%で拮抗しており、転職者が多い傾向と一致する。

なお、前回調査と比較しても雇用形態及び勤務先の満足度に大きな差はみられない。

<転職>

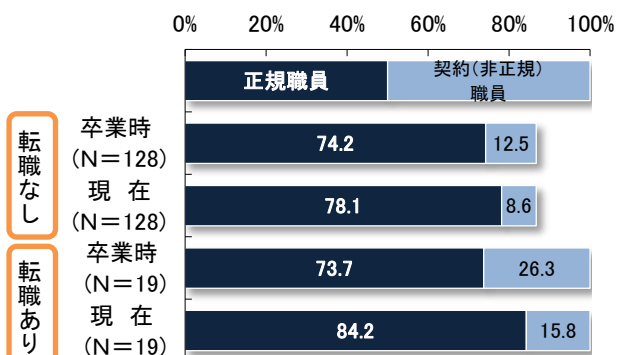
転職した人の雇用形態を尋ねたところ、卒業時から現在までに正規職員への登用が増加している（卒業時：73.7%⇒現在：84.2%）。

現在の状況は、転職していない人よりも、むしろ転職した人の方が正規職員の登用率は高い傾向にある。

契約職員の割合も一定あるものの、正規職員という雇用形態を重視した場合は、転職が必ずしも不利になっていないことが分かる。

転職した理由については、「仕事内容」（52.6%）や「人間関係」（31.6%）が上位に挙げられており、「給与」（15.8%）や「勤務地」（10.5%）などの個人的な要因よりも周囲を含めた職場環境の良し悪しが転職のきっかけになっている様子がうかがえる。

【転職時の雇用形態】

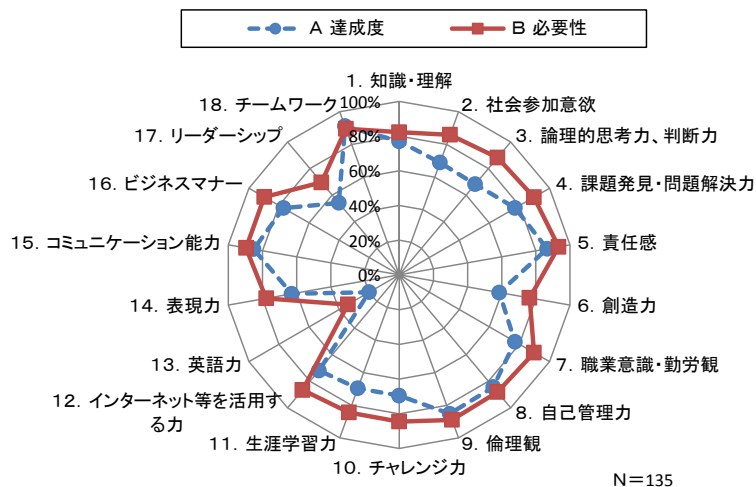


▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

＜達成度と必要性＞

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」＋「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」＋「やや役に立つ」）として分析した。

達成度が高い項目は、「チームワーク」や「責任感」、「コミュニケーション能力」、「倫理観」となっている。これら達成度が高い項目については達成度と必要性が一致しており、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において大いに役立っていると考えられる。



一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「社会参加意欲」や「論理的思考力、判断力」、「創造力」などで差が大きく、自主性が求められる分野の達成度が低いと感じている卒業生が多く見受けられる。

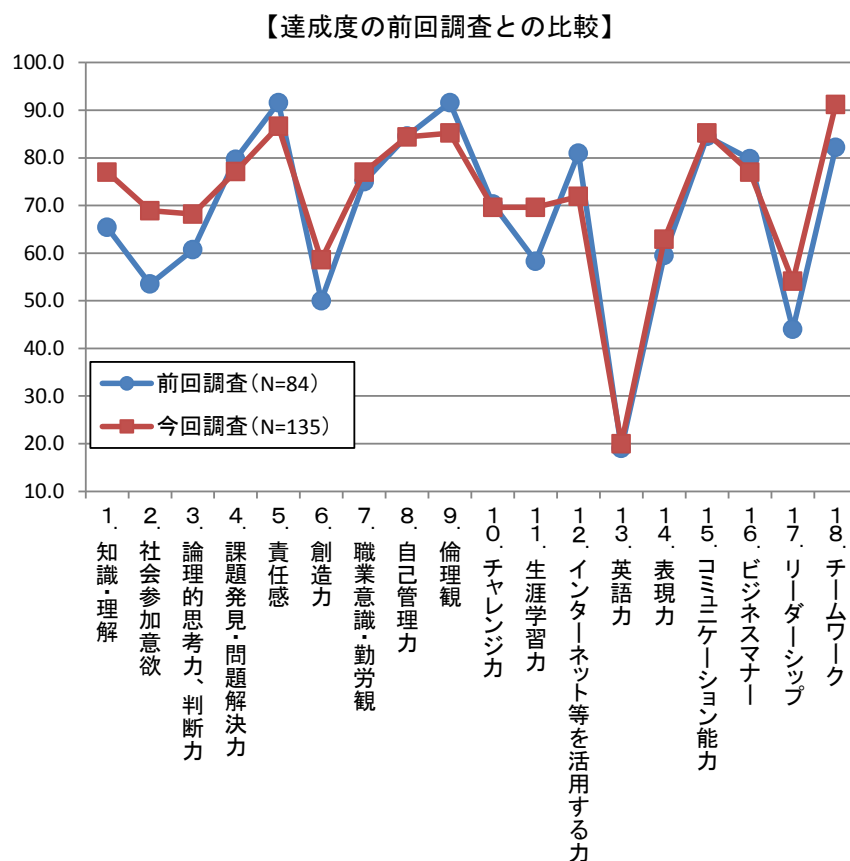
学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科では「表現力」「ビジネスマナー」「リーダーシップ」、福祉学科では「社会参加意欲」「論理的思考力、判断力」、栄養学科では「課題発見・問題解決力」「論理的思考力、判断力」「創造力」、観光文化学科では「論理的思考力、判断力」、保育科では「リーダーシップ」「論理的思考力、判断力」等でギャップが大きい。なお、英語学科と生活創造学科については達成度と必要性のギャップが比較的小さい傾向にある。

＜達成度（前回調査との比較）＞

大学・短期大学部で身につけた【達成度】に着目して前回調査と比較を行った。

なお、【必要性】については就職先により差が出やすいため前回調査と今回調査の比較は省略する。

達成度は、18項目中11項目で前回調査よりも高くなっており、「知識・理解」や「社会参加意欲」、「生涯学習力」、「リーダーシップ」で10ポイント以上高くなっている。



＜能力やスキルを身につけるために役立ったこと＞

能力やスキルを身につけるために役立ったこととして、多くが大学での講義となっている。特に「知識・理解」や「インターネット等を活用する力」、「表現力」については大学での講義を挙げる人が多い。

一方、「チャレンジ力」や「リーダーシップ」、「チームワーク」については研究室やゼミ活動で培い、「職業意識・勤労観」は実習・インターンシップで、「社会参加意欲」や「責任感」、「倫理観」、「コミュニケーション能力」、「ビジネスマナー」はアルバイトが役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、ゼミ活動や実習、アルバイトなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子が見える。

また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、達成度が低い「社会参加意欲」や「論理的思考力、判断力」、「創造力」については、大学の講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した指導が必要だと言える。

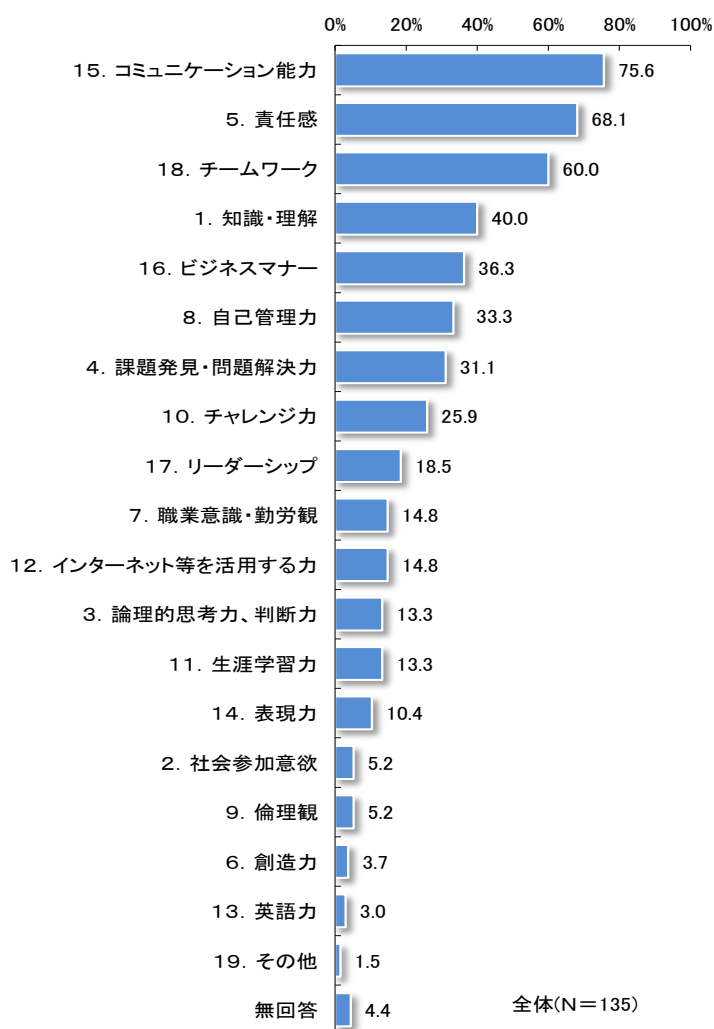
＜仕事をする上で重要だと思う事＞

仕事をする上で重要だと思う事については、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「チームワーク」が上位に挙げられた。これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目とも一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っている。

その一方で、「論理的思考力、判断力」、「社会参加意欲」、「創造力」などを重要だと思う人は少数派となっている。これらは、前述したように、達成度と必要性のギャップが大きい項目であり、社会で必要とされる力やスキルであるにもかかわらず、さほど重要視されていないという矛盾が生じている。

このため、社会で必要とされる論理的思考力や判断力、社会参加意欲、創造力などを培えるよう、これらの重要性を学生のうちから意識づける必要がある。

【仕事をする上で重要だと思う事】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調 査 対 象 者	2016 年 3 月 卒 業 生 就 職 受 け 入 れ 事 業 所
調 査 方 法	郵送配布・回収
回 収 数	234 事業所
調 査 時 期	2016 年 12 月 1 日～2016 年 12 月 26 日 ※2017 年 1 月 31 日までに大学到着分まで集計に含む
回 収 率	下表の通り

2016年3月卒業生対象			
	依頼事業所数	回答事業所数	回 収 率
看 護 学 科	39	27	69.2% (55.3%)
福 祉 学 科	75	47	62.7% (40.6%)
栄 養 学 科	62	42	67.7% (44.1%)
英 語 学 科	31	15	48.4% (46.4%)
観光文化学科	57	35	61.4% (44.6%)
助 産 別 科	11	6	54.5% (-)
全 体	275	172	62.5% (45.6%)
			()内は前年度回収率
	依頼事業所数	回答事業所数	回 収 率
生活創造学科	29	12	41.4% (44.0%)
保 育 科	75	50	66.7% (68.4%)
全 体	104	62	59.6% (62.5%)
			()内は前年度回収率

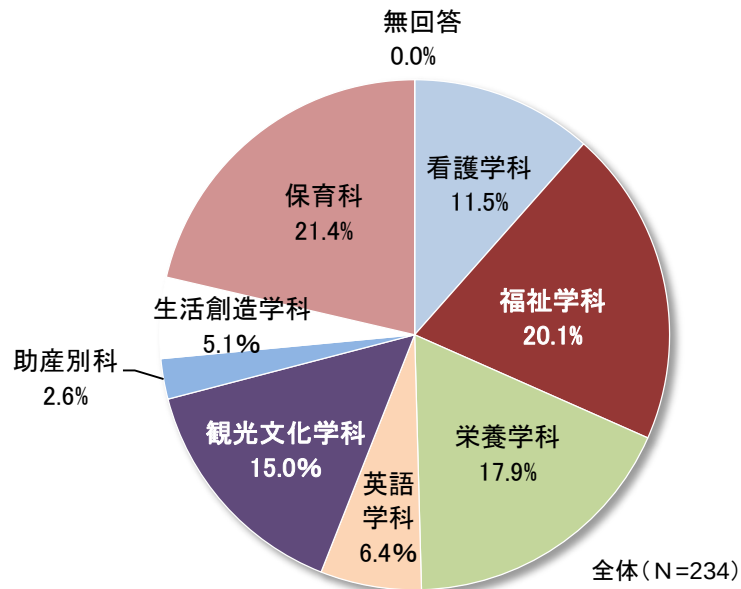
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査の概要

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



〔2〕仕事に必要な能力

①必要性和達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「5. 責任感」「8. 自己管理能力」（97.4%）の割合が上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「18. チームで働く力（チームワーク）」（89.3%）、「15. コミュニケーション能力」（89.7%）も必要視されている様子がうかがえる。

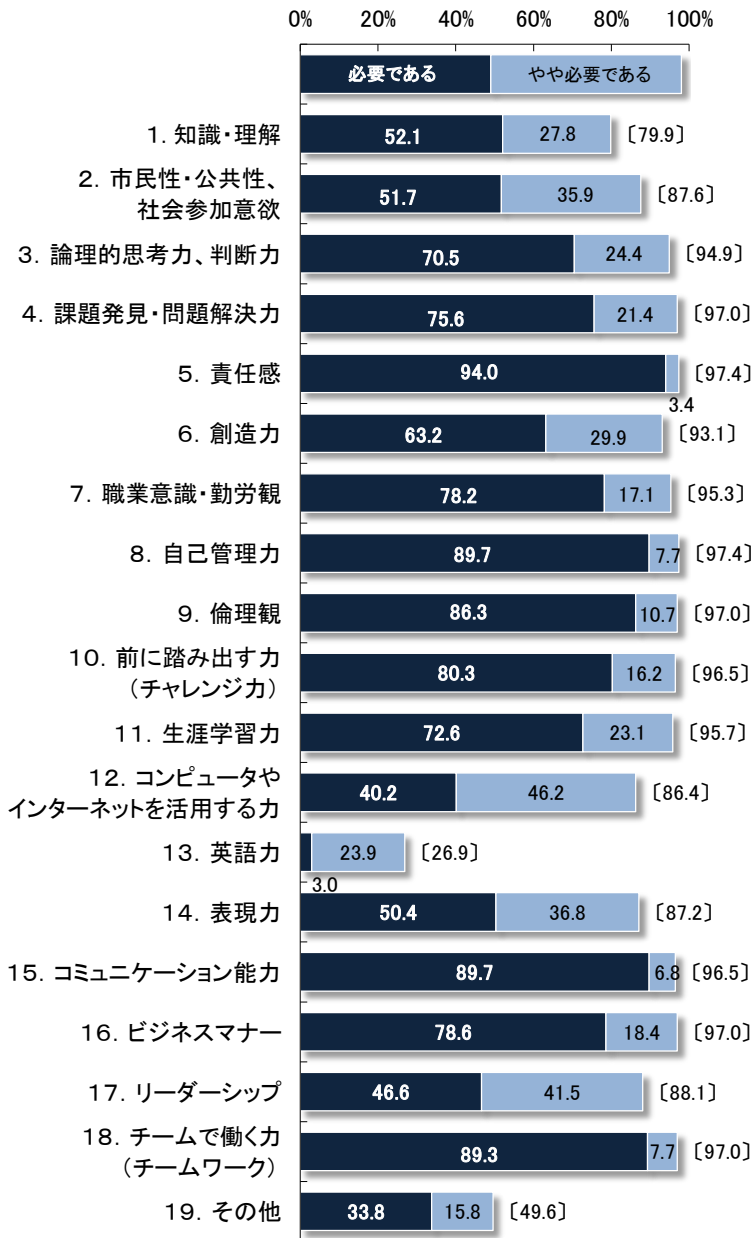
一方、卒業生の力やスキルが『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「5. 責任感」（86.7%）で最も高く、必要とされる能力・スキルと一致している。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあり、特に「4. 課題発見・問題解決力」では必要性が高いものの達成度が低く、その差が大きくなっている。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【仕事に必要な能力】

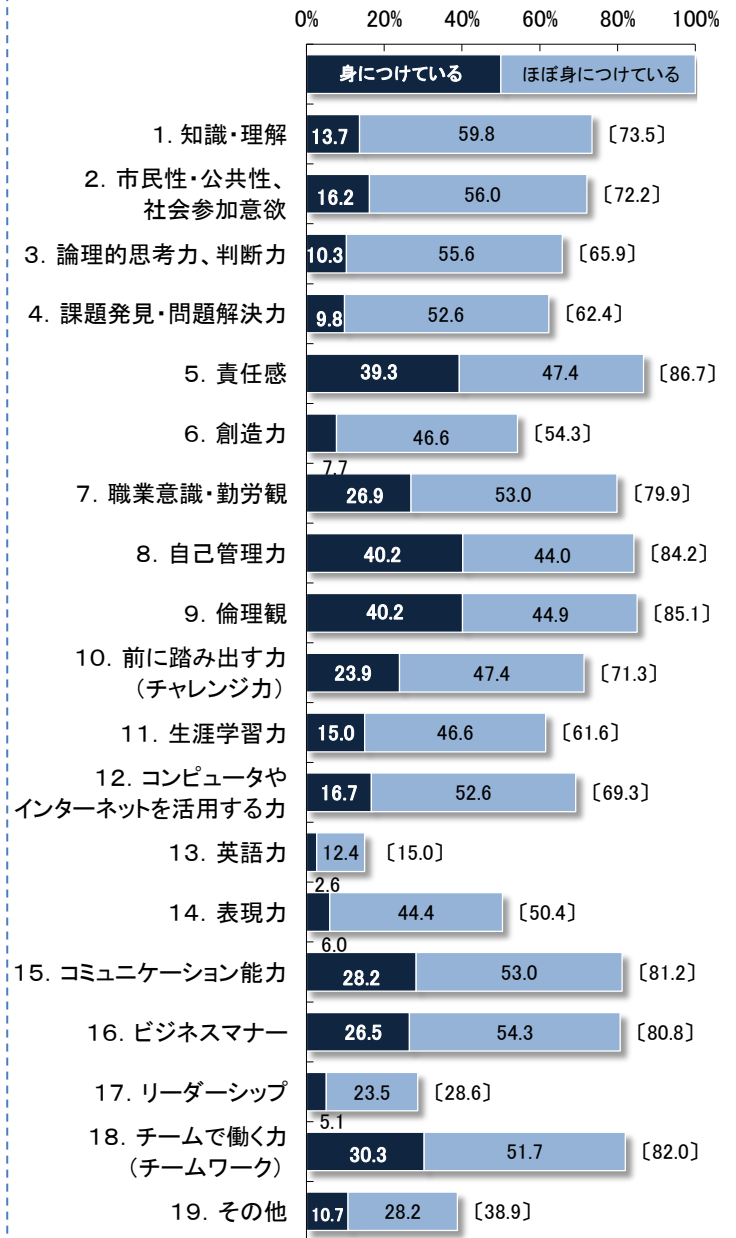
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=234)



達成度

西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の力やスキル
(各項目ともN=234)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」「やや必要である」「あまり必要でない」「必要でない」の4段階

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある

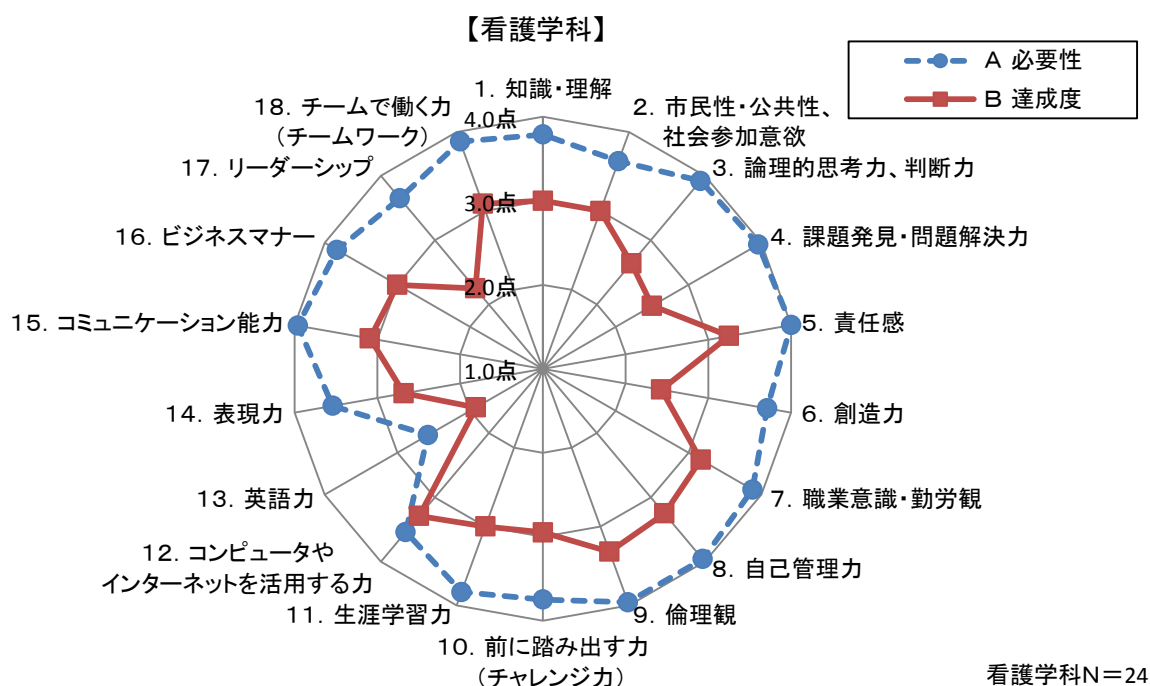
注1) 達成度の選択肢は「身につけている」「ほぼ身につけている」「あまり身につけていない」「身につけていない」「わからない」の5段階

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

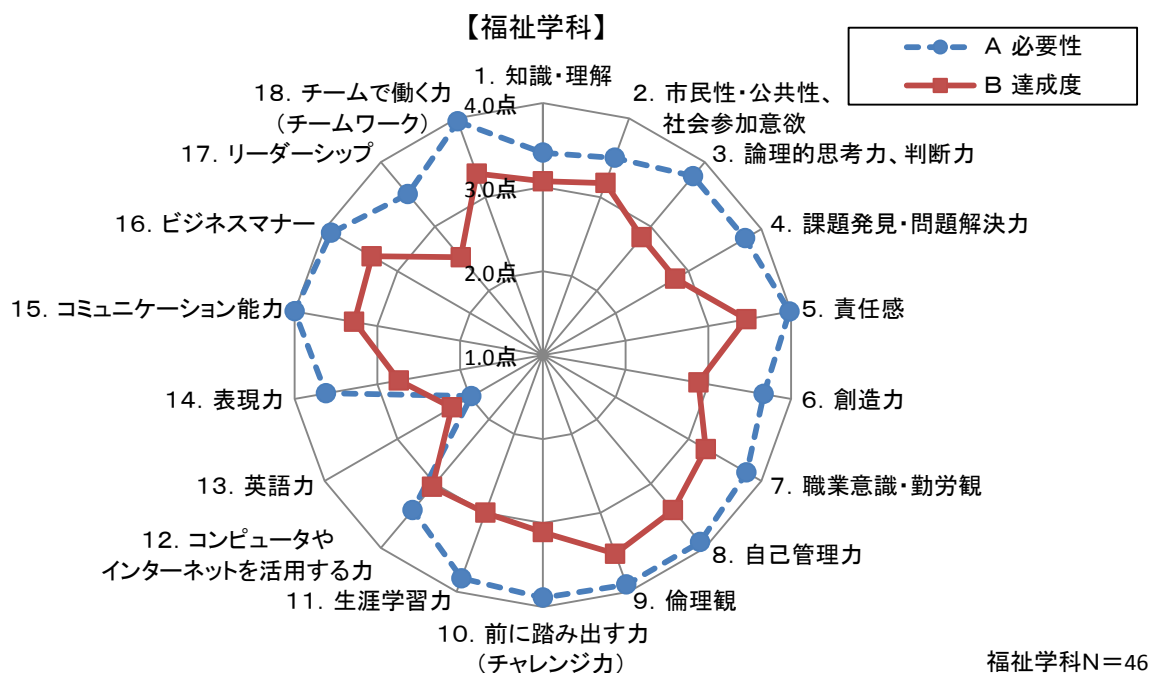
②必要性と達成度（学科別）

必要性と達成度について、「必要である」「身につけている」=4点、「やや必要である」「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」「身につけていない」=1点として配点し、必要性と達成度の各項目の平均点を算出した。必要性と達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。

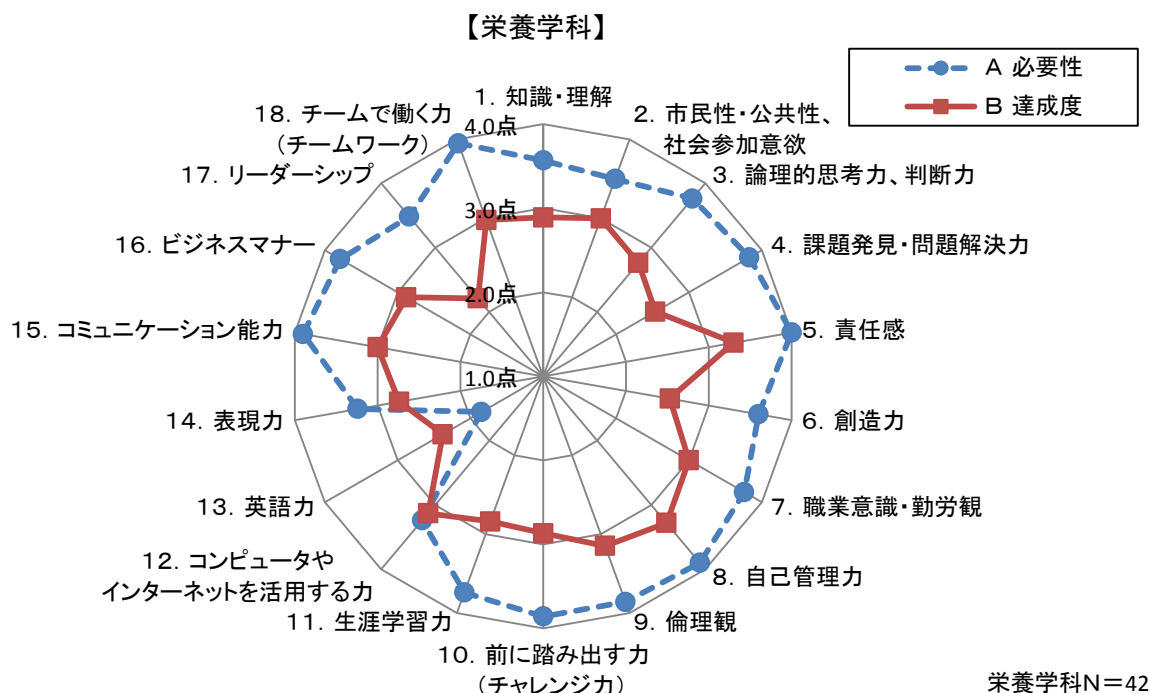
看護学科では、「9. 倫理観」や「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の達成度が高い。また、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」では必要性と達成度のギャップが比較的小さい。



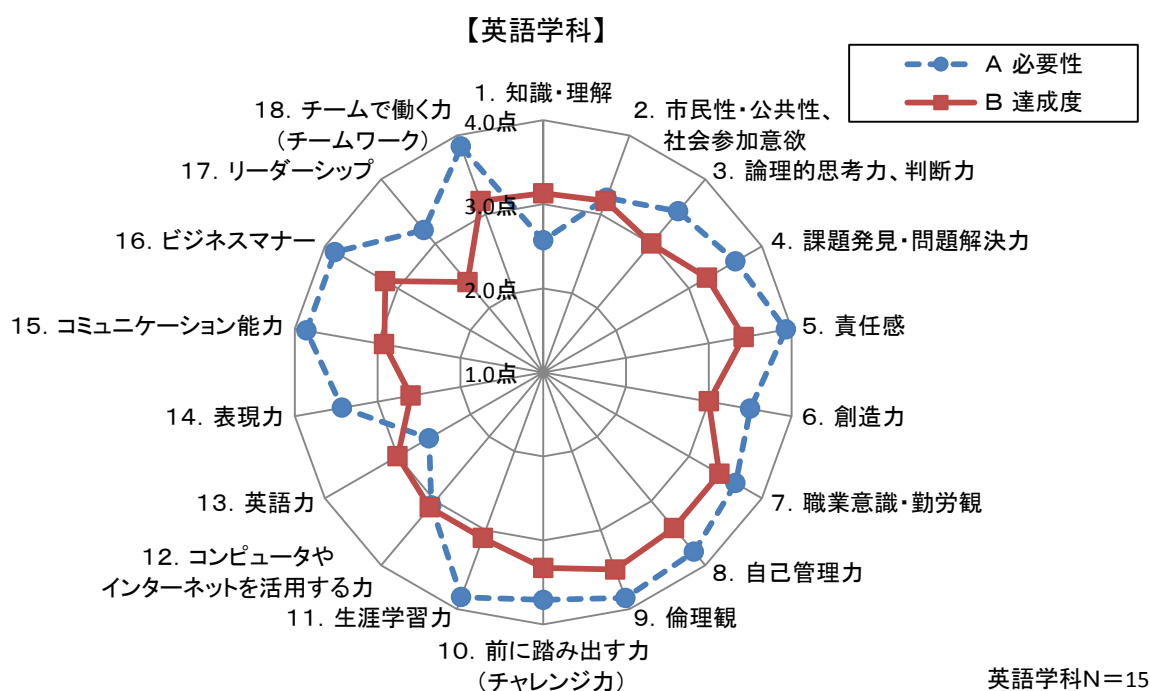
福祉学科では、「5. 責任感」や「9. 倫理観」の達成度が高い。また、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「13. 英語力」では必要性と達成度のギャップが比較的小さい。



栄養学科では、「5. 責任感」や「8. 自己管理能力」の達成度が高い。また、「13. 英語力」では必要性を達成度が上回り、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」では必要性和達成度のギャップが比較的小さい。

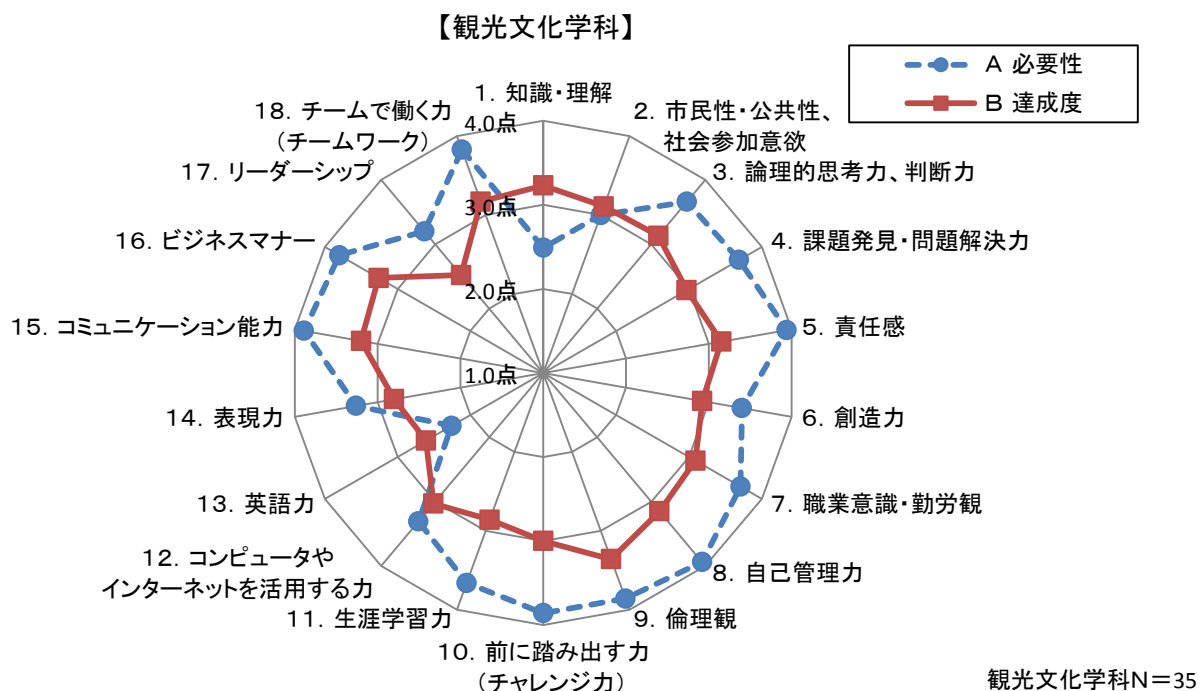


英語学科では、「5. 責任感」や「7. 職業意識・就労観」、「8. 自己管理能力」、「9. 倫理観」の達成度が高い。また、「1. 知識・理解」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、「13. 英語力」については必要性を達成度が上回っており、これらの項目については求められる能力を達成している。

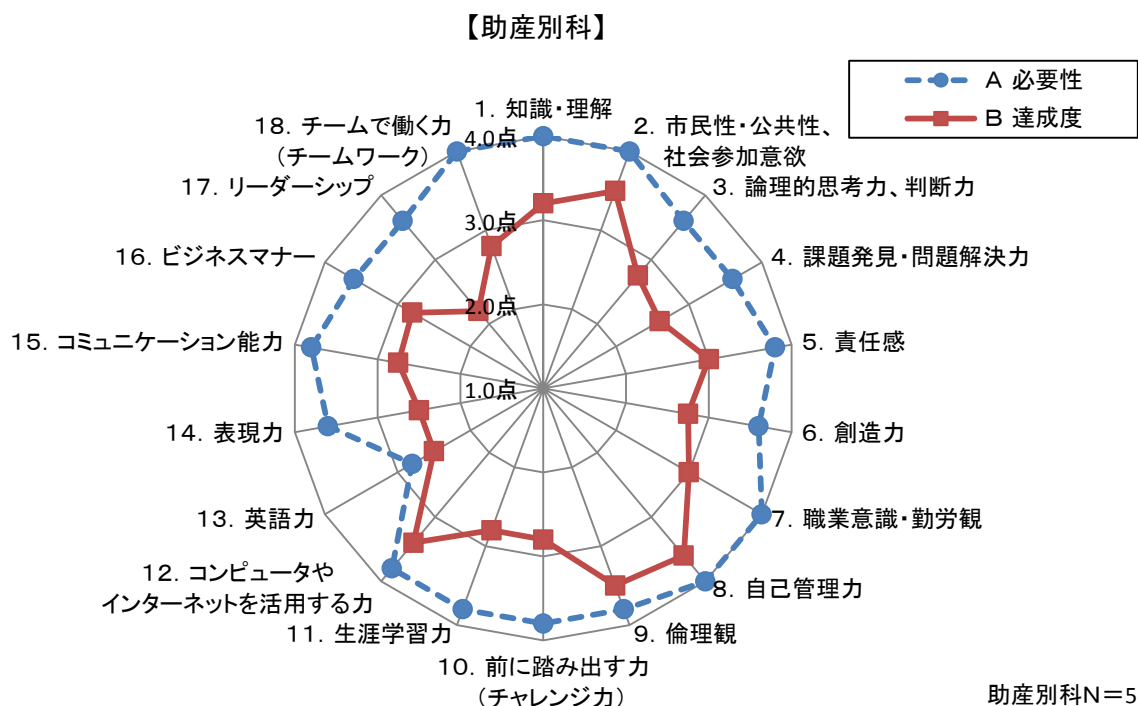


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

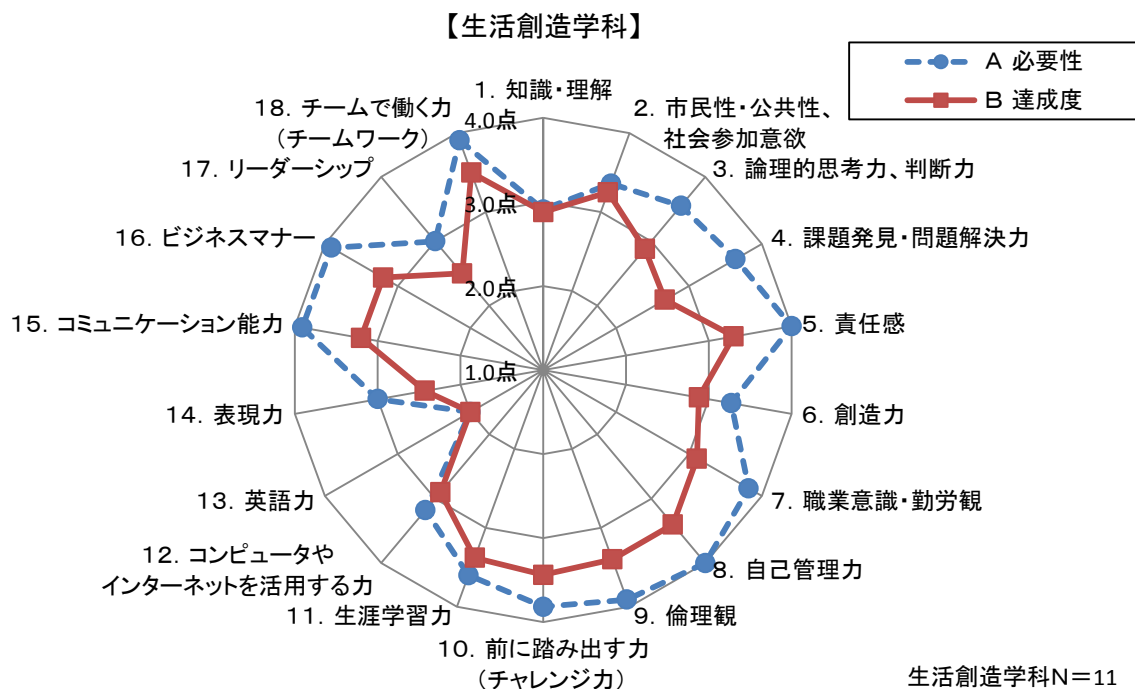
観光文化学科では、「9. 倫理観」や「16. ビジネスマナー」の達成度が高い。また、「1. 知識・理解」や「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「13. 英語力」については必要性を達成度が上回っており、これらの項目については求められる能力を達成している。



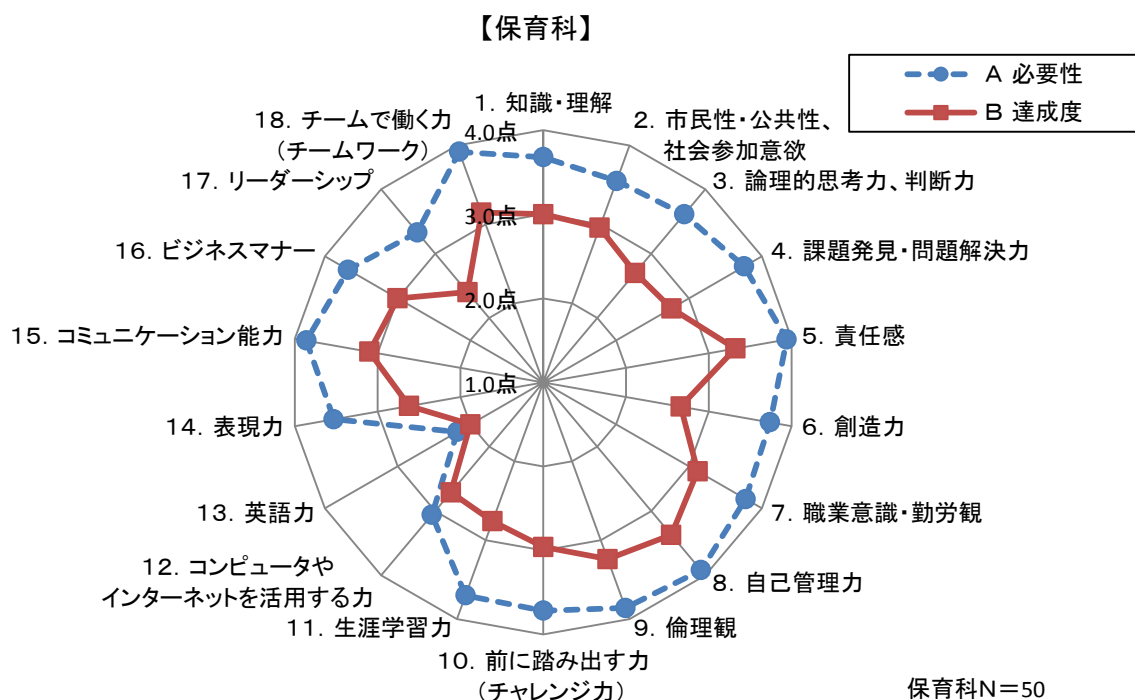
助産別科では、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」や「8. 自己管理能力」、「9. 倫理観」の達成度が高い。また、「8. 自己管理能力」や「9. 倫理観」、「11. 生涯学習力」、「13. 英語力」については必要性和達成度のギャップが比較的小さい。



生活創造学科では、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」や「18. チームで働く力（チームワーク）」の達成度が高い。また、「1. 知識・理解」や「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「13. 英語力」については必要性和達成度がほぼ一致しており、これらの項目については求められる能力を達成している。



保育科では、「5. 責任感」や「8. 自己管理能力」の達成度が高い。また、総じて必要性に対し達成度が及んでいないものの、「8. 自己管理能力」や「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、「13. 英語力」については必要性和達成度のギャップが比較的小さい。



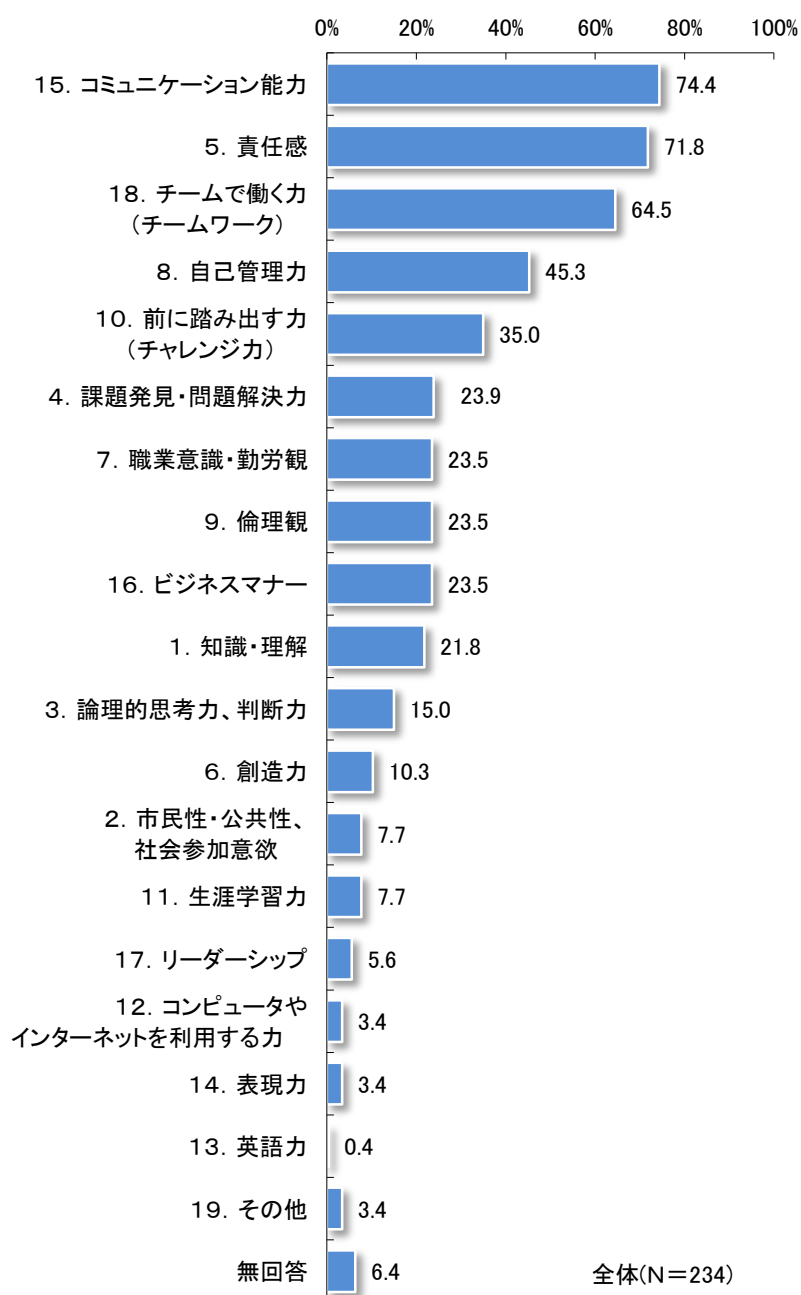
③採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」の割合が74.4%で最も高く、次いで「5. 責任感」(71.8%)、「18. チームで働く力（チームワーク）」(64.5%)が6割を超えて高くなっている。

また、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」と「責任感」、「チームで働く力」の有無が重要とされていることがわかる。

【採用の際に重要視する能力】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. (チームで働く力)	8. 自己管理能力	10. (前に踏み出す力)	4. 課題発見・問題解決力	7. 職業意識・勤労観	9. 倫理観	16. ビジネスマナー	1. 知識・理解
全体	234	74.4	71.8	64.5	45.3	35.0	23.9	23.5	23.5	23.5	21.8
看護学科	27	66.7	59.3	59.3	44.4	29.6	14.8	11.1	40.7	18.5	37.0
福祉学科	47	78.7	78.7	68.1	31.9	25.5	31.9	29.8	27.7	23.4	21.3
栄養学科	42	78.6	81.0	66.7	47.6	28.6	26.2	21.4	23.8	21.4	23.8
英語学科	15	86.7	60.0	33.3	26.7	40.0	20.0	33.3	40.0	33.3	-
観光文化学科	35	80.0	65.7	62.9	40.0	48.6	28.6	17.1	14.3	37.1	5.7
助産別科	6	33.3	50.0	50.0	66.7	33.3	-	50.0	33.3	-	33.3
生活創造学科	12	75.0	58.3	75.0	58.3	58.3	-	8.3	8.3	50.0	8.3
保育科	50	68.0	78.0	72.0	60.0	36.0	26.0	28.0	14.0	12.0	32.0

【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

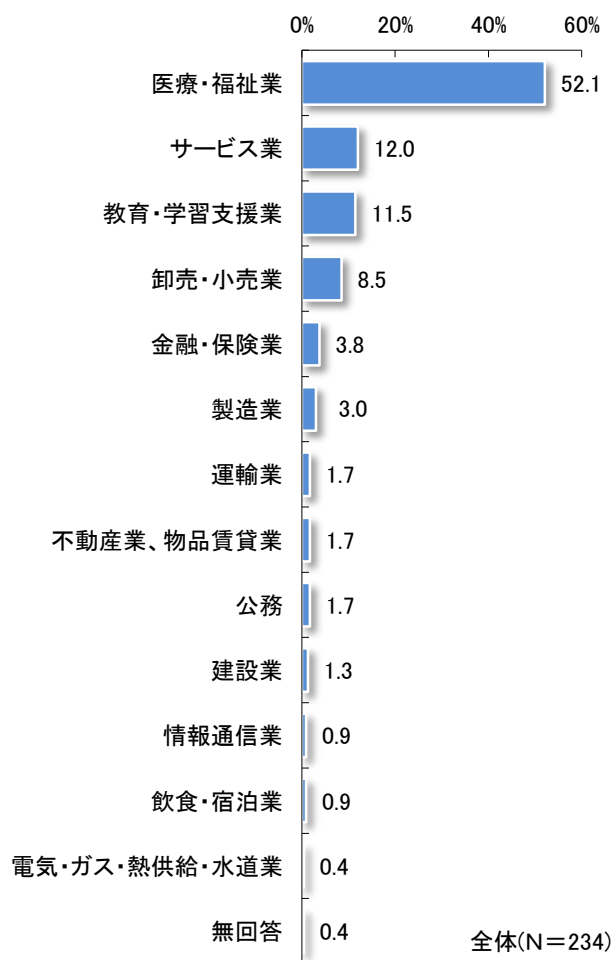
	全体 (人)	3. 論理的思考力、判断力	6. 創造力	2. 社会参加意欲、市民性、公共性	11. 生涯学習力	17. リーダーシップ	12. ネットをコンピュータやインターネットを活用する力	14. 表現力	13. 英語力	19. その他	無回答
全体	234	15.0	10.3	7.7	7.7	5.6	3.4	3.4	0.4	3.4	6.4
看護学科	27	18.5	7.4	-	11.1	-	-	-	-	7.4	14.8
福祉学科	47	17.0	4.3	6.4	6.4	2.1	8.5	2.1	-	4.3	6.4
栄養学科	42	11.9	9.5	14.3	2.4	16.7	2.4	-	-	-	4.8
英語学科	15	6.7	6.7	-	20.0	-	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
観光文化学科	35	22.9	5.7	2.9	5.7	8.6	5.7	14.3	-	-	5.7
助産別科	6	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	16.7
生活創造学科	12	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	8.3
保育科	50	10.0	20.0	12.0	10.0	2.0	-	2.0	-	4.0	2.0

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(52.1%)の割合が5割を超えて最も高く、次いで「サービス業」(12.0%)、「教育・学習支援業」(11.5%)が1割を超えて高くなっている。

【主たる業種】



※その他に農業・林業・漁業・鉱業・採石業、砂利採取業を含む

【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・福祉業	サービス業	教育・学習支援業	卸売・小売業	金融・保険業	製造業	運輸業
全体	234	52.1	12.0	11.5	8.5	3.8	3.0	1.7
看護学科	27	92.6	-	3.7	-	-	-	-
福祉学科	47	63.8	4.3	10.6	8.5	6.4	-	-
栄養学科	42	66.7	19.0	2.4	7.1	-	-	-
英語学科	15	13.3	13.3	13.3	20.0	13.3	6.7	-
観光文化学科	35	2.9	40.0	-	20.0	8.6	8.6	5.7
助産別科	6	100.0	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	-	16.7	-	16.7	8.3	25.0	16.7
保育科	50	60.0	-	36.0	2.0	-	-	-

【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

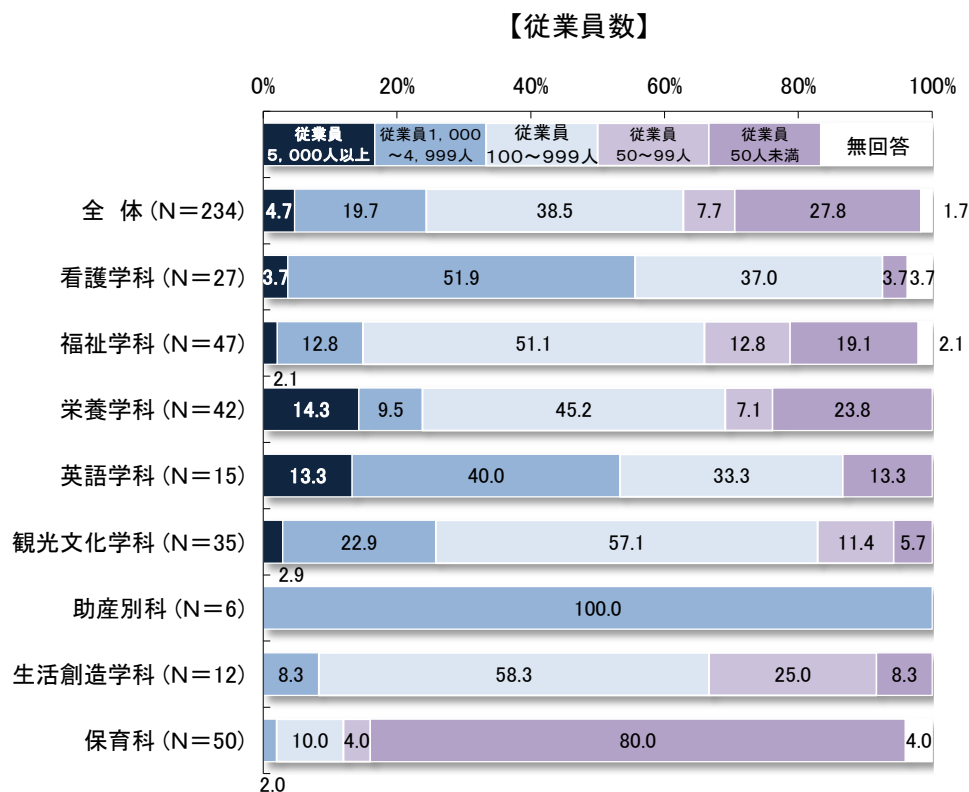
	全体 (人)	不動産業、 物品賃貸業	公務	建設業	情報通信業	飲食・宿泊業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	無回答
全体	234	1.7	1.7	1.3	0.9	0.9	0.4	0.4
看護学科	27	-	3.7	-	-	-	-	-
福祉学科	47	2.1	2.1	-	-	2.1	-	-
栄養学科	42	-	2.4	2.4	-	-	-	-
英語学科	15	6.7	-	6.7	6.7	-	-	-
観光文化学科	35	5.7	-	2.9	2.9	2.9	-	-
助産別科	6	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	-	8.3	-	-	-	8.3	-
保育科	50	-	-	-	-	-	-	2.0

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、就職先全体では、「従業員 100～999 人」の割合が 38.5%で最も高く、次いで「従業員 50 人未満」(27.8%)、「従業員 1,000～4,999 人」となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて栄養学科と英語学科は「従業員 5,000 人以上」(栄養学科：14.3%、英語学科：13.3%)の割合が1割を超えて高く、保育科は「従業員 50 人未満」(80.0%)の割合が8割と高くなっている。

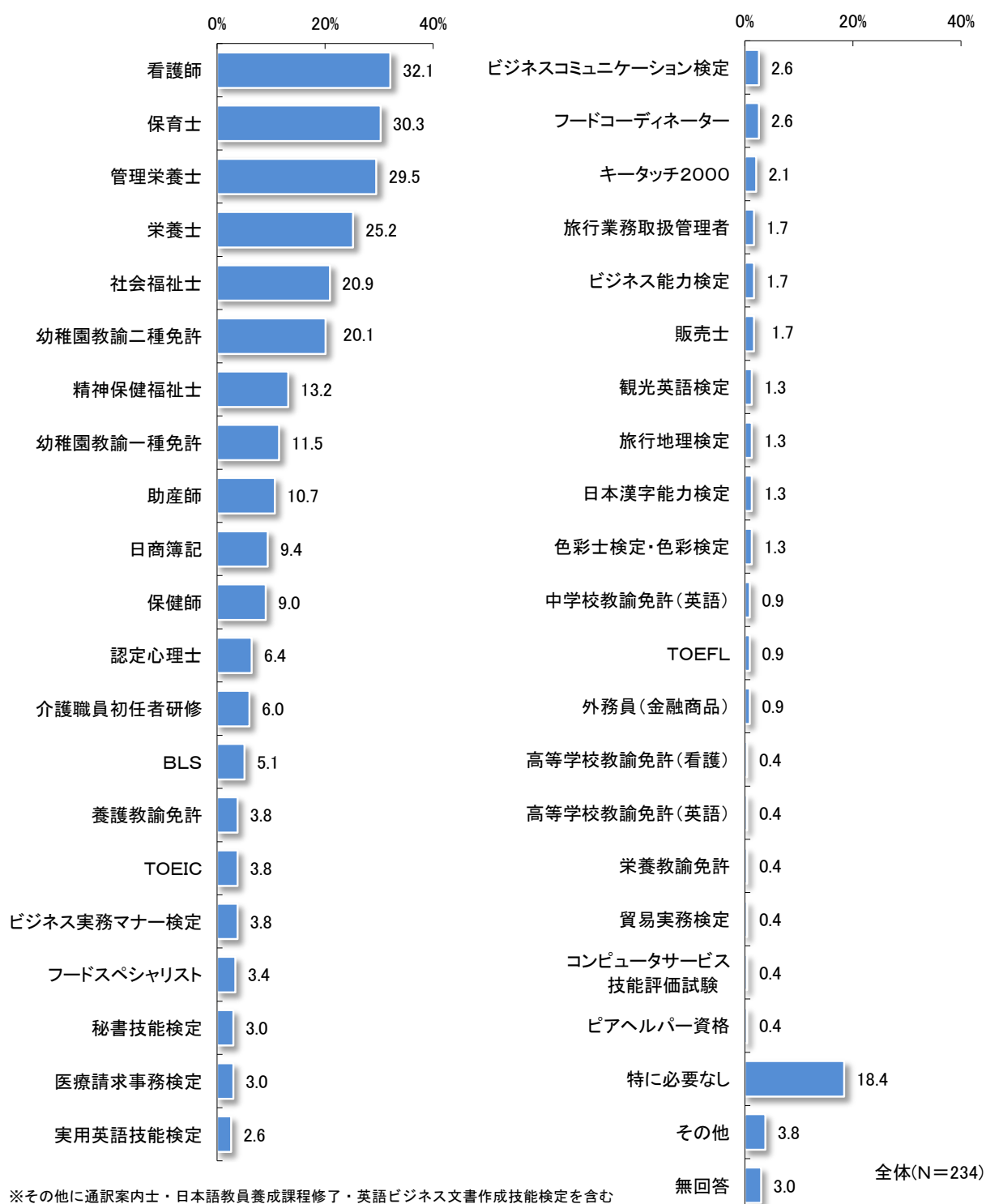


〔4〕 学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「看護師」の割合が 32.1 で最も高く、次いで「保育士」(30.3%)、「管理栄養士」(29.5%) が 3 割前後で高くなっている。一方で、「特に必要なし」も 18.4%と高くなっている。また、学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。

【学生に希望する資格や検定】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定 (1/3)】 (%)

	全体 (人)	看護師	保育士	管理栄養士	栄養士	社会福祉士	幼稚園教諭二種免許	精神保健福祉士	幼稚園教諭一種免許	助産師	日商簿記	保健師	認定心理士	介護職員初任者研修	BLS
全体	234	32.1	30.3	29.5	25.2	20.9	20.1	13.2	11.5	10.7	9.4	9.0	6.4	6.0	5.1
看護学科	27	88.9	7.4	22.2	11.1	18.5	-	11.1	-	48.1	-	22.2	11.1	3.7	29.6
福祉学科	47	40.4	27.7	31.9	23.4	48.9	12.8	38.3	10.6	4.3	6.4	10.6	10.6	17.0	4.3
栄養学科	42	31.0	28.6	78.6	61.9	21.4	14.3	9.5	9.5	4.8	9.5	9.5	4.8	9.5	2.4
英語学科	15	13.3	-	13.3	13.3	13.3	-	6.7	-	13.3	20.0	6.7	13.3	-	-
観光文化学科	35	2.9	-	2.9	2.9	5.7	-	2.9	-	2.9	17.1	2.9	2.9	-	2.9
助産別科	6	83.3	-	33.3	33.3	50.0	-	50.0	-	83.3	-	33.3	33.3	-	-
生活創造学科	12	-	-	8.3	-	-	-	-	-	-	41.7	8.3	-	-	-
保育科	50	22.0	88.0	18.0	28.0	10.0	70.0	2.0	36.0	-	2.0	2.0	-	2.0	-

【学科別 学生に希望する資格や検定 (2/3)】 (%)

	全体 (人)	養護教諭免許	TOEIC	ビジネス実務マナー検定	フードスペシャリスト	秘書技能検定	医療請求事務検定	実用英語技能検定	コミュニケーション検定	フードコーディネーター	キータツチ2000	旅行業務取扱管理者	ビジネス能力検定	販売士	観光英語検定
全体	234	3.8	3.8	3.8	3.4	3.0	3.0	2.6	2.6	2.6	2.1	1.7	1.7	1.7	1.3
看護学科	27	-	7.4	-	-	-	3.7	3.7	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	47	12.8	-	8.5	6.4	6.4	8.5	4.3	6.4	4.3	2.1	-	4.3	-	2.1
栄養学科	42	2.4	-	2.4	11.9	2.4	-	-	2.4	4.8	2.4	-	2.4	2.4	-
英語学科	15	-	13.3	6.7	-	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	6.7	-	-
観光文化学科	35	-	11.4	5.7	-	5.7	-	2.9	-	-	-	11.4	-	5.7	5.7
助産別科	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	12	-	8.3	8.3	-	-	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-
保育科	50	4.0	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0	4.0	-	-	2.0	-

【学科別 学生に希望する資格や検定 (3/3)】 (%)

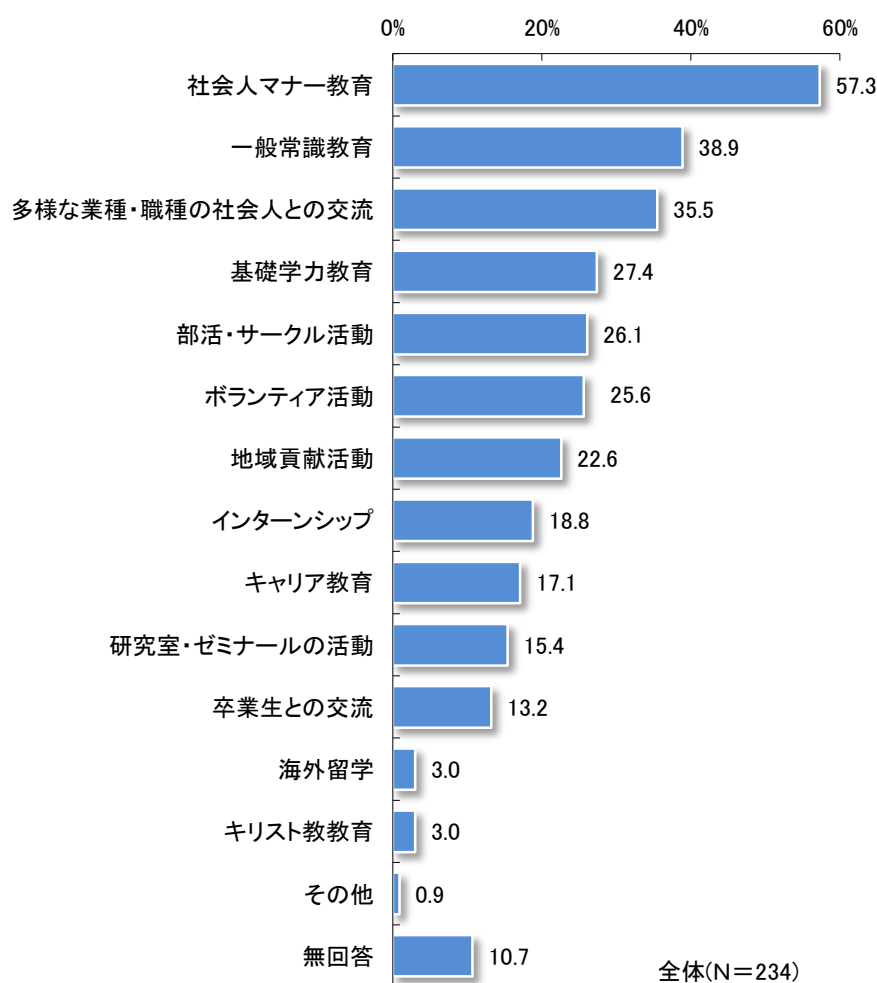
	全体 (人)	旅行地理検定	日本漢字能力検定	色彩士検定・色彩検定	中学校教諭免許 (英語)	TOEFL	外務員 (金融商品)	高等学校教諭免許 (看護)	高等学校教諭免許 (英語)	栄養教諭免許	貿易実務検定	能評価試験	ピアヘルパー資格	特に必要なし	その他	無回答
全体	234	1.3	1.3	1.3	0.9	0.9	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	18.4	3.8	3.0
看護学科	27	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	3.7
福祉学科	47	-	2.1	2.1	2.1	-	-	2.1	2.1	-	-	-	2.1	21.3	2.1	-
栄養学科	42	-	-	2.4	-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	4.8	2.4	-
英語学科	15	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	46.7	13.3	6.7
観光文化学科	35	8.6	2.9	2.9	-	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	48.6	8.6	5.7
助産別科	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-
生活創造学科	12	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	8.3	-	-	33.3	8.3	8.3
保育科	50	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	2.0	2.0	4.0

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学生の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」の割合が 57.3%で最も高く、次いで「一般常識教育」(38.9%)、「多様な業種・職種の社会人との交流」(35.5%) が 3 割を超えて高くなっている。

【大学生の人間形成に必要な支援】



【学科別 大学生の人間形成に必要な支援 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会人マナー教育	一般常識教育	多様な業種・職種との交流	基礎学力教育	部活・サークル活動	ボランティア活動	地域貢献活動
全体	234	57.3	38.9	35.5	27.4	26.1	25.6	22.6
看護学科	27	66.7	44.4	29.6	44.4	18.5	25.9	18.5
福祉学科	47	55.3	27.7	36.2	19.1	36.2	36.2	42.6
栄養学科	42	52.4	35.7	45.2	21.4	19.0	23.8	14.3
英語学科	15	53.3	26.7	60.0	26.7	26.7	6.7	6.7
観光文化学科	35	45.7	42.9	48.6	22.9	31.4	11.4	8.6
助産別科	6	83.3	66.7	33.3	66.7	50.0	16.7	33.3
生活創造学科	12	75.0	33.3	16.7	25.0	33.3	8.3	25.0
保育科	50	60.0	48.0	18.0	30.0	18.0	38.0	26.0

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	インターンシップ	キャリア教育	研究室・ゼミナールの活動	卒業生との交流	海外留学	キリスト教教育	その他	無回答
全体	234	18.8	17.1	15.4	13.2	3.0	3.0	0.9	10.7
看護学科	27	22.2	33.3	22.2	14.8	3.7	-	-	18.5
福祉学科	47	27.7	10.6	19.1	12.8	2.1	2.1	-	10.6
栄養学科	42	19.0	9.5	9.5	14.3	2.4	2.4	2.4	11.9
英語学科	15	13.3	20.0	13.3	-	6.7	-	-	6.7
観光文化学科	35	17.1	31.4	14.3	8.6	8.6	-	-	8.6
助産別科	6	16.7	50.0	50.0	33.3	-	-	-	16.7
生活創造学科	12	16.7	8.3	-	8.3	-	-	-	-
保育科	50	12.0	8.0	14.0	18.0	-	10.0	2.0	10.0

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

宇部フロンティア大学	1
横浜市立大学	1
関西福祉大学	1
久留米大学	1
京都府立大学	1
近大姫路大学	1
九州大学	1
熊本保健科学大学	1
高知学園短期大学	1
国際医療福祉大学	2
佐賀大学	1
山口県立大学	2
山口大学	2
産業医科大学	1
純真学園大学	1
順天堂大学	1
昭和大学保健医療学部	1
聖マリア学院大学	3
聖母大学	1
聖路加国際大学	1
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部	2
大阪医科大学	1
大分県立科学大学	1
大分県立看護科学大学	1
大分大学	3
帝京平成大学	1
東邦大学	1
日本赤十字九州国際看護大学	5
日本赤十字広島看護大学	1
武蔵野大学	1
福岡県立大学	3
福岡女学院大学	1
福岡大学	3

福祉学科

宇部フロンティア大学	1
下関市立大学	3
久留米大学	6
共立大学	1
九州ルーテル学院大学	1
九州看護福祉大学	1
九州共立大学	1
九州国際大学	1
九州産業大学	4
九州女学院大学	1
九州女子大学	5
九州保健福祉大学	1
熊本学園大学	1
熊本大学	1
山口芸術大学	1
山口県立大学	4
西九州大学	2
西南学院大学	2
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部	5
早稲田大学	2
大阪大学	1
大分大学	2
中村学園大学・中村学園大学短期大学部	2
東洋英和学院大学	1
日本社会福祉事業団大学	1
日本文理大学	1
梅光学院大学	1
福岡医療福祉大学	1
福岡教育大学	2
福岡県立大学	5
福岡大学	9
別府大学	1
北九州市立大学	6
立教大学	1

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

栄養学科

宇部フロンティア短期大学	1
下関市立大学	1
活水女子大学	1
久留米信愛女学院短期大学	1
九州栄養福祉大学	6
九州女子大学・九州女子短期大学部	8
熊本学園大学	1
山口芸術短期大学	1
山口県立大学	1
鹿児島純心女子大学	1
尚絅大学	1
昭和女子大学	1
西九州大学	3
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部	7
川崎医療福祉大学	1
大妻女子大学	1
大分大学	1
筑紫女学園大学	1
中村学園大学	12
長崎国際大学	3
長崎女子短期大学	1
東京家政大学	1
東筑紫短期大学	2
日本赤十字九州国際看護大学	1
梅光学院大学	1
福岡教育大学	1
福岡大学	2
福山大学	1
北九州大学	1

英語学科

九州共立大学	1
九州国際大学	1
九州女子大学	3
西南大学	1
筑紫女学院大学	1
筑紫女学園大学	1
中村学園大学	1
福岡教育大学	1
福岡女学院大学	2
福岡大学	3
北九州市立大学	3

観光文化学科

下関市立大学	3
活水女子短期大学	1
関西学院大学	1
宮崎公立大学	1
九州共立大学	1
九州工業大学	1
九州国際大学	1
九州産業大学	5
九州女子大学	2
九州大学	2
熊本大学	2
広島市立大学	1
香蘭女子短期大学	1
山口大学	2
神戸女子大学	1
西南学院大学	11
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部	1
大分大学	1
筑紫女学園大学	2
中村学園大学・中村学園短期大学部	4
長崎県立大学	2
長崎国際大学	1
長崎大学	1
東洋大学	1
南九州短期大学	1
梅光学院大学・梅光学院大学女子短期大学部	2
福岡教育大学	1
福岡女学院大学	1
福岡大学	13
北九州市立大学	8
立命館大学	1

助産別科

宇部フロンティア大学	1
国際医療福祉大学	1
山口県立大学	1
山口大学	1
産業医科大学	1
日本赤十字九州国際看護大学	2
福岡県立大学	1
福岡女学院大学	1

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

生活創造学科

ノートルダム清心女子大学	1
活水女子短期大学	1
九州栄養福祉大学	1
九州産業大学	1
九州女子大学	1
西南学院大学	3
梅光学院大学・梅光学院大学女子短期大学部	2
福岡県立大学	1
福岡女子大学	1
福岡大学	2
北九州市立大学	1
北九州大学	2
名城大学	1

保育科

安田女子大学	1
宇部フロンティア大学・宇部フロンティア大学短期大学部	6
下関女子短期大学	1
下関短期大学	4
岩国短期大学	1
共立女子大学	1
近畿大学九州短期大学	2
九州女子大学・九州女子短期大学	21
駒沢女子短期大学	1
広島経済大学	1
広島修道大学	1
山口学芸大学	2
山口芸術短期大学	2
山口美術短期大学	1
純真短期大学	1
精華短期大学	1
西南学院大学	2
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部	11
西日本短期大学	1
中村学園大学・中村学園大学短期大学部	5
東九州短期大学	2
東筑紫女子短期大学	1
東筑紫短期大学	22
梅光学院大学	6
梅光学園大学	1
武蔵野大学	1
福岡こども短期大学	1
福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部	3
福岡教育大学	4
別府大学・別府大学短期大学部	4
保育専門学校	1
保育福祉専門学校	1
北九州大学	1
北九州保育福祉専門学校	4

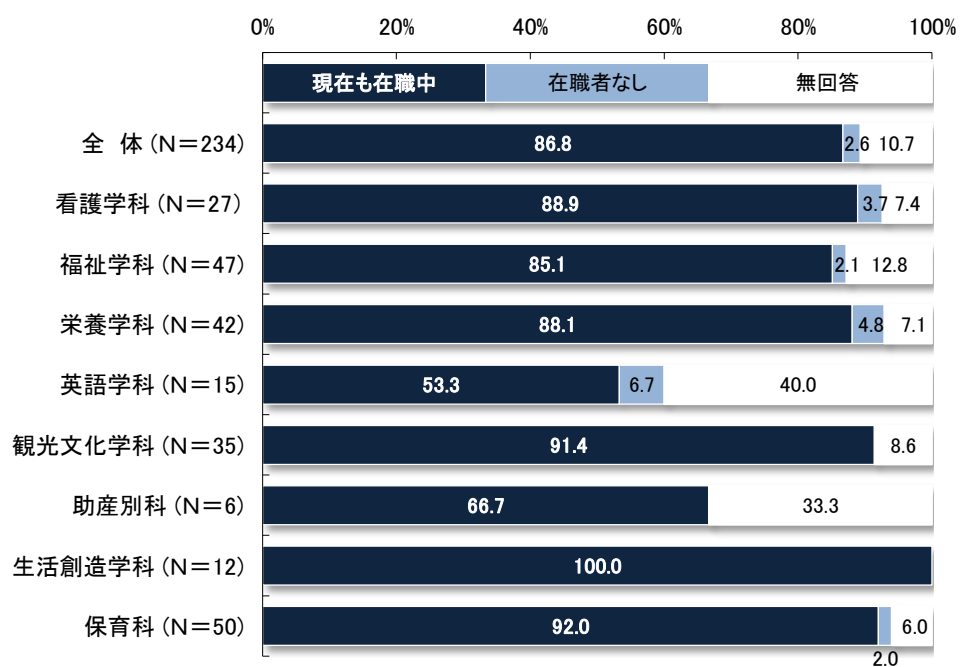
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

在職状況について、就業先全体では「現在も就業中」の割合が86.8%と最も高くなっている。

学科別にみると、英語学科と助産別科で無回答の割合が高いため、傾向をみる程度にとどめるが、生活創造学科、保育科、観光文化学科では「現在も就業中」（生活創造学科：100%、保育科：92.0%、観光文化学科：91.4%）の割合が高くなっている。

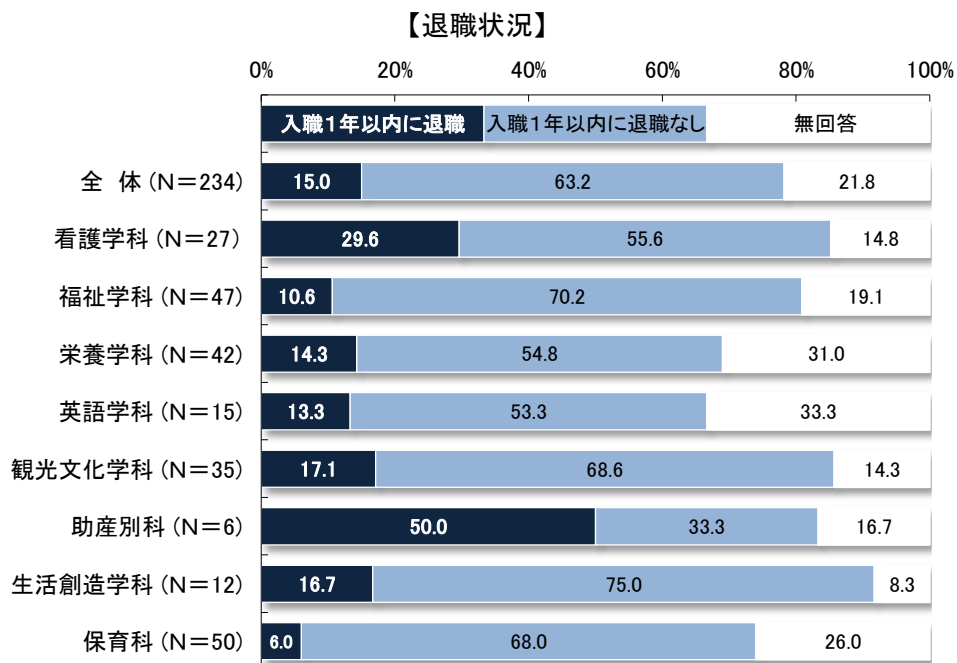
【在職状況】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」が63.2%で最も高くなっている。

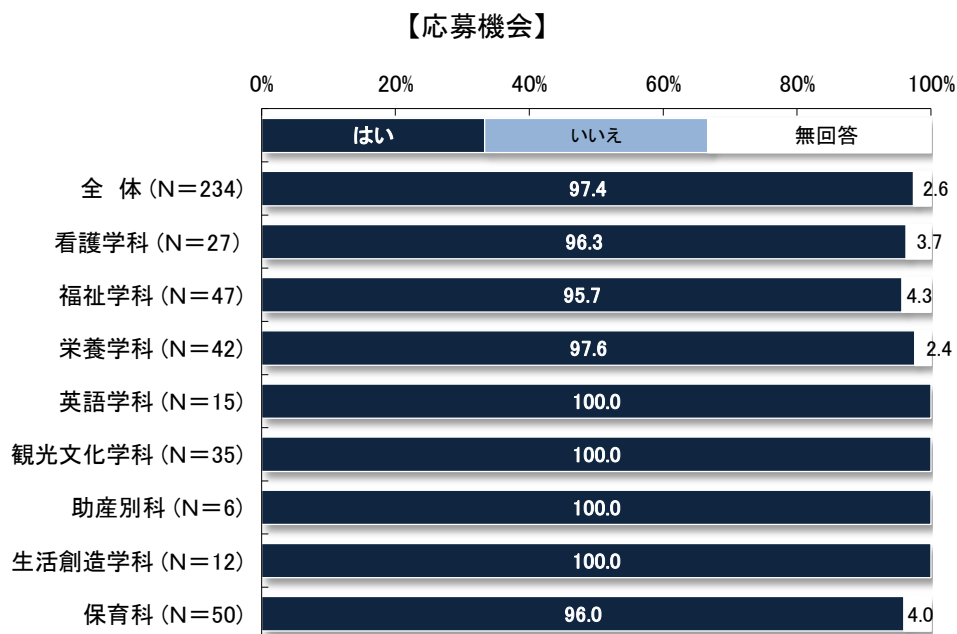
学科別にみると、学科によって無回答の割合が高いため、傾向をみる程度にとどめるが、助産別科や看護学科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

（回答者数：80/234人[34.2%]）

【採用・就職支援について】

学科	内容
看護学科	宮崎県出身者、宮崎県の就職を希望する学生がおられましたら、ガイダンス等の御案内をさせていただく機会の御提供をお願い致します。
	当院看護職員募集にあたり、貴学の学生に数多くご応募いただきますよう、今後ともよろしくお願いいたします。
	次年度、2名の内定が決定しています。今後も希望者がいれば、ご紹介よろしくをお願いします。
	推薦をいただき入職へとつなげていますが、推薦による受験日程を早めに受けていただきたいと思います。遅い日程の場合、採用人数に制限が発生する場合があります。
福祉学科	学生のご紹介をお願い致します。
	不定期での新年採用ではありますが、募集する際はぜひ求人票を提出させていただきます。
	今後とも弊社求人のご案内をどうぞ宜しくお願い致します。
	長きに渡り、当社の採用業務にご理解とご支援を賜り誠に有難うございます。今後とも入社いただいた方の育成等サポート体制をしっかりと準備し、取り組んで参りたいと考えております。引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。
栄養学科	残念なことに、新規採用の保育士さんの応募が全くないため、さみしく感じているところです。働きやすい職場ですので、ご紹介の方、宜しくお願いいたします。
	東京でお仕事をお探しの学生様がいらっしゃいましたら、ご紹介頂ければと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
	今年度、内定者をご輩出いただき誠にありがとうございます。来年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。
	夜間部（認可夜間保育所）の状況を知って頂き、就職支援をお願いします。
	来年も1名採用させていただきたいと思っています。知識は就職後にも身に付くので心の優しい患者様から愛されるような方を望んでいます。
	給食経営管理の分野に興味があり、栄養士として調理業務の経験も積んでいきたい方のご応募、お待ちしております。
英語学科	いつもありがとうございます。製造業、特にその中でもコールセンター業務はあまり学生さんに馴染みのない職種だと思いますが、お客様の声をもつづくりに活かせる大変重要な仕事です。その点をより一層学生さん達にご理解いただけるよう活動して参りたいと思いますのでご協力の程宜しくお願い申し上げます。
	いつもお世話になっております。来年度も、複数の職種で採用の予定があります。希望される学生さんがいらっしゃればぜひよろしくお願い致します。
	現在、弊社北九州センターでは新卒(正社員)での採用枠はございませんが、ご入社後は、充実の研修・サポートにより安心して業務をスタートいただき、長期的なキャリア形成を行っていただきたいと思いますと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

観光文化学科	飯塚市近郊出身の学生の紹介を強く希望します。
	今後も求人への応募お待ちしております。宜しくお願いします。
	学生の方々のキャリア支援に関わるイベント等、当社でも独自に開催しておりますが、貴学にて主催される機会がありましたら、是非協力させて頂きたいです。
	いつもありがとうございます。製造業、特にその中でもコールセンター業務はあまり学生さんに馴染みのない職種だと思いますが、お客様の声をもつくり活かせる大変重要な仕事です。その点をより一層学生さん達にご理解いただけるよう活動して参りたいと思いますのでご協力の程宜しくお願い申し上げます。
	今後とも弊社求人のご案内をどうぞ宜しくお願い致します。
	いつもお世話になっております。来年度も、複数の職種で採用の予定があります。希望される学生さんがいらっしゃればぜひよろしくお願い致します。
	今後とも明るく元気な学生の推薦を宜しくお願い申し上げます。
助産別科	いつもお世話になっております。来年度も、複数の職種で採用の予定があります。希望される学生さんがいらっしゃればぜひよろしくお願い致します。
生活創造学科	来年度の採用予定は今のところありませんが、現在新聞紙工場の方で、事務員（女子）を1名途中で募集しております。卒業生の方でもいらっしゃいましたら、又お声をかけていただければと思っております。
保育科	今年も求人票を送付したが何の回答もなかった。
	募集の方も今後共よい学生さんをご紹介いただけましたら幸いです。
	毎年求人に応募して頂き感謝しています。何卒今後ともよろしくお願い致します。しかし残念ながら、H29.4採用に向けては、一人も応募者が無く、反省しています。ご丁寧に、応募者ゼロのお詫び状を頂き、恐縮いたしました。
	貴学を卒業した職員は皆、真面目で明るい、良い職場なので、採用の際はとても期待しておりますが、ここ数年、採用試験を受ける学生が少ないように思います。専門職を選ばない学生が増えているからという理由もあると思いますが、何か貴学と学園が情報交換できる場を頂ければと思います。
	求人、就職ルールの明確化に努めてもらいたい。
	今後採用がある時は、貴大学よりの採用を考えている。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【現在就業中の卒業生について】

学科	内容
看護学科	一人：まじめに取り組んでいる。社会人としての姿勢を強化して下さい（常識・髪型）。 一人：本人の性格上、急性期病院では難しい状況です。就活生の支援のあり方を考えて下さい。 卒業生の評価に関するアンケート II 達成感、平成29年1月現在で評価させていただきました。
福祉学科	昨秋、内定を出させて頂きましたが、入職前に社会福祉士の資格を既得して入社して下さいました。有難く思っています。入社後も非常に良く頑張ってくれており、将来が楽しみな職員として期待致しております。有難うございました。 いつもお世話になっております。貴大学の職員は頑張って仕事をされています。ありがとうございました。 いつも大変お世話になっております。御校の卒業生は大変優秀で、即戦力として活躍いたしております。 貴校・卒業生の方々が弊社で活躍しています。会社の仕事をよく理解いただき、自分に向いているところへ求職されることを望みます。 昨年に引き続き大変優秀な学生様にご入社頂きました。 貴校の卒業生は、当社でも多数活躍しており、店長などの役職者もいます。今後も期待していますので、ぜひよろしくお願い致します。 貴校卒業生が児童養護施設報思母の家で、子どもと意欲的に関わり、若い職員集団の中で、リーダー的役割を果たして下さいています。今後の成長がさらに楽しみだと思っております。 いつもお世話になっております。卒業生の方は信頼できるスタッフとして活躍中です。ボランティア活動への学生紹介でもご理解ご協力下さいまして、ありがとうございます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。
栄養学科	しっかりしている生徒様が多く感じます。関連事業所の管理栄養士はすべて貴校出身でよくやってくれます。 いつもお世話になりありがとうございます。貴校卒業の職員には大変頑張ってもらい感謝しているところです。 お世話になっております。現在、御校の卒業生にご活躍いただいております。今後とも宜しくお願い致します。 裏のアンケートは厳しめな回答もございますが、現場の率直な意見をいただいております。お気を悪くせずに参加していただければ幸いです。 貴校の卒業生は、当社でも多数活躍しており、店長などの役職者もいます。今後も期待していますので、ぜひよろしくお願い致します。 貴校卒業生は、子どもたちのために計画・活動と努力され、信頼も厚く頑張っています。表面のBの5の答えは就職して1年目であるため、判断出来ない部分があり申し訳ありません。
英語学科	貴校の卒業生の方々が弊社で活躍しています。会社の仕事をよく理解いただき、自分に向いているところへ求職されることを望みます。
観光文化学科	（卒業生アンケートについて）論理的思考力・課題発見力については、1年目ということもありまだ乏しいところはありますが、コミュニケーション力・協調性等は全く問題なく、多くの先輩社員に可愛がられています。採用して良かったと感じていますし、これからの活躍に期待できる人材です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。 貴校の卒業生の方々が弊社で活躍しています。会社の仕事をよく理解いただき、自分に向いているところへ求職されることを望みます。 昨年に引き続き大変優秀な学生様にご入社頂きました。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

保育科	別にありません。現在在職中（2名）共に良く勤めてくれています。
	1年目ですがよく頑張っております。
	西南女学院大学からは有能な学生さんが来てくれて非常に助かっています。戦力として期待しています。今後も宜しくお願いします。
	西南女学院大学より管理栄養士1名、短期大学部より保育士2名が当保育園に在職中で、3名共に申し分なく勤務態度等も良好。
	ピアノ等、実践で活用出来る面はよく学べている卒業生の方が多いので、即戦力として活躍されています。

【大学への要望について】

学科	内容
福祉学科	数年前から、杉原ゼミの学生が法人内の施設で見学実習されています。障害者・児の施設を知り、学ぶ機会を今後も積極的に設けていただければ幸いです。
	病院実習において、症例をまとめる課題を実習しておくに役立ちます。（栄養）
	自己コントロール力やコミュニケーション能力がある、何事にもチャレンジする意欲ある学生さんを育てて下さい。
	今後とも、良い学生さんに当法人を知っていただければ幸いです。
栄養学科	病院実習において、症例をまとめる課題を実習しておくに役立ちます。（栄養）
保育科	様々な幼稚園、保育園での実習の機会を増やしていただく訳にはいかないでしょうか…？
	できるだけ多くの学生さんに保育士になってほしいと思います。
	1. 20年前の短大卒生と最近の短大卒生の違いを感じます。
	2. 幼稚園では四年生卒を求めます。
	今後とも優秀な学生の育成に御尽力いただきますよう祈念致します。
	実習生以外の学生さんにも積極的に園見学に来ていただきたいと思います。
	人間形成の基礎に関する内容である為、人格学業を研ぐ事を大切にする学校方針を望む。大学卒で幼児教育を大切にする人材を育てて欲しい。
	近年、先輩や保護者とのコミュニケーションのとりにくい方が貴校に限らず増えています。人のアドバイスに耳を傾けることが出来て、提出期限等の守れる社会人として育ててほしいです。

【その他について】

学科	内容
看護学科	今後ともよろしくお願い申し上げます。
	今後とも宜しくお願い致します。
福祉学科	今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。
	いつもお世話になっております。今回のアンケートで当園在職者の約半数近くを貴校卒業生が担っておる事に気付きました。この良き関係と伝統を継続していければと願います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
	職務上、問題があると認められるもの等につきましては空欄で回答させていただきます。
	今後とも宜しくお願い致します。
	保健福祉学部、福祉学科、I先生には、いつもご指導ご助言をいただき感謝致しております。今後とも宜しくお願い致します。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

栄養学科	開園して2年の新しい保育園の為、実績はまだありませんが、未来の子ども達のために努力してくれる元気で明るい人材育成を期待しております。今後とも、よろしくお願い致します。
英語学科	いつもお世話になっております。今後共宜しくお願い致します。 今後とも宜しくお願い致します。
観光文化学科	今後とも引き続きよろしくお願いいたします。 意見、要望等は特にありません。今後ともよろしくお願いいたします。 特筆ございません。本年度もどうぞよろしくお願い致します。
助産別科	今後ともよろしくお願い申し上げます。
生活創造学科	前任者が、H28.11月で定年退職となりました。私は後任者です。今後ともよろしくお願い致します。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。
保育科	卒業後は地元に戻ってからの就活で本園にご縁がなく残念でした。又よろしくお願い致します。 これからもよろしくお願い致します。 今後ともよろしくお願い致します。 特にありません。いつも貴大学から良い人材を採用して頂いております。感謝しています。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、平成27年度に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

<必要性和達成度>

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」＋「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」＋「ほぼ身につけている」）として分析した。

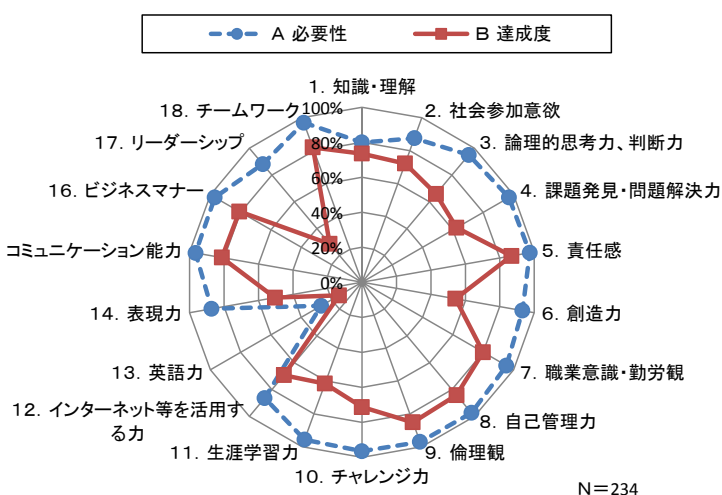
仕事においては英語力以外、どの項目も必要性があるとの回答となっている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「課題発見・問題解決力」、「創造力」、「表現力」、「リーダーシップ」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「知識・理解」、「責任感」、「自己管理能力」、「倫理観」など、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

今後も、こうした基本的に備わっておくべき力やスキルを育むとともに、在学生に対しては、リーダーシップや課題発見・問題解決力など自主性を育むような指導・取り組みを検討する必要があると言える。

【仕事上での必要性和卒業生の達成度】



【達成度の前回調査との比較】

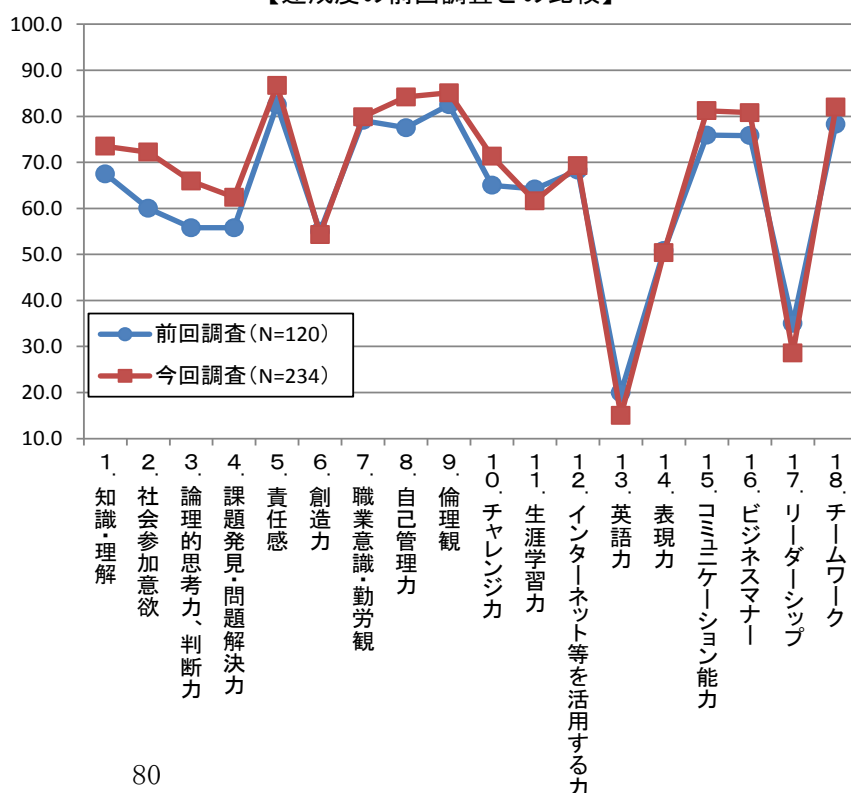
<達成度（前回調査との比較）>

卒業生の【達成度】に着目して前回調査と比較を行った。

なお、【必要性】については就職先により差が出やすいため前回調査と今回調査の比較は省略する。

達成度は、18項目中13項目で前回調査よりも高くなっており、「社会参加意欲」、「論理的思考力、判断力」で10ポイント以上高くなっている。

概ね前回調査よりも達成度が向上しているため、就職受け入れ先からの評価も向上していると考えられるが、依然として「創造力」や「表現力」、「リーダーシップ」等の達成度が低い。（「英語力」については職種により評価が異なるため省略）



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

事業所が採用の際に重要視する能力として、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「チームワーク」を上位に挙げている。これらは、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられたものであり、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得たスキル（達成度）が一致する。

なお、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」と「責任感」、「チームワーク」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められている。必ずしも、資格がなければ働けない職場ばかりではないが、逆に言えば、これらの資格が就職に有利に働くことは間違いなく、資格がなければ専門業種への就職は困難になると言える。

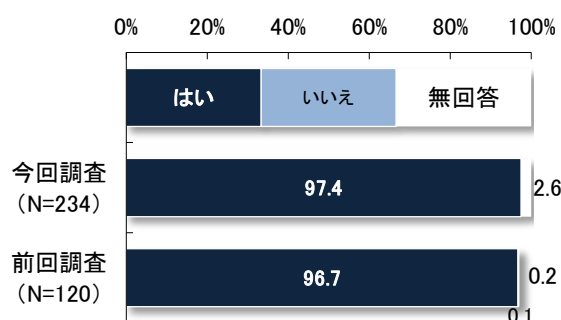
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募するか否かについては、無回答を除くすべての事業所が応募すると回答しており、前回調査から引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「一般常識教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」が上位に挙げられた。これらは前回調査でも上位に挙げられており、大学でも社会人マナーや一般常識などの社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対する多くの採用意向が目立ち、事業所の人材不足もあると思われるが、今後も積極的に採用したいとの声が多かった。また、現在の就業中の卒業生についても好評価の事業所が多く、経験は浅いものの、今後のさらなる活躍を期待する声が挙がっている。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めている。大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等よりもまずはこうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められている。

第3章 調査票

西南学院大学 卒業生アンケート調査

I. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 6. 助産別科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている → IIへ進んでください 2. 現在、仕事をしていない → IVへ進んでください

II. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない 2. 転職した → IIIへ進んでください

4. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している 2. どちらでもない 3. 満足していない

↓
Vに進んでください

6. II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている 2. 転職(退職)するまではしない

↓
Vに進んでください

III. II-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

4. 転職された時期をご記入ください。(複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。)

入職後、 年 ヶ月目

5. 転職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生
5. 人間関係 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性
9. 家庭の事情 10. その他()

↓
Vに進んでください

【業種・職種区分表】

A 業種

- 1 農業
- 2 林業
- 3 漁業
- 4 鉱業・採石業・砂利採取業
- 5 建設業
- 6 製造業
- 7 電気・ガス・熱供給・水道業
- 8 情報通信業
- 9 運輸業
- 10 卸売・小売業
- 11 金融・保険業
- 12 不動産業・物品賃貸業
- 13 飲食業
- 14 宿泊業
- 15 一般病院
- 16 精神科病院
- 17 クリニック
- 18 高齢者施設
- 19 障がい児・者施設
- 20 児童施設
- 21 保育園
- 22 教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
- 23 幼稚園
- 24 学習支援業
- 25 サービス業
- 26 公務
- 27 その他()

B 職種

- 1 事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)
- 2 販売
- 3 営業
- 4 接客
- 5 看護師
- 6 保健師
- 7 助産師
- 8 医療ソーシャルワーカー
- 9 相談員
- 10 精神保健福祉士
- 11 支援員・指導員
- 12 介護職
- 13 保育士
- 14 管理栄養士
- 15 栄養士
- 16 幼稚園教諭
- 17 養護教諭
- 18 英語教諭
- 19 公務員
- 20 その他()

IV. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。(複数選択可)

1. 求職中 2. 学生 3. 家事・子育て 4. その他()

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生 5. 人間関係
6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性 9. 家庭の事情
10. その他()

V. 仕事をする中で感じたこと(苦労したことや成長したことなど)をご記入ください。

(裏面ににつく)

VI. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、()内に具体的内容をご記入ください。

		A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル				B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				C 能力やスキルを身につけるため役立った事 (複数回答可)									
		身につけていない	はじめて身につけた	あまり身につけていない	身につけていない	役に立つ	やや役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	大学の講義	研究室・ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	先輩や友人との交流	部活・サークル	アルバイト	独学・専門学校	ボランティア・地域貢献活動	勤務先での研修
1	知識・理解	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	市民性・公共性、社会参加意欲	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	論理的思考力、判断力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	課題発見・問題解決力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	責任感	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	創造力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	職業意識・勤務観	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	自己管理能力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	倫理観	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	前に踏み出す力(チャレンジ力)	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	生涯学習力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12	コンピュータやインターネットを活用する力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13	英語力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14	表現力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15	コミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16	ビジネスマナー	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17	リーダーシップ	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18	チームで働く力(チームワーク)	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

②上記の表の1~19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。 ➡

--	--	--	--	--

第3章 調査票

Ⅶ. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

Ⅷ. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験しなかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。

また、具体的な内容があればご記入ください。

- | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------------|-------------|
| 1. 部活、サークル活動 | 2. 研究室・ゼミの活動 | 3. キャリア教育 | 4. 実習、インターンシップ | 5. ボランティア活動 |
| 6. 地域貢献活動 | 7. 海外留学 | 8. 卒業生との交流 | 9. 多様な業種・職種の社会人との交流 | 10. キリスト教教育 |
| 11. 一般常識教育 | 12. 基礎学力教育 | 13. 社会人マナー教育 | | |

【具体的な内容】

Ⅸ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲でご記入ください。

氏名	住所	勤務先
	〒 携帯番号 — —	

〈個人情報保護について〉ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2016年4月就職者 学科 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください	
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

(裏面につづく)

第3章 調査票

貴事業所に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏 名	

II. 主たる業種に○をつけてください。(1つ選択)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

III. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

IV. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし			
<本学で取得可能な資格・免許等>			
2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許
<本学が取得支援している主な資格・検定等>			
18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ピアヘルパー資格	45. その他()	

V. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流		10. キリスト教教育	11. 一般常識教育
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

VI. 採用について

1. 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。(本学卒業生と同職種の女子)

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入職1年以内に退職	人
--------	---	-----------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい	2. いいえ(差し支えなければその理由:)
-------	------------------------

VII. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

--

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

集計結果については後日、送付させていただきます。

〈個人情報保護について〉ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2016 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2017 年6月

発 行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777
